

防水スプレーの使用に関する
アンケート調査報告書

令和8年3月
東京都生活文化局

目 次

防水スプレーの使用に関するアンケート調査結果（まとめ）	3
第1 調査の概要.....	6
1 調査地域と調査対象者、有効回答数.....	6
(1) プレ調査アンケート	6
(2) 本調査アンケート	6
第2 プレアンケート調査結果	8
1 防水スプレーの使用経験（単一回答）	8
2 防水スプレー使用のきっかけ（複数回答）	9
3 防水スプレーの使用対象（複数回答）	11
4 防水スプレーを使用しない理由（複数回答）	12
第3 本調査アンケート調査結果.....	13
1 防水スプレーの購入・使用状況.....	13
(1) 防水スプレーの購入経験	13
(2) 防水スプレー購入のきっかけ（複数回答）	14
(3) 防水スプレーの種類（複数回答）	15
(4) 防水スプレーの購入場所（複数回答）	16
(5) 購入時の注意喚起への接触状況（複数回答）	17
(6) 防水スプレー購入時の基準・理由（複数回答）	18
(7) 防水スプレーの購入・使用の目的（複数回答）	19
(8) 防水スプレー使用時の注意表示の確認状況（単一回答）	20
(9) 防水スプレー注意表示の確認状況（各項目単一回答）	21
(10) 防水スプレー使用時の注意事項の認知状況（複数回答）	22
(11) 防水スプレーの使用方法（各項目単一回答）	24
(12) 防水スプレー使用時の防水スプレーと対象物との距離（単一回答）	28
(13) 防水スプレー使用時の注意表示に係る認識・意見	29
(14) 注意表示・注意喚起方法、商品・販売方法等に関する自由回答	32
2 防水スプレー使用による事故に係る実態	35
(1) 防水スプレーの使用による吸入事故発生の認知状況（複数回答）	35
(2) 防水スプレー使用による「危害」「ヒヤリハット」経験の実態（単一回答）	37
(3) 「危害」「ヒヤリハット」経験の時期（単一回答）	39
(4) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の使用場所（単一回答）	40
(5) 「危害」「ヒヤリハット」経験時に使用した防水スプレーの種類（各項目単一回答）	41
(6) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の対象物（各項目単一回答）	42
(7) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の使用状況（複数回答）	43
(8) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の防水スプレーと対象物との距離（単一回答）	44
(9) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の直接要因の認識（複数回答）	45
(10) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の防水スプレー使用者（複数回答）	46

(11)	「危害」「ヒヤリハット」経験時に周囲にいた者（複数回答）	47
(12)	「危害」「ヒヤリハット」経験時に体調が悪くなった者（複数回答）	48
(13)	「危害」「ヒヤリハット」経験の詳細	49
(14)	危害経験時に体調が悪くなった者の症状（複数回答）	52
(15)	危害経験時の症状軽快までの期間（単一回答）	53
(16)	危害経験時の通院等の状況（単一回答）	54
(17)	危害経験時の持病・既往症歴（複数回答）	55
(18)	「危害」「ヒヤリハット」経験後の製品に関する相談の有無・相談先（複数回答）	56
(19)	相談・報告しなかった理由（複数回答）	57
(20)	防水スプレーの安全性に係る全般意見	58
第4	調査結果（数表）	61
1	属性に関する設問（プレ調査）	61
2	本調査アンケート	64
第5	前回調査から変更された聴取項目	81

防水スプレーの使用に関するアンケート調査結果（まとめ）

【防水スプレーの使用経験について】（プレ調査アンケート）

- 防水スプレーの使用経験について「使用したことがある」と回答した割合は、令和2年度59.9%から令和7年度55.9%と4ポイント減少している。
- 使用のきっかけは「雨や雪などで衣類や靴が濡れるのが嫌だったから」が令和2年度54.5%から令和7年度48.1%と約6ポイント減少した一方、「インターネットやSNSで使用を推奨する記事や書き込みを見た」が倍増、「ゲリラ豪雨の増加など、最近の気象が変化してきているから」が令和2年度8.0%から令和7年度11.2%と約3ポイント増加し、情報接触や気象変化を背景とした使用のきっかけが増加している傾向がみられる。
- 使用対象は「靴（布製）」が令和2年度42.0%から令和7年度56.7%と約15ポイント増加し、防水スプレーの利用対象が布製の靴へ広がっている傾向がみられる。
- 未使用理由では「防水スプレーを使用する必要性を感じないから」が令和2年度67.1%から令和7年度48.6%と約19ポイント減少した一方、「吸い込むと事故が起こるおそれのある製品だから」、「高額だから」、「防水等の効果が期待できないから」等の安全性や価格、効果に関する理由を挙げる割合が高まり、未使用理由の構成に変化がみられる。

【防水スプレーの購入経験について】（以下、本調査アンケート）

- 防水スプレーを使用したことがある者のうち94.7%が自ら使用するために防水スプレーを購入した経験がある。購入のきっかけは、「持っていた防水スプレーを使い切ったため」が令和2年度50.1%から令和7年度45.4%と約5ポイント減少した一方、「所有している、または新たに購入した対象物に使用するため」、「店で防水スプレーの効果などの説明書きを見たため」、「インターネットを通じて効果や有効性を感じたため」等の対象物の購入や情報接触を契機とした購入手続きが増加する傾向がみられる。
- 購入した防水スプレーの種類では、「靴用（布・革製用）」が令和2年度23.5%から令和7年度34.6%と約11ポイント増加、「布製品全般用」も令和2年度19.5%から令和7年度23.2%と約4ポイント増加していることから、布製品への使用層が増えている様子がうかがえる。
- 購入場所は「靴店」は令和2年度と同水準で引き続き主要な購入先となっている一方、「薬局・ドラッグストア」、「アウトドアショップ・スポーツ用品店」、「インターネットによる通信販売」等が増加しており、購入場所の多様化が進んでいる傾向がみられる。
- 購入時の注意喚起への接触状況は、「注意書きを見た」が56.8%と最も多く、「説明を受けた」は令和2年度10.7%から令和7年度16.4%と約6ポイント、「注意書きを見た」も令和2年度53.5%から令和7年度56.8%と約3ポイント増加している。一方、「説明を受けていない・注意書きを目にしていない」は、令和2年度24.0%から令和7年度18.7%と約5ポイント減少しており、購入時に店頭で安全に関する情報へ接触する割合が高まっている傾向がみられる。

【防水スプレーの使用実態について】

- 防水スプレー使用前の注意表示の確認状況は、「全部読んでいる」が令和2年度9.4%から令和7年度17.5%と約8ポイント増加しており、安全表示をより丁寧に確認する人が増えている一方、「だいたい読んでいる」が43.2%と最も多くを占めている。

- 防水スプレーの注意表示は、肯定的な評価が多く得られた。特に「注意表示を見て、安全に使おうと意識した」は「当てはまる」「やや当てはまる」の合計が88.7%と9割弱を占めており、注意喚起が行動意識の向上につながっている様子がうかがえる。一方、「注意表示の内容は読みやすいものだった」は「当てはまらない」が1割強(11.7%)みられ、読みづらさを感じる層もみられる。
- 防水スプレー使用時の注意事項の認知状況は「必ず屋外で使用する」、「吸い込むと有害」、「風通しの良い所で使用する」で、いずれも5割以上で推移している。「顔の近くで使用しない」(43.6%)や「マスクをつける」(22.7%)など、令和2年度と比較すると、より具体的かつ実践的な安全行動に関する認知が高まっている。
- 防水スプレーの使用方法としては、「霧を吸い込まないように気をつけている」が92.7%、「風通しの良い場所で使用する」が90.9%など、令和2年度と概ね同水準で推移している。一方、「屋内で使用する(換気なし)」は令和2年度8.6%から令和7年度15.0%と増加しており、一部の者において使用方法の理解が十分でない可能性が示唆される。
- 防水スプレーと対象物との距離は、「10~20センチ程度」が51.8%と多くを占める一方、「10センチ未満」は令和2年度4.7%から令和7年度6.2%と増加しており、比較的近い距離で使用する傾向がみられる。

【防水スプレーの使用による「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について】

- 防水スプレーの使用による吸入事故発生の認知率は令和2年度43.0%から令和7年度52.3%と約9ポイント増加している。認知した情報源では、令和2年度と比較すると「スプレー缶表面の注意表示」、「自らの体験」、「インターネットのニュース」が増加しており、身近な情報源を通じて事故を知った割合が高まっている。
- 防水スプレーの使用による「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は、使用経験者のうち15.4%が「はい」と回答した。令和2年度と比較すると、性別では女性の経験者が令和2年度11.8%から令和7年度15.1%と約3ポイント増加、年代別では「20代」「30代」で高く、「60代」「70代以上」では低いという差が明確になった。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」を経験した場所は、「屋外(風あり)」が令和2年度22.4%から令和7年度34.6%と約12ポイント増加し、屋外であっても風向きなどの条件によってリスクが生じている可能性が高い。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験時に使用していた防水スプレーの種類は、「靴用(布・革製用)」が令和2年度49.3%から令和7年度66.0%、「靴用(革製のみ)」が令和2年度51.5%から令和7年度62.1%といずれも約11ポイント以上増加しており、防水スプレーの利用が靴全般でより広がっている傾向がみられる。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験時の使用状況は、「霧を吸い込まないように気を付けていた」が49.4%と最も多く、令和2年度から大きな変化はない。「風通しの良い場所で使用していた」は令和2年度32.8%から令和7年度41.0%と約8ポイント、「マスクをつけていた」は令和2年度13.4%から令和7年度23.1%と約10ポイント増加している。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験時の防水スプレーの利用者は「回答者自身」が88.5%で、体調が悪化した者も「回答者自身」が最も多かった。また、利用者の周囲には「誰もいなかった」が63.5%であった。

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の際の症状は「咳」が令和2年度50.0%から令和7年度56.7%と約7ポイント増加、「のどの痛み・違和感」が令和2年度20.7%から令和7年度29.9%と約9ポイント上昇し、呼吸器系の初期症状が増えていることがうかがえる。症状が改善するまでの期間は「当日中」が71.6%で最も多く、令和2年度と同様に多くのケースで比較的短時間のうちに回復している。症状が発生した場合も「病院には行かなかった」が80.6%と高水準で、令和2年度と同様に医療機関を受診しないケースが大半を占める状況は変わらない。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験時に、商品について相談・報告を行ったか否かについては、「報告しなかった」が77.6%と最も多いものの、令和2年度と比較すると「メーカー」14.1%や「販売店・販売サイト」10.9%などへの相談は増加している。
- 相談・報告をしなかった理由として「相談・報告するほどのものではないと思ったから」が令和2年度67.3%から令和7年度62.8%とやや低下したものの、依然6割を超え、令和2年度と同様に軽度と判断して対応しなかったケースが多い。一方で、「相談・報告する（したほうがいい）ことを思いつかなかったから」は令和2年度11.5%から令和7年度5.8%へ減少しており、相談先の理解や認識が進んでいる可能性がある。

第1 調査の概要

1 調査地域と調査対象者、有効回答数

(1) プレ調査アンケート

東京都に居住する20歳以上の男女を対象に調査を行った。

有効回答： 1,809件

プレ調査における有効回答の性別・年代別の構成割合を図1-1に示す。

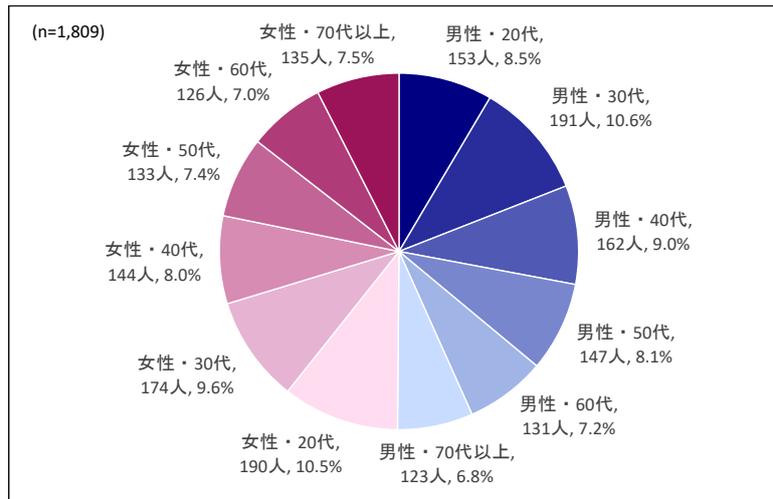


図1-1 プレ調査における回答者の性別・年代別構成割合 SC1

(2) 本調査アンケート

プレ調査において、「防水スプレーを使用したことがある」と回答した者を対象に調査を行った。

有効回答： 1,011件

本調査における有効回答の性別・年代別の構成割合を図1-2に示す。

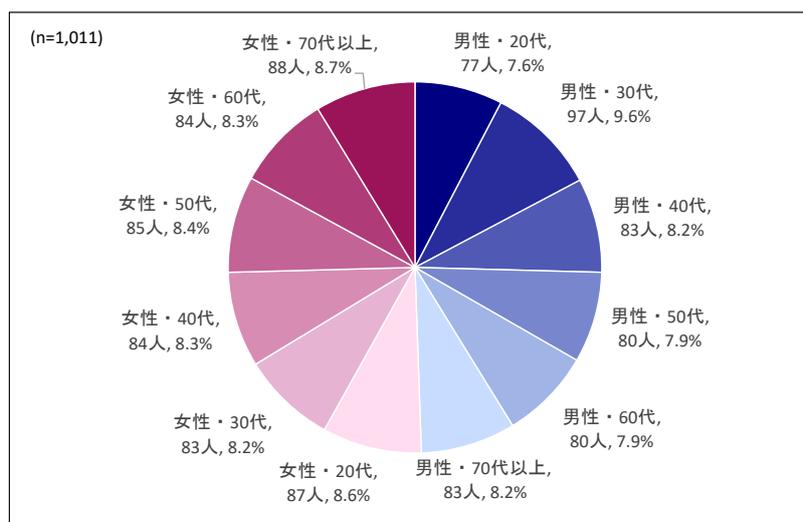


図1-2 本調査における回答者の性別・年代別構成割合 SC1

調査方法

Web を利用したインターネットアンケート調査

調査実施期間

2025 年 9 月 10 日（水曜日）から 9 月 24 日（火曜日）まで（15 日間）

集計・分析に関する注釈

回答比率（％）は、小数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても 100％にならない場合がある。

設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が 100％を超える場合がある。

図に表記される「n=*（*は数字）」は、対象の母数を表す。

図や表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、実際のアンケート調査における文章とは一致していない場合がある。

第2 プレアンケート調査結果

1 防水スプレーの使用経験（単一回答）

防水スプレーの使用経験について尋ねたところ(図2-1)、「使用したことがある」が55.9%(1,011件)と最も多く、次いで「いいえ」が36.5%(661件)となっている。

令和2年度と比較すると、「使用したことがある」と回答した割合は、令和2年度59.9%から令和7年度55.9%と4ポイント減少している。

一方、「使用したことはないが、自分の周囲で使用されたことがある」や「いいえ(他の選択肢に当てはまらない)」と回答した割合はいずれも微増している。

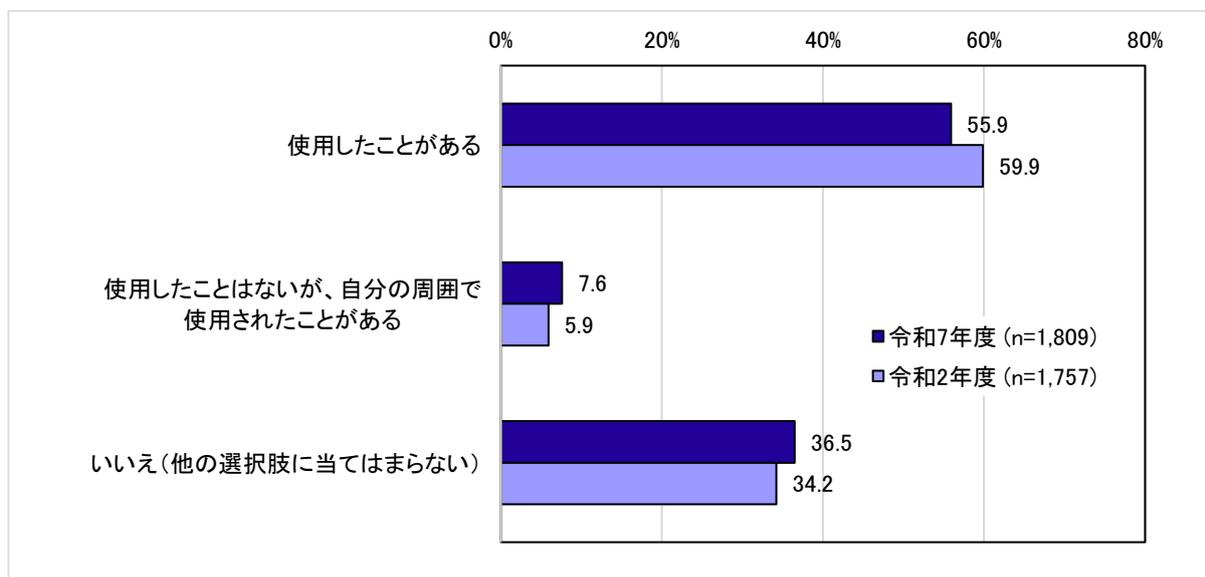


図 2-1 防水スプレーの使用経験(単一回答)SC3

参考1 調査対象とした防水スプレーの種類



2 防水スプレー使用のきっかけ（複数回答）

防水スプレーの使用経験がある者に対し、防水スプレーを使用したきっかけについて尋ねたところ（図 2-2）、「雨や雪などで衣類や靴が濡れるのが嫌だったから」が 48.1%（486 件）と最も多く、次いで「衣類や靴などの撥水効果がなくなってきたから」が 29.1%（294 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「雨や雪などで衣類や靴が濡れるのが嫌だったから」は令和 2 年度 54.5%から令和 7 年度 48.1%と約 6 ポイント減少しており、「衣類や靴などの撥水効果がなくなってきたから」についても、令和 2 年度 34.8%から令和 7 年度 29.1%と約 6 ポイント減少している。

一方、「インターネットや SNS で使用を推奨する記事や書き込みを見た」は令和 2 年度 6.3%から令和 7 年度 12.4%と倍増、「ゲリラ豪雨の増加など、最近の気象が変化してきているから」は令和 2 年度 8.0%から令和 7 年度 11.2%と約 3 ポイント増加しており、情報接触や気象変化を背景とした使用のきっかけが増加している傾向がみられる。

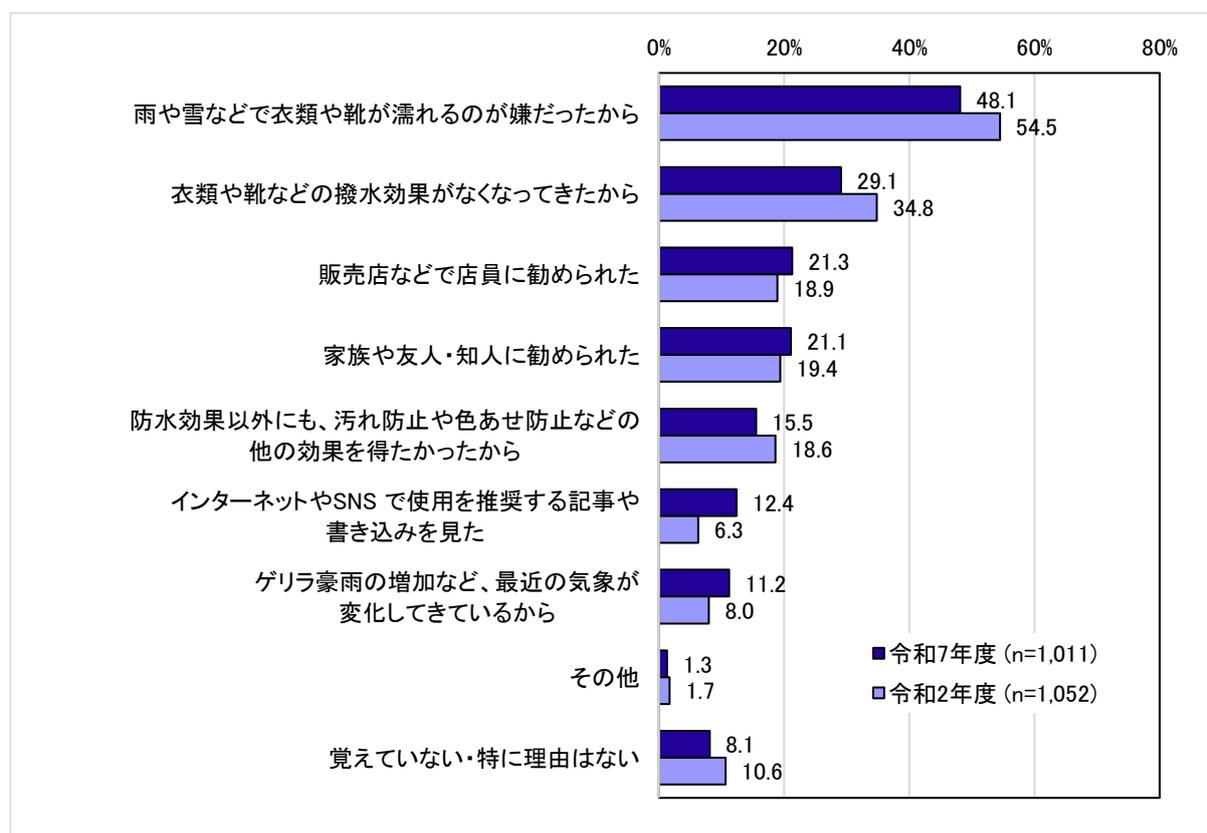


図 2-2 防水スプレー使用のきっかけ(複数回答)SC4-1

防水スプレーを使用したきっかけを年代別にみると（図 2-3）、男女ともに「雨や雪などで衣類や靴が濡れるのが嫌だったから」が最も多い使用のきっかけであり、「衣類や靴などの撥水効果がなくなってきたから」とともに特に高年齢層で割合が高い傾向がみられる。

男性若年層では「販売店で店員に勧められた」や「ゲリラ豪雨の増加など、最近の気象が変化してきているから」、女性若年層では「販売店で店員に勧められた」や「家族や友人・知人に勧められた」を理由とする割合が高い。

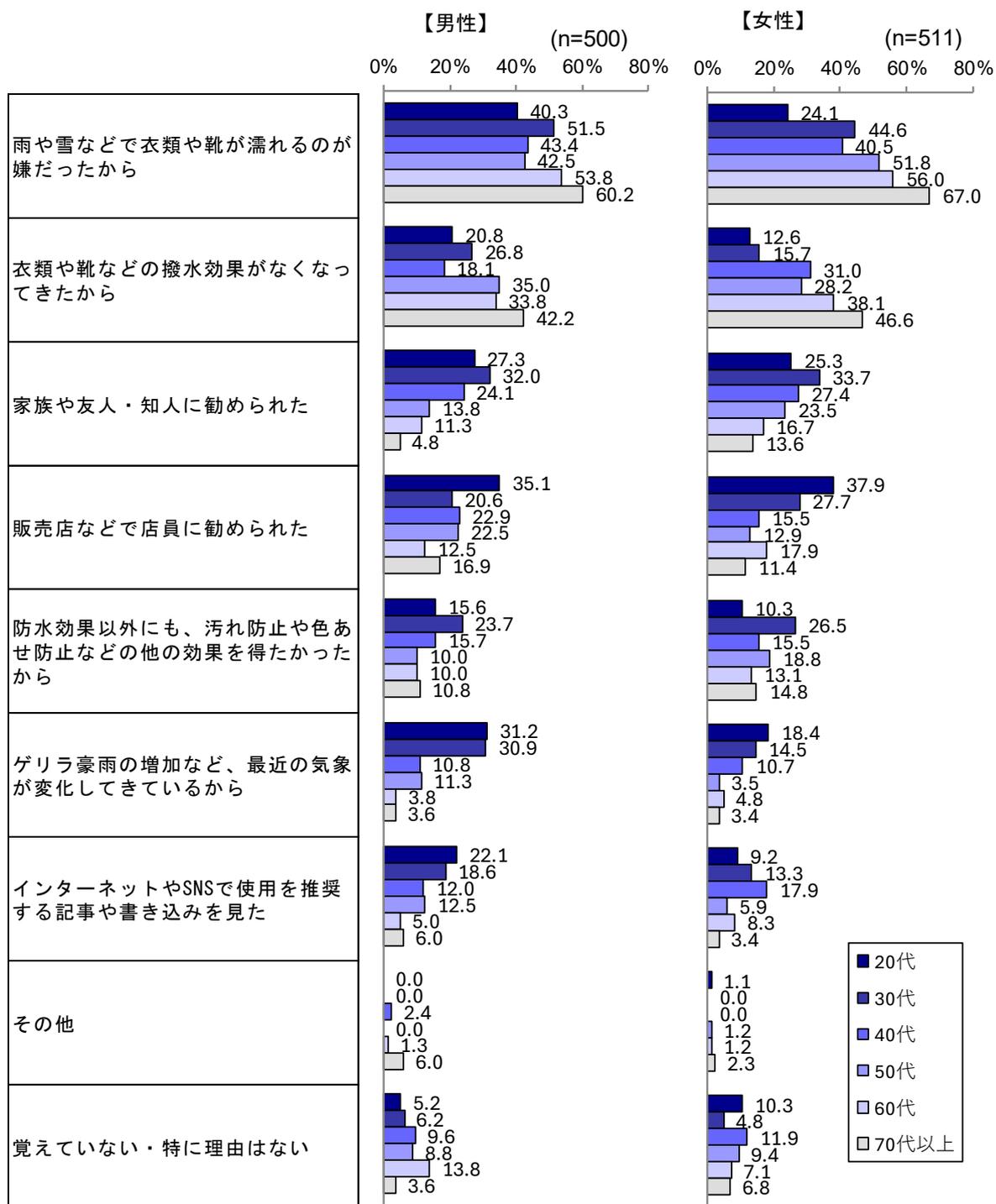


図 2-3 防水スプレー使用のきっかけ(複数回答)SC1×SC4

3 防水スプレーの使用対象（複数回答）

防水スプレーの使用経験がある者に対し、防水スプレーを何に対して使用したかについて尋ねたところ（図 2-4）、「靴（革製）」が 60.2%（609 件）と最も多く、次いで「靴（布製）」が 56.7%（573 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、使用対象として最も多いのはいずれの年度においても「靴（革製）」であるが、令和 2 年度 63.7%から令和 7 年度 60.2%と約 4 ポイント減少している。一方、「靴（布製）」は令和 2 年度 42.0%から令和 7 年度 56.7%と約 15 ポイント増加しており、防水スプレーの使用対象が布製の靴へ広がっている傾向がみられる。

また、「傘」は令和 2 年度 38.1%から令和 7 年度 39.8%、「レインコート」は令和 2 年度 24.2%から令和 7 年度 27.5%、「アウトドア用・ウィンタースポーツ用の衣類」は令和 2 年度 29.8%から令和 7 年度 26.5%と、わずかな増減があるが布製の靴までの大きな変化はみられない。

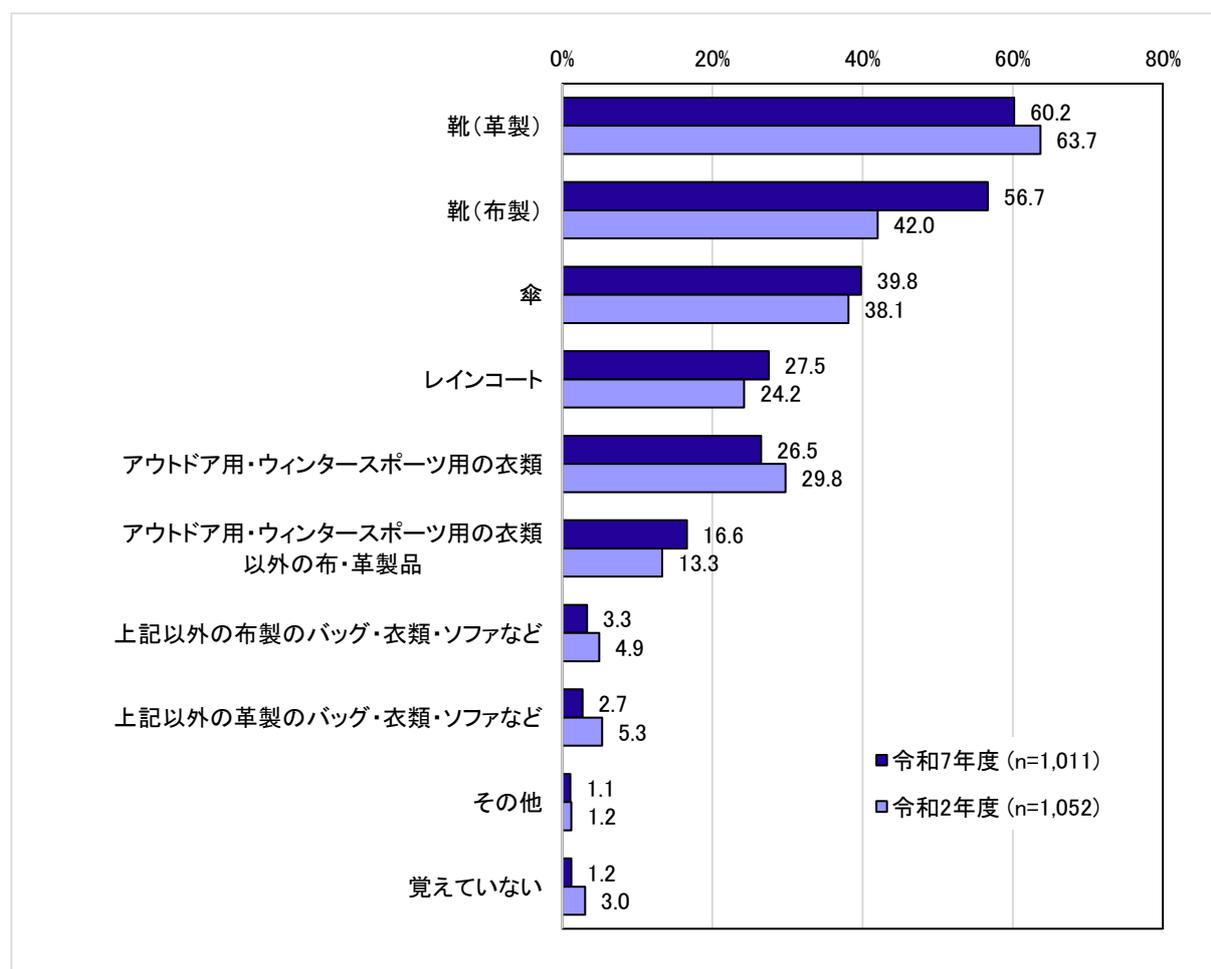


図 2-4 防水スプレーの使用対象(複数回答)SC5

4 防水スプレーを使用しない理由（複数回答）

防水スプレーの使用経験がない者に対してその理由を尋ねたところ（図 2-5）、「防水スプレーを使用する必要性を感じないから」が 48.6%（388 件）と最も多く、次いで「吸い込むと事故が起こるおそれのある製品だから」が 15.5%（124 件）、「高額だから」が 14.8%（118 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「防水スプレーを使用する必要性を感じないから」は令和 2 年度 67.1% から令和 7 年度 48.6% と、約 19 ポイント減少している。

一方、「吸い込むと事故が起こるおそれのある製品だから」は令和 2 年度 10.6% から令和 7 年度 15.5%、「高額だから」は令和 2 年度 9.1% から令和 7 年度 14.8%、「防水等の効果が期待できないから」は令和 2 年度 9.4% から令和 7 年度 13.3% といずれも増加しており、安全性・価格・効果に関する理由を挙げる割合が高まるなど、未使用理由の構成に変化がみられる。

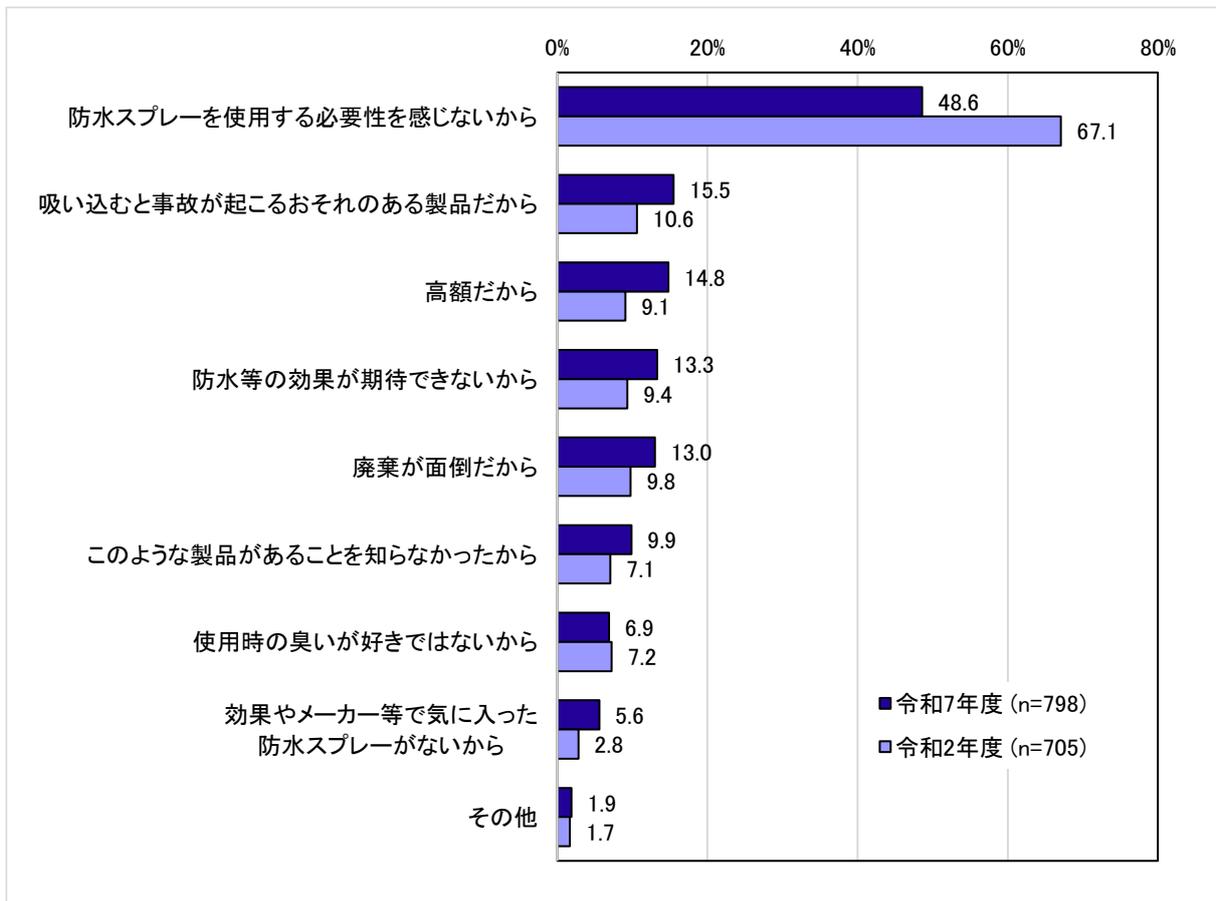


図 2-5 防水スプレーを使用しない理由（複数回答）SC6

第3 本調査アンケート調査結果

プレ調査アンケートで、防水スプレーを「使用したことがある」と回答した者を対象に調査を行った。

1 防水スプレーの購入・使用状況

使用したことがある防水スプレーについて質問した結果は以下のとおりである。

(1) 防水スプレーの購入経験

防水スプレーを使用したことがある者のうち、自ら使用するために防水スプレーを購入した経験がある者は(図3-1)、94.7%(957件)であり、うち「1年以内に購入した」が28.9%(292件)、「1年～2年以内に購入した」が19.0%(192件)、「それより前に購入した」が46.8%(473件)となっている。

令和2年度と比較すると、「1年以内に購入した」は令和2年度・令和7年度ともに28.9%で変化はみられず、購入時期の構成は概ね横ばいで推移している。

一方、「それより前に購入した」は令和2年度44.2%から令和7年度46.8%と増加している。

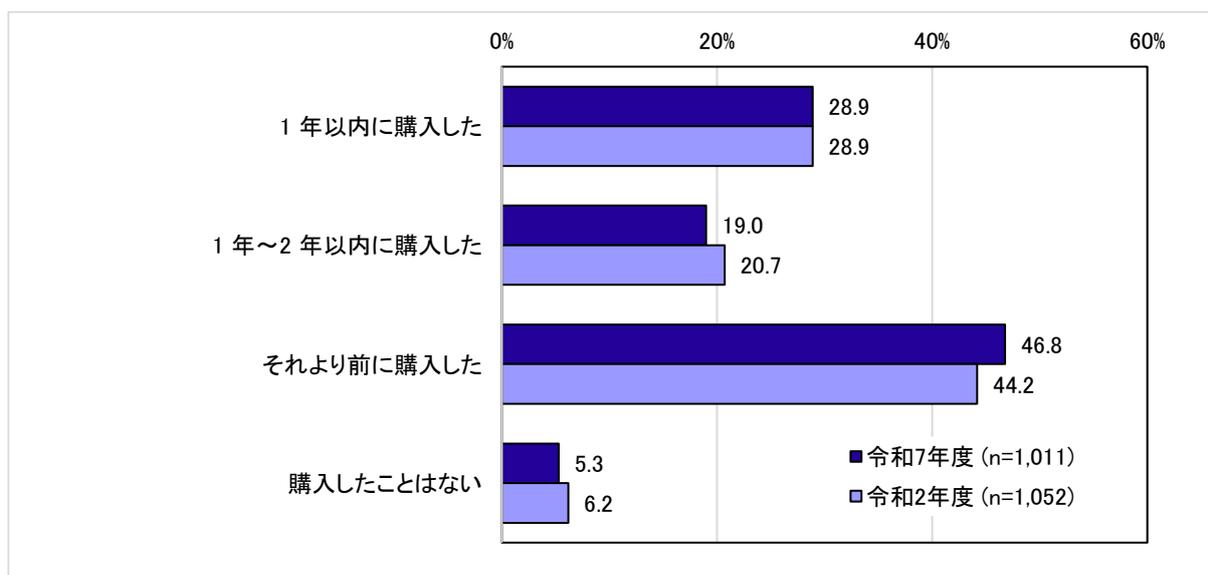


図3-1 防水スプレーの購入経験(単一回答)Q1

(2) 防水スプレー購入のきっかけ（複数回答）

防水スプレーの購入経験がある者に対し、そのきっかけを尋ねたところ（図3-2）、「持っていた防水スプレーを使い切ったため」が45.4%（434件）と最も多く、次いで「所有している、または新たに購入した対象物に使用するため」が26.3%（252件）となっている。

令和2年度と比較すると、「持っていた防水スプレーを使い切ったため」は令和2年度50.1%から令和7年度45.4%と約5ポイント減少している。

一方、「所有している、または新たに購入した対象物に使用するため」は令和2年度22.1%から令和7年度26.3%、「店で防水スプレーの効果などの説明書きを見たため」は令和2年度10.4%から令和7年度13.9%、「インターネットを通じて効果や有効性を感じたため」は令和2年度5.1%から令和7年度9.8%といずれも増加しており、対象物の購入や情報接触を契機とした購入行動が増加する傾向がみられる。

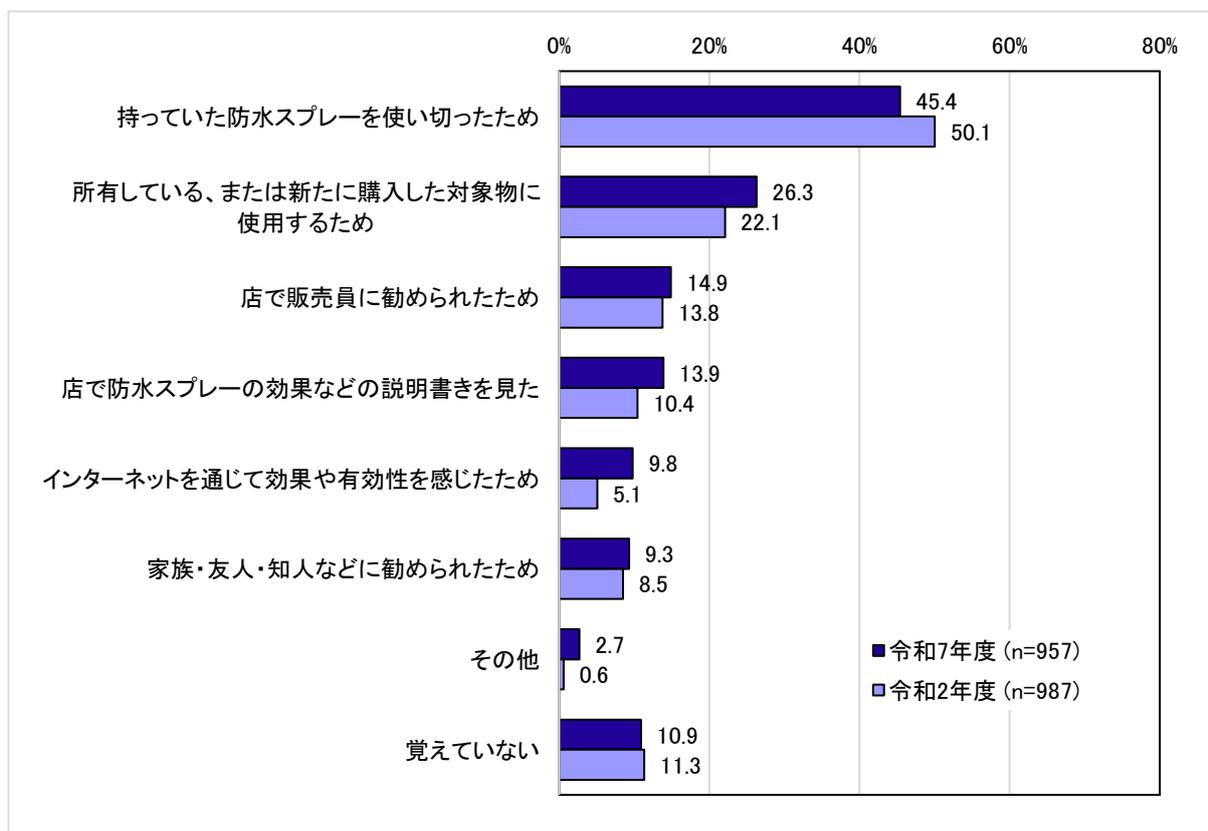


図3-2 防水スプレー購入のきっかけ(複数回答)Q2

(3) 防水スプレーの種類（複数回答）

防水スプレーの購入経験がある者に対し、購入した防水スプレーの種類を尋ねたところ（図3-3）、「靴用（布・革製用）」が34.6%（331件）と最も多く、次いで「靴用（革製のみ）」が27.1%（259件）となっている。

令和2年度と比較すると、「靴用（布・革製用）」が令和2年度23.5%から令和7年度34.6%となり、約11ポイント増加、「布製品全般用」も令和2年度19.5%から令和7年度23.2%に約4ポイント増加していることから、布製品への使用層が増えている様子がうかがえる。

また、「傘用」は令和2年度12.3%から令和7年度18.1%と約6ポイント増加しており、用途別の選択状況がみられる。

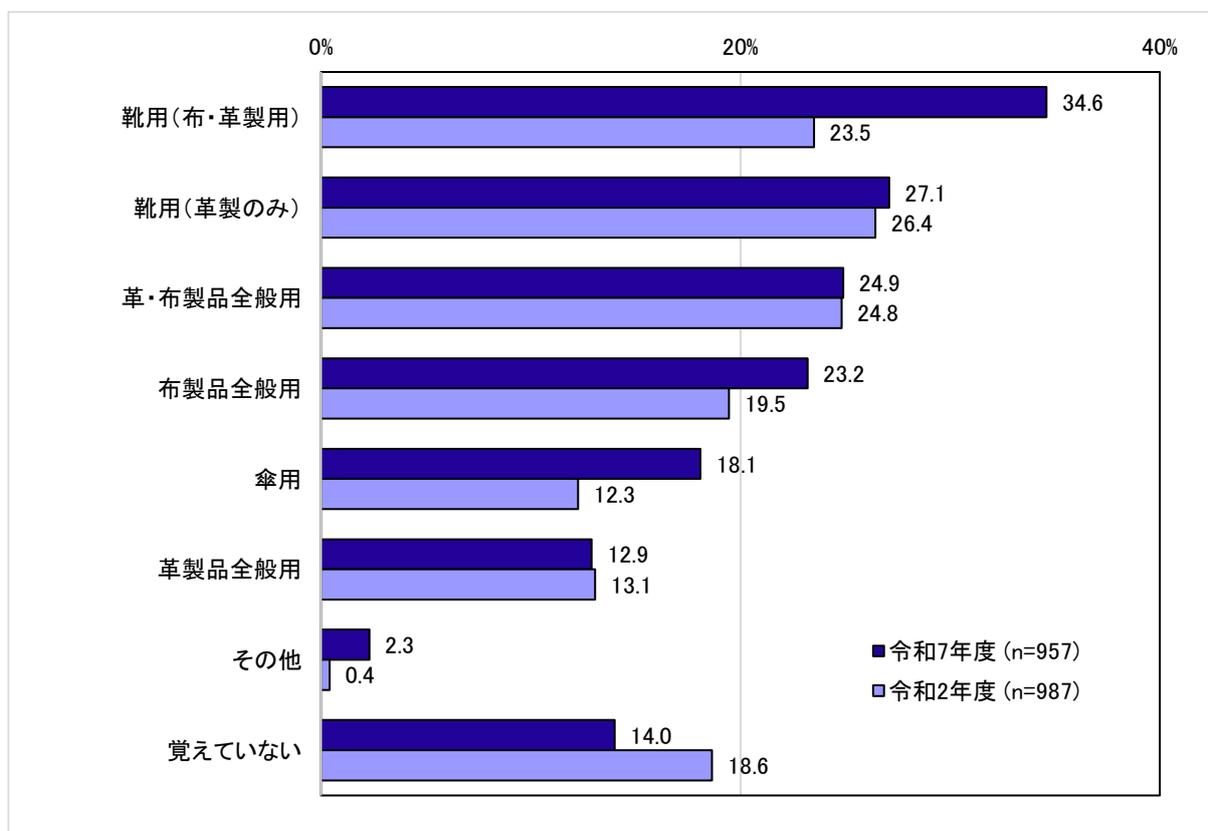


図 3-3 防水スプレーの種類(複数回答)Q3

(4) 防水スプレーの購入場所（複数回答）

防水スプレーの購入経験がある者に対し、購入場所を尋ねたところ（図 3-4）、「靴店」が 26.1%（250 件）と最も多く、次いで「ホームセンター」が 23.9%（229 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「靴店」は令和 2 年度 26.4%から令和 7 年度 26.1%、「ホームセンター」は令和 2 年度 23.7%から令和 7 年度 23.9%、「ディスカウントストア・スーパーマーケット」は令和 2 年度 16.8%から令和 7 年度 16.9%と、ほぼ同水準で推移しており主要な購入場所に大きな変化はみられない。

一方、「薬局・ドラッグストア」は令和 2 年度 10.7%から令和 7 年度 15.8%、「アウトドアショップ・スポーツ用品店」は令和 2 年度 12.0%から令和 7 年度 14.6%、「インターネットによる通信販売」は令和 2 年度 9.1%から令和 7 年度 14.4%といずれも増加しており、購入場所の多様化が進んでいる傾向がみられる。

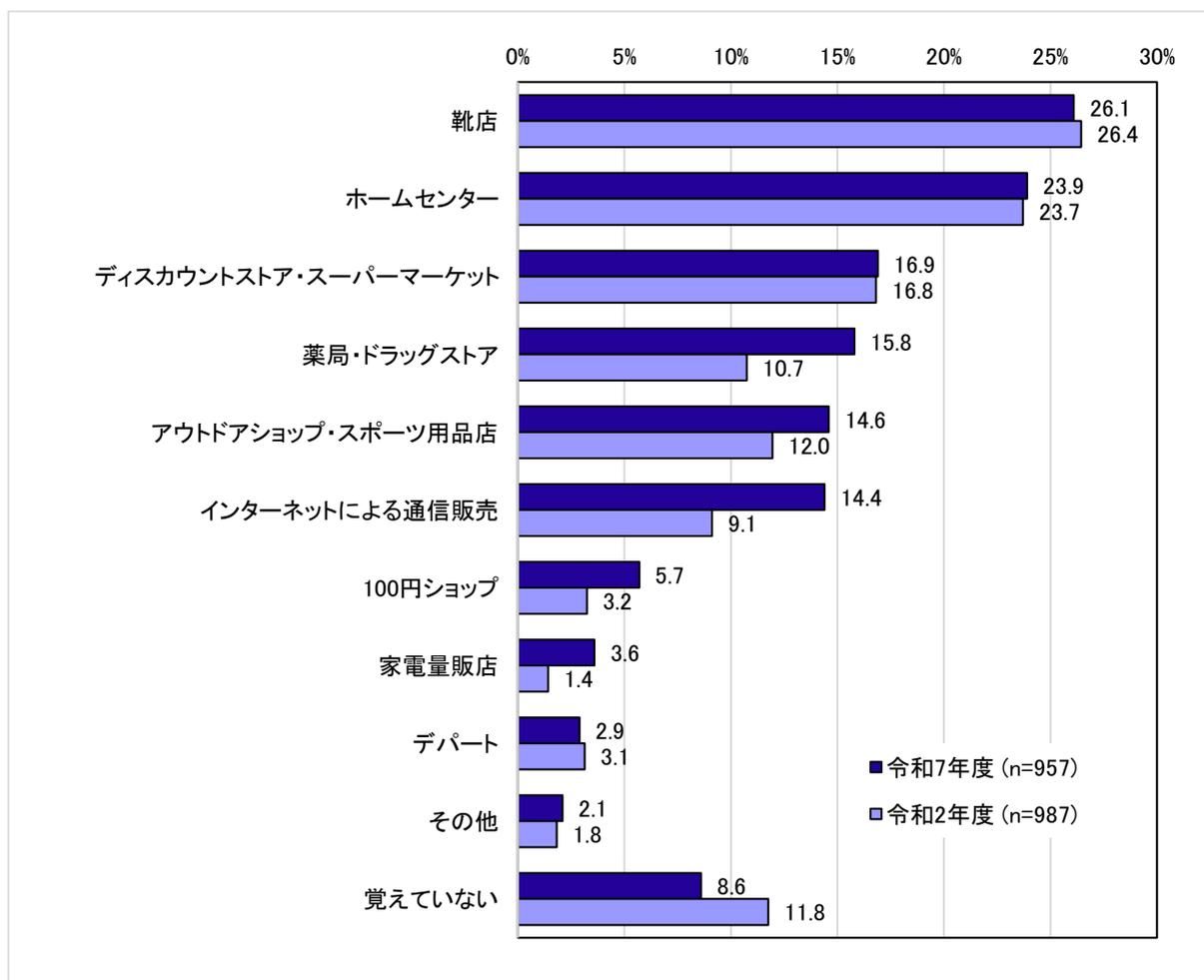


図 3-4 防水スプレーの購入場所（複数回答）Q4

(5) 購入時の注意喚起への接触状況（複数回答）

防水スプレーの購入経験がある者に対し、購入時の店員からの説明や注意書きの有無を尋ねたところ（図3-5）、「注意書きを見た」が56.8%（544件）と最も多く、次いで「説明を受けていない・注意書きを目にしていない」が18.7%（179件）となっている。

令和2年度と比較すると、「説明を受けた」は令和2年度10.7%から令和7年度16.4%と約6ポイント、「注意書きを見た」も令和2年度53.5%から令和7年度56.8%と約3ポイント増加している。

一方、「説明を受けていない・注意書きを目にしていない」は、令和2年度24.0%から令和7年度18.7%と約5ポイント減少しており、購入時に店頭で安全に関する情報へ接触する割合が高まっている傾向がみられる。

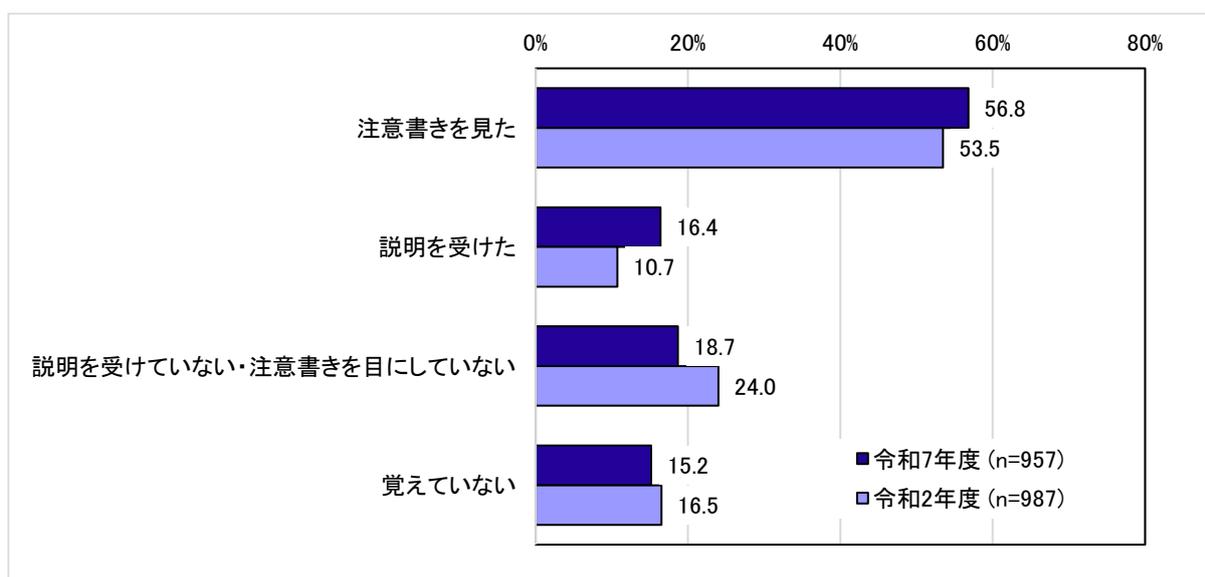


図 3-5 購入時の注意喚起への接触状況（複数回答）Q5

(6) 防水スプレー購入時の基準・理由（複数回答）

防水スプレーの購入経験がある者に対し、防水スプレーを購入する際の基準や理由を尋ねたところ（図3-6）、「効果・性能」が66.1%（633件）と最も多く、次いで「価格」が56.5%（541件）となっている。

令和2年度と比較すると、購入時の基準として最も多い「効果・性能」は、令和2年度63.2%から令和7年度66.1%と約3ポイント増加している。また、「デザイン」は令和2年度3.2%から令和7年度6.2%と3ポイント上昇しており、購入理由として機能面以外の見た目の要素に対する関心が高まっている傾向がみられる。

一方、「価格」は令和2年度56.7%から令和7年度56.5%、「容量」は令和2年度32.6%から令和7年度32.4%、「メーカー・ブランド・生産国」は令和2年度24.0%から令和7年度23.6%と、いずれも大きな変化はみられず、基本的な比較要素を重視する傾向は継続している。

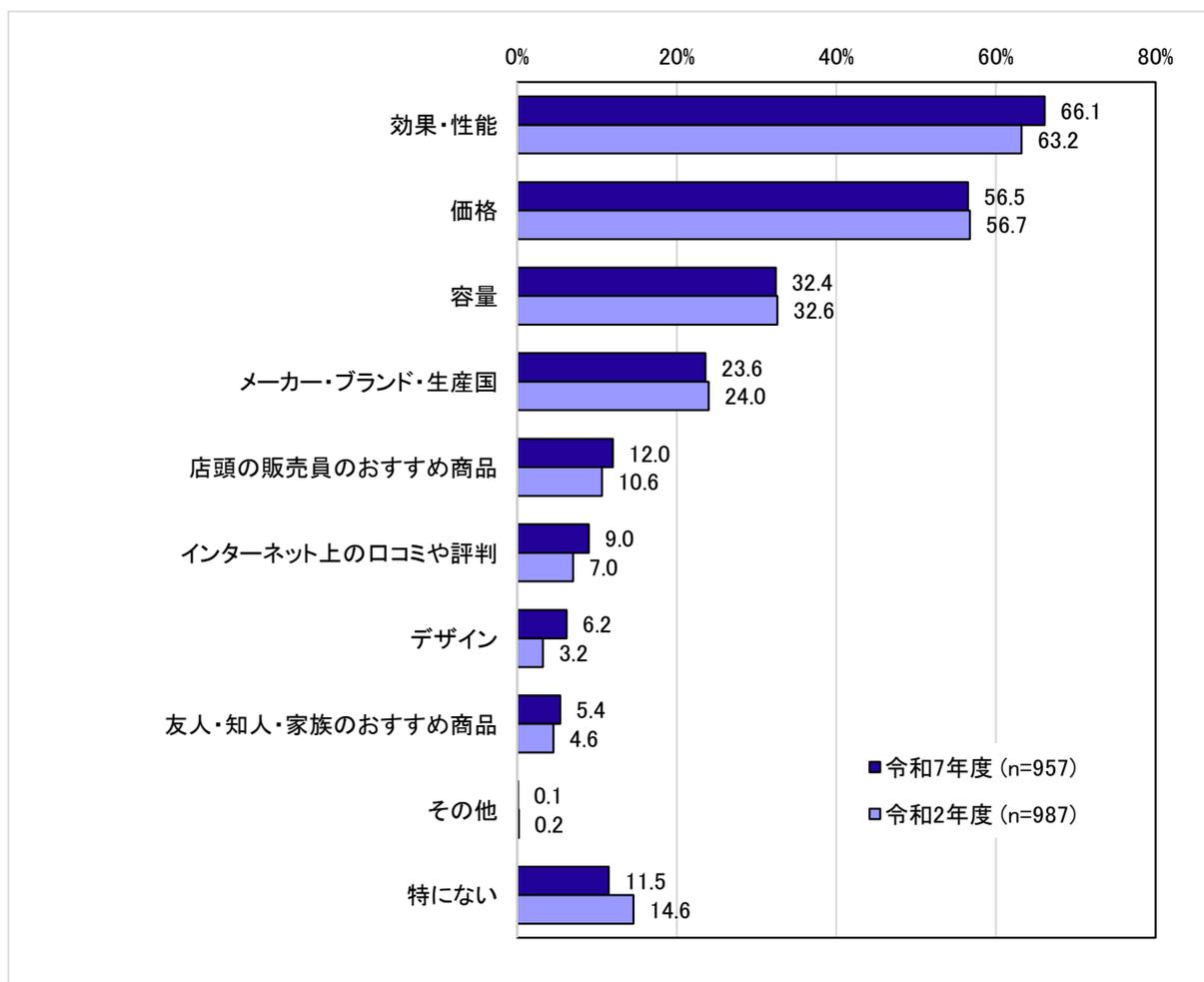


図 3-6 防水スプレー購入時の基準・理由(複数回答)Q6

(7) 防水スプレーの購入・使用の目的（複数回答）

防水スプレーを購入または使用した目的を尋ねたところ（図3-7）、「防水・撥水効果を持たせるため」が90.3%（913件）と最も多く、次いで「汚れを防止するため」が40.6%（410件）となっている。

令和2年度と比較すると、「防水・撥水効果を持たせるため」は令和2年度95.5%から令和7年度90.3%と約5ポイント減少しているものの、依然として最も多い目的となっている。

一方、「汚れを防止するため」は令和2年度34.6%から令和7年度40.6%、「保湿、つや出しなど、生地の手入れのため」は令和2年度8.4%から令和7年度11.9%といずれも増加しており、防水以外の付随的な効果を目的として使用する傾向もみられる。

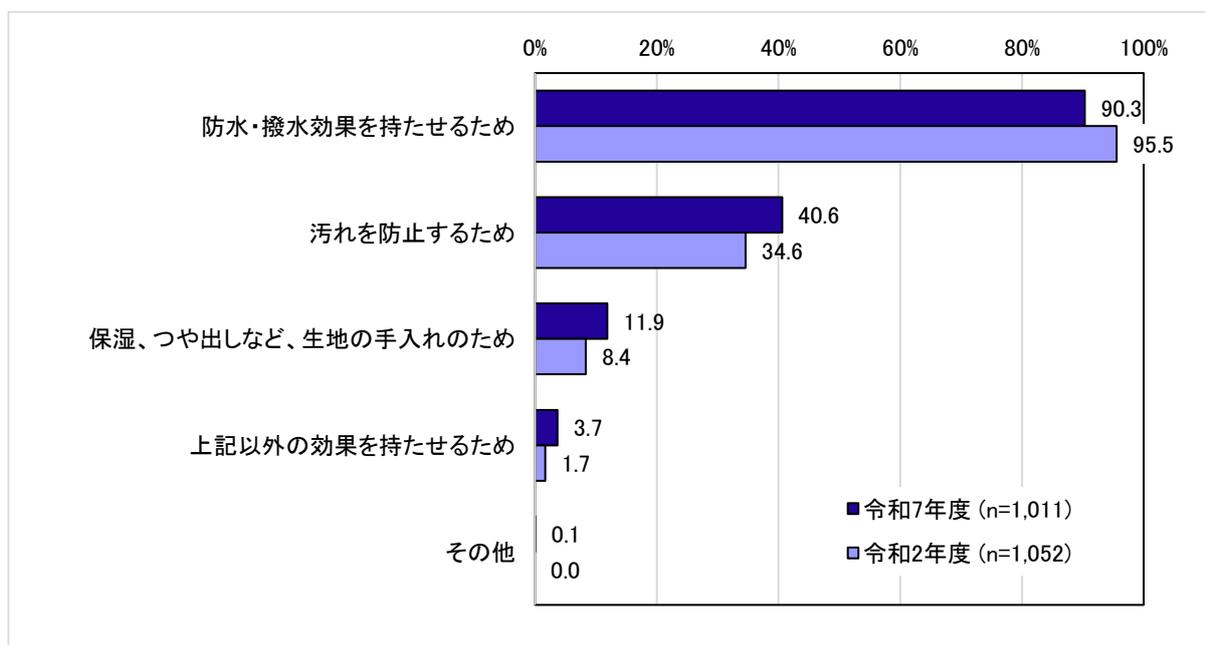


図 3-7 防水スプレーの購入・使用の目的（複数回答）Q7

(8) 防水スプレー使用時の注意表示の確認状況（単一回答）

防水スプレーを使う前に、缶に記載された注意表示を確認しているか尋ねたところ(図3-8)、「だいたい読んでいる」が43.2%（437件）と最も多く、次いで「目につくもののみ読んでいる」が23.6%（239件）となっている。

令和2年度と比較すると、使用前に注意表示を「全部読んでいる」と回答した割合は令和2年度9.4%から令和7年度17.5%と約8ポイント増加しており、安全表示をより丁寧に確認する人が増えている。何らかの形で「読んでいる」人は令和2年度79.4%から令和7年度84.3%と約5ポイント増加しており、注意表示を何らかの形で読む人は増加傾向にある。

一方で、「だいたい読んでいる」は令和2年度45.4%から令和7年度43.2%と、わずかに減少しているものの、引き続き最多となっている。

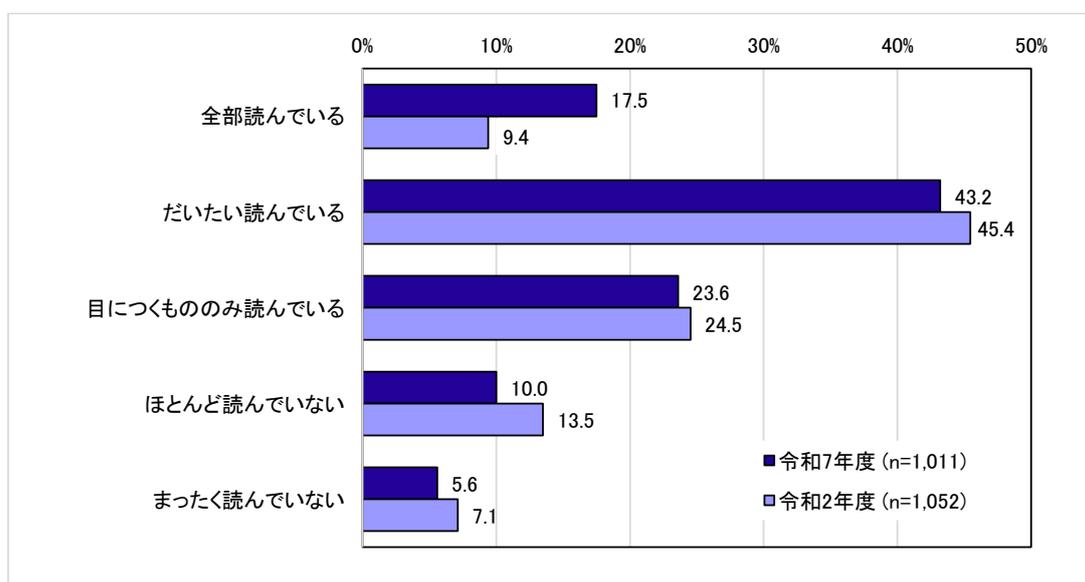


図 3-8 防水スプレー使用時の注意表示の確認状況(単一回答)Q8-1

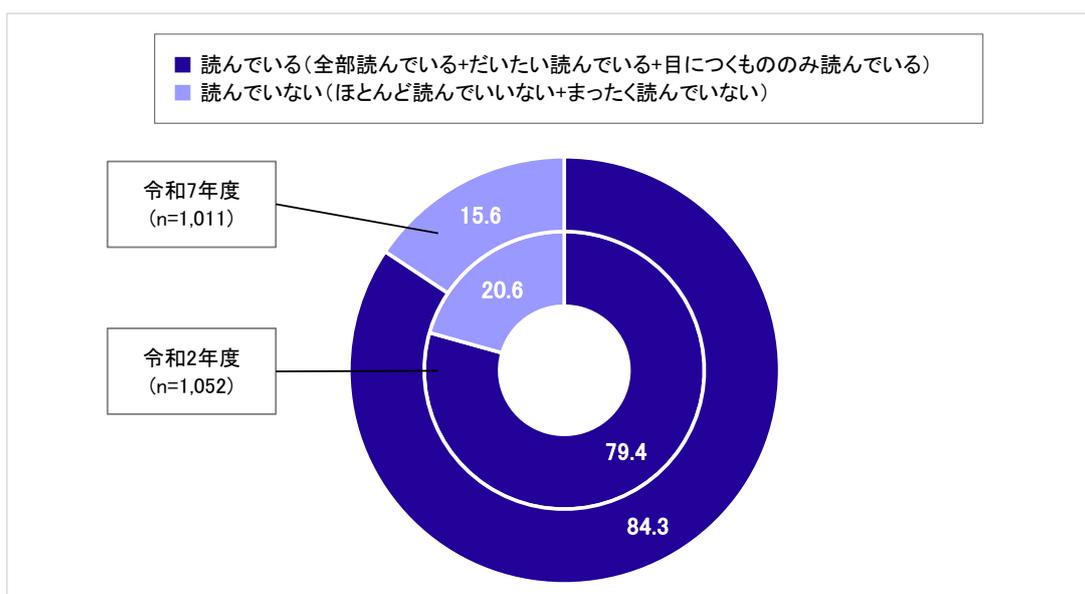


図 3-9 防水スプレー使用時の注意表示の確認状況(単一回答)Q8-2

(9) 防水スプレー注意表示の確認状況（各項目単一回答）

防水スプレーの缶に記載された注意表示に関するいくつかの項目について当てはまるかどうかを尋ねたところ（図 3-10）、注意表示に対して肯定的な評価が多く、特に「注意表示を見て、安全に使おうと意識した」は「当てはまる」「やや当てはまる」の合計が 88.7%、「注意表示の内容は信頼性があった」は 85.8%、「注意表示の内容はよく理解できた」は 85.7%、「缶に記載された注意表示ですぐ見つけることができた」は 85.0%となった。注意表示に対して肯定的な評価が多く、注意喚起が行動意識の向上につながっている様子がうかがえる。

一方で、「注意表示の内容は読みやすいものだった」に対しては「当てはまらない」が 1 割強（11.7%）存在しており、読みづらさを感じる層もみられる。

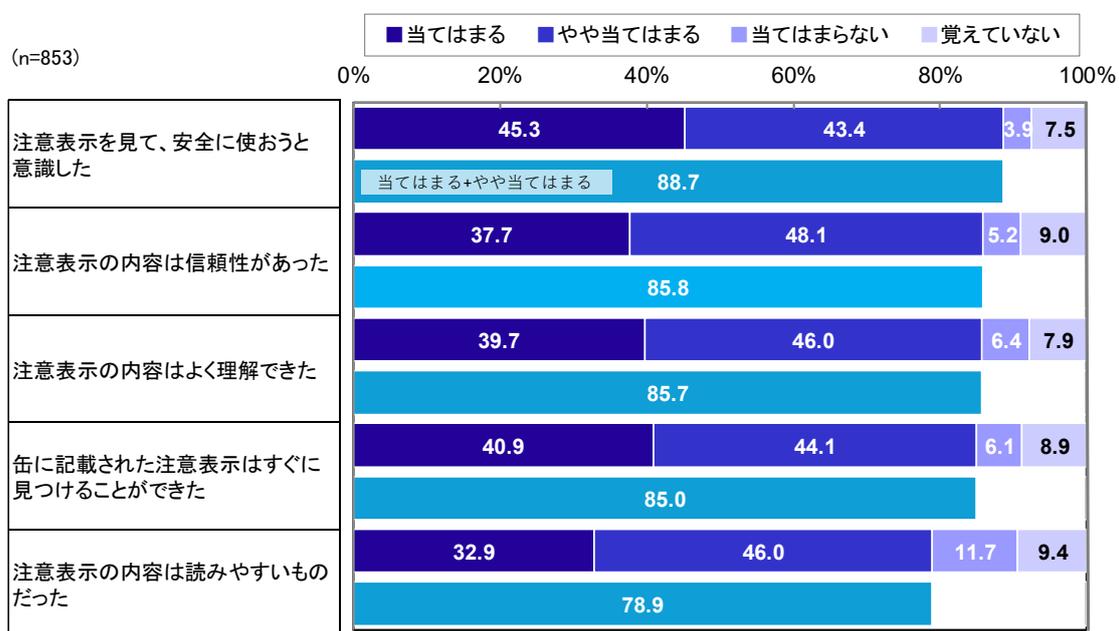


図 3-10 防水スプレー注意表示の確認状況(各項目単一回答)Q9

(10) 防水スプレー使用時の注意事項の認知状況（複数回答）

防水スプレーを使う際の注意事項について知っているものを尋ねたところ（図 3-11）、「必ず屋外で使用する（室内や車内で使用しない）」が 64.3%（650 件）と最も多く、次いで「吸い込むと有害である」が 56.3%（569 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「必ず屋外で使用する」「吸い込むと有害である」「風通しの良い所で使用する」など、基本的な安全確保に関する注意事項の認知は、令和 7 年度・令和 2 年度ともに 5～6 割以上で推移しており、大きな変化はみられない。

一方、「顔の近くで使用しない」は令和 2 年度 37.9%から令和 7 年度 43.6%、「一度に大量に使用しない」は令和 2 年度 29.5%から令和 7 年度 32.6%、「身に着けたまま使用しない」は令和 2 年度 25.6%から令和 7 年度 29.8%、「マスクをつける」は令和 2 年度 15.2%から令和 7 年度 22.7%といずれも増加しており、具体的かつ実践的な安全行動に関する認知が高まっている傾向がみられる。

また、「特に知っているものはない」は令和 2 年度 10.7%から令和 7 年度 7.3%と減少しており、全体として注意事項への理解が広がっていることがうかがえる。

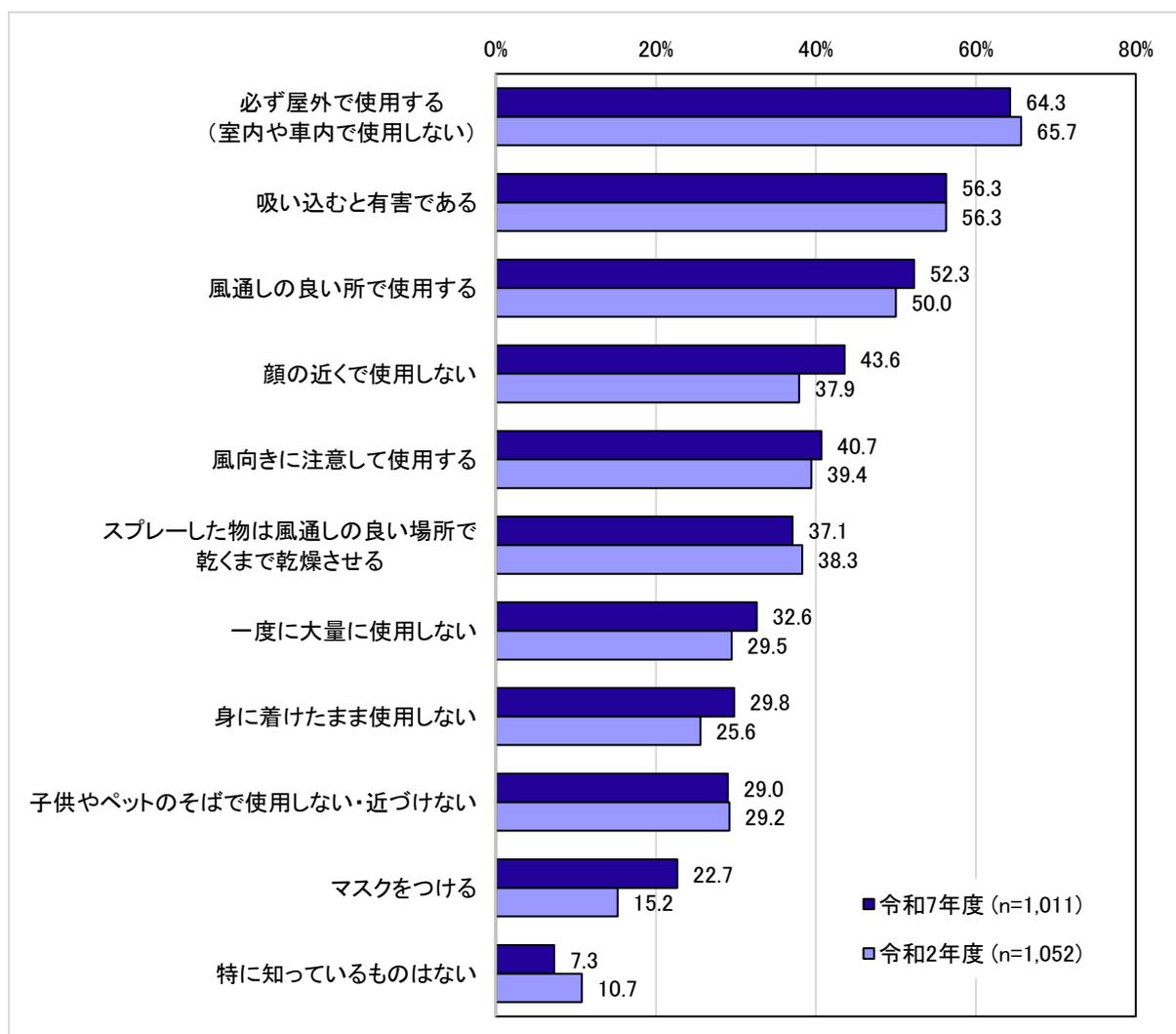
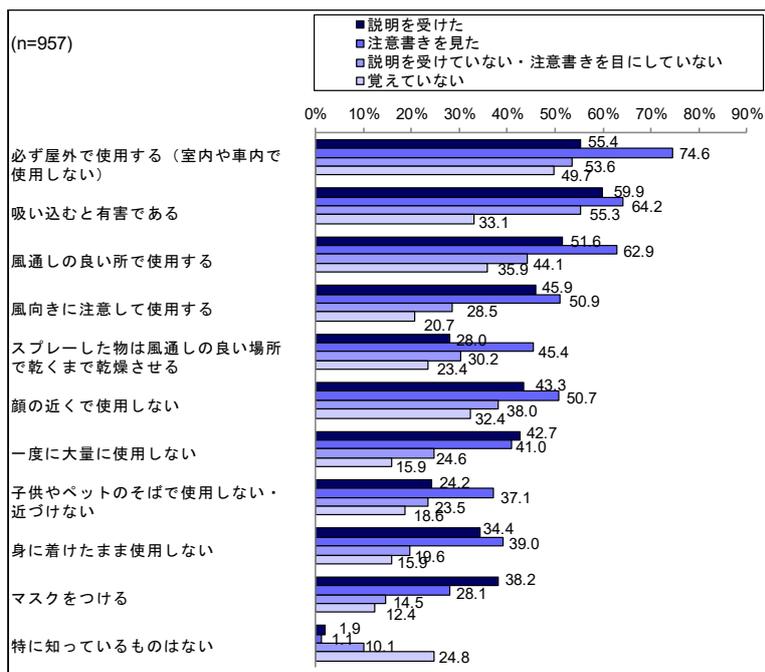


図 3-11 防水スプレー使用時の注意事項の認知状況（複数回答）Q10

防水スプレーの購入経験がある者に対し、購入時に使用上の注意事項について店員から説明を受けたり、店内の掲示物やインターネットの購入画面等における注意書きなどを目にしたりしたことがあるか否か（Q5）と、各注意事項の認知状況（Q10）との関係を比較した（図3-12）。

令和2年度と比較すると、購入時に説明や注意書きを見た層で「必ず屋外で使用する」の認知が低下している。一方で「マスクをつける」は注意喚起への接触状況に関わらず認知度が高まっている。

〈令和7年度〉



〈令和2年度〉

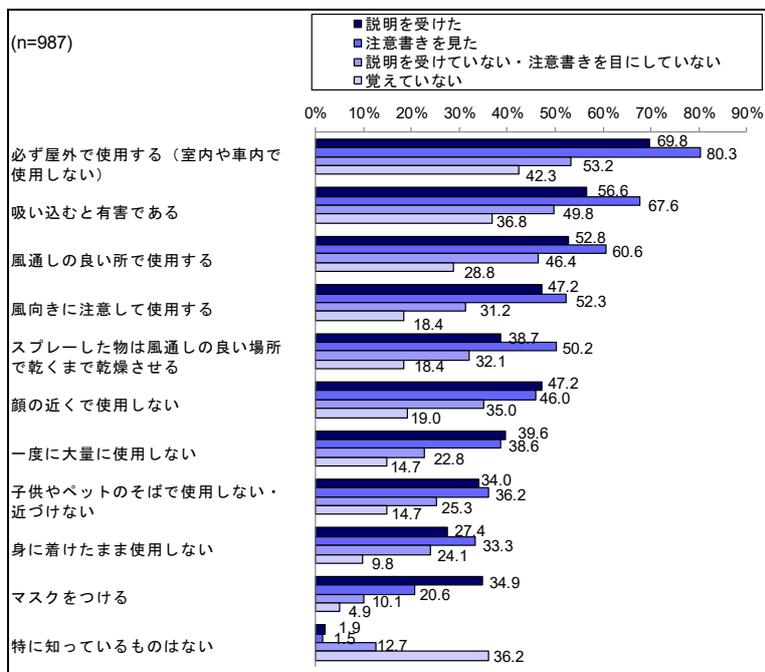


図 3-12 防水スプレー使用時の注意喚起への接触状況と注意事項の認知状況 Q5×Q10

(11) 防水スプレーの使用方法（各項目単一回答）

防水スプレーの使用方法についてあてはまるものを尋ねたところ（図 3-13）、「当てはまる計」（「当てはまる」と「やや当てはまる」の合計）は「霧を吸い込まないように気をつけている」が 92.7%（937 件）と最も多く、次いで「風通しの良い場所で使用する」が 90.9%（919 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、多くの項目において令和 7 年度と令和 2 年度の回答割合は概ね同水準で推移しており、「霧を吸い込まないように気をつけている」は令和 7 年度・令和 2 年度ともに 72.5%、「屋外で使用する」は令和 2 年度 70.9%から令和 7 年度 71.4%、「子供やペットのそばでは使用しない・近づけない」は令和 2 年度 72.4%から令和 7 年度 72.6%と、基本的な安全行動は引き続き高い水準で実施されている。

「マスクをつける」は令和 2 年度 23.4%から令和 7 年度 30.5%と約 7 ポイント増加しており、使用時の安全対策に関する意識が高まっている傾向がみられる。

その一方で、「屋内で使用する（換気なし）」は令和 2 年度 8.6%から令和 7 年度 15.0%と増加しており、一部の者において適切な使用方法の理解が十分でない可能性が示唆される。

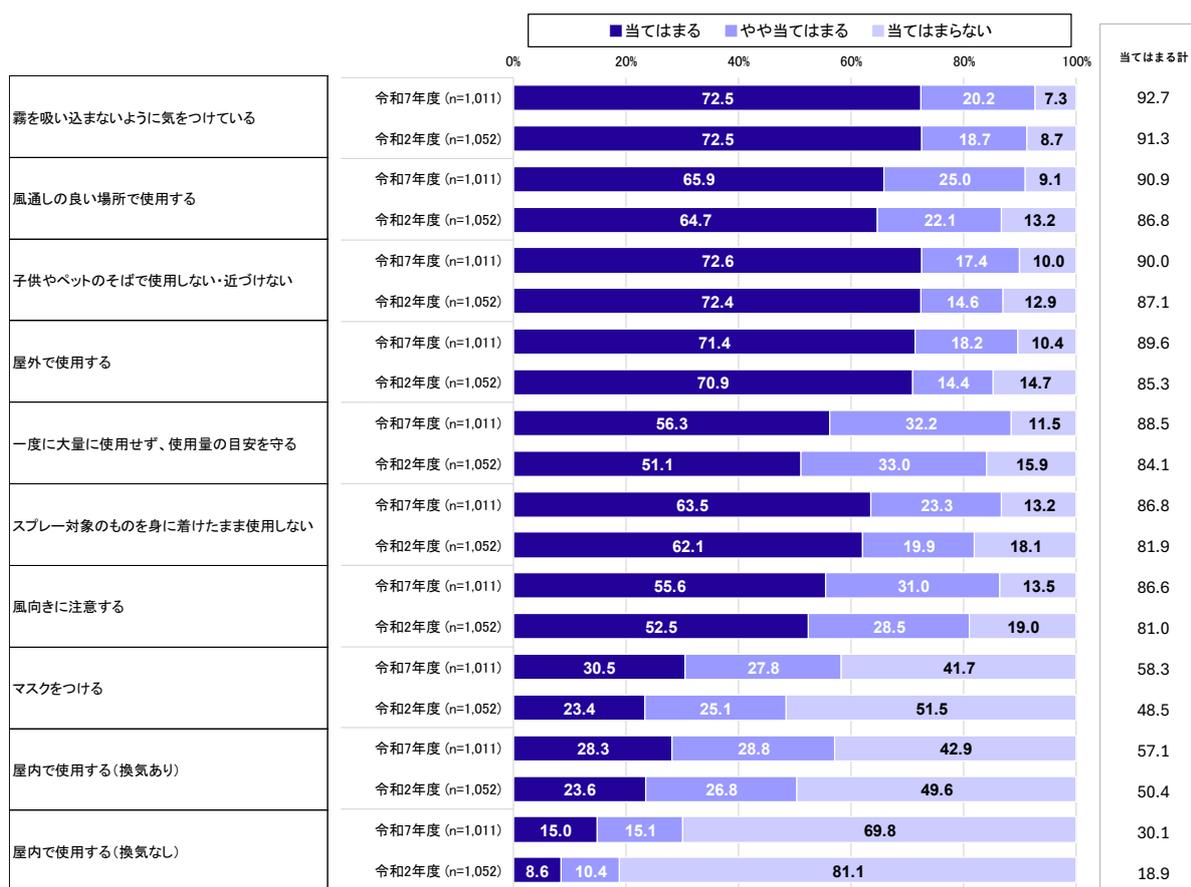


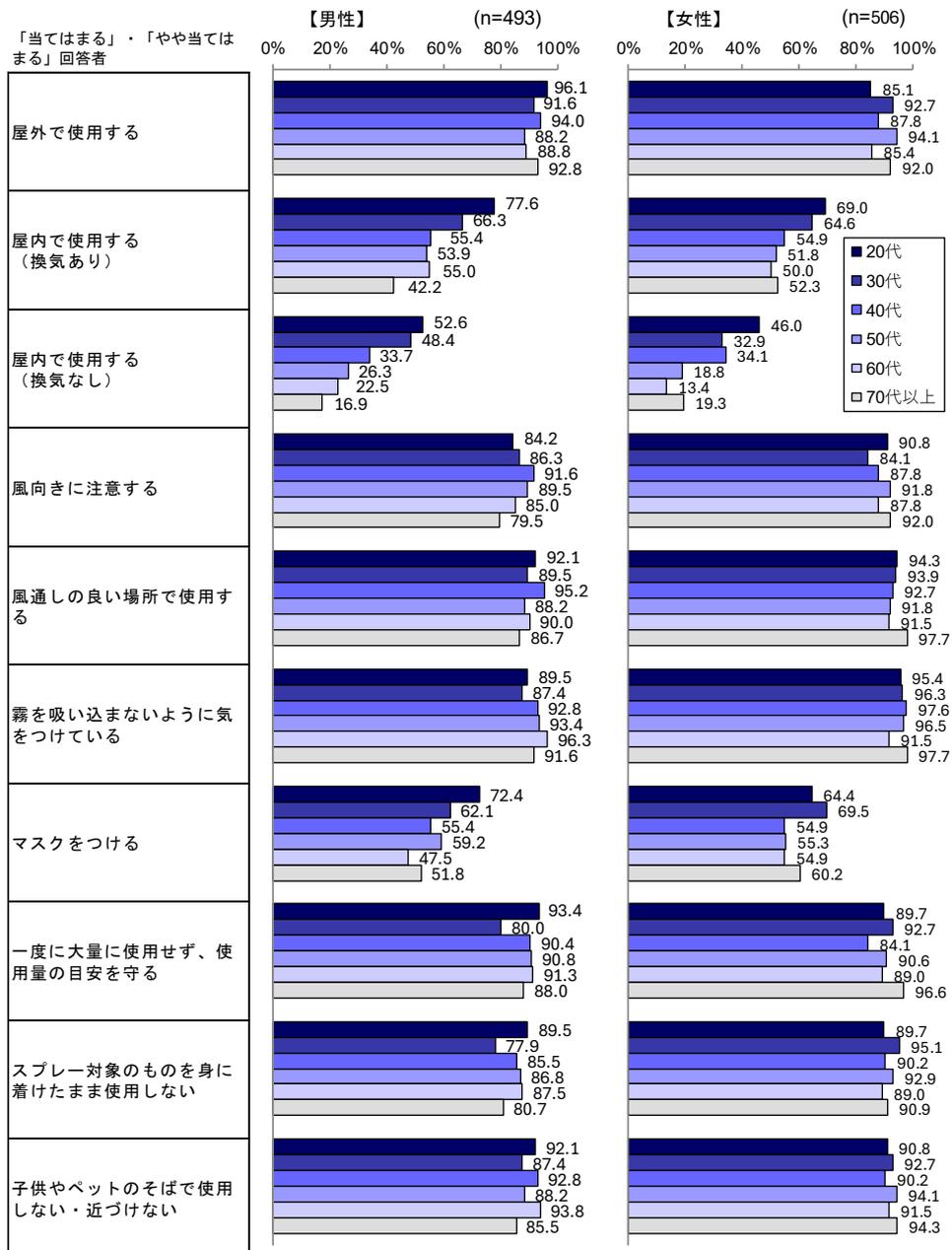
図 3-13 防水スプレーの使用方法（複数回答）Q11

防水スプレー使用方法（Q11に「当てはまる」・「やや当てはまる」と回答した者）の傾向を性別、年代別に分析した（図3-14）。

令和2年度と比較すると令和7年度では、男女・年代を問わず「屋外で使用する」「風通しの良い場所で使用する」など基本的な安全行動の実施割合は全体として高い水準を維持している。また、令和7年度では、各回答項目について女性の20代等の若年層において「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した割合が高い。「マスクをつける」については、令和7年度で若年層を中心に実施割合が上昇しており、使用時の具体的な安全対策に関する意識が高まっている様子がうかがえる。

一方、「屋内で使用する（換気なし）」は令和7年度では、女性50代を除く全ての男女・年代において割合が高くなっており、リスクの高い使用方法が残存している可能性が示唆される。

〈令和7年度〉



〈令和2年度〉

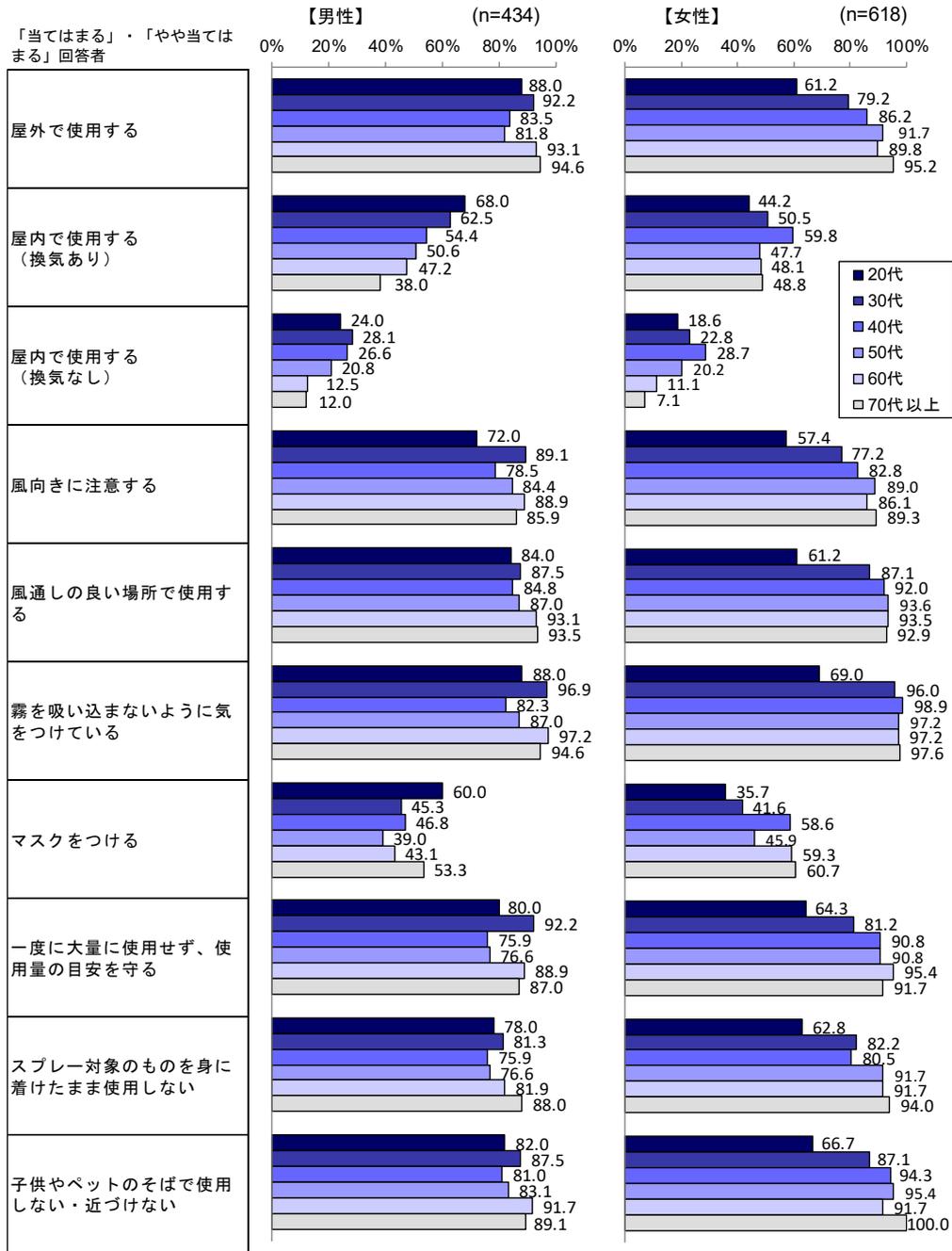


図 3-14 性別・年代別の防水スプレー使用状況 SC1×Q11

使用時の注意事項の認知状況(Q10)と実際の防水スプレー使用方法(Q11)との関係を、特に使用場所(屋外・屋内)に関して整理した(図 3-15)。傾向の比較のため、Q11で複数の使用場所に「当てはまる」とした重複回答は除外している。実際に防水スプレーを使用する際に「屋外で使用する」に「当てはまる」と回答した層では「屋内で使用する」層より認知率が高い。

令和2年度と比較すると、「屋外で使用する」層において「必ず屋外で使用する」では認知率が低下している。一方で「風通しの良い所で使用する」「風向きに注意して使用する」の認知率は上昇している。

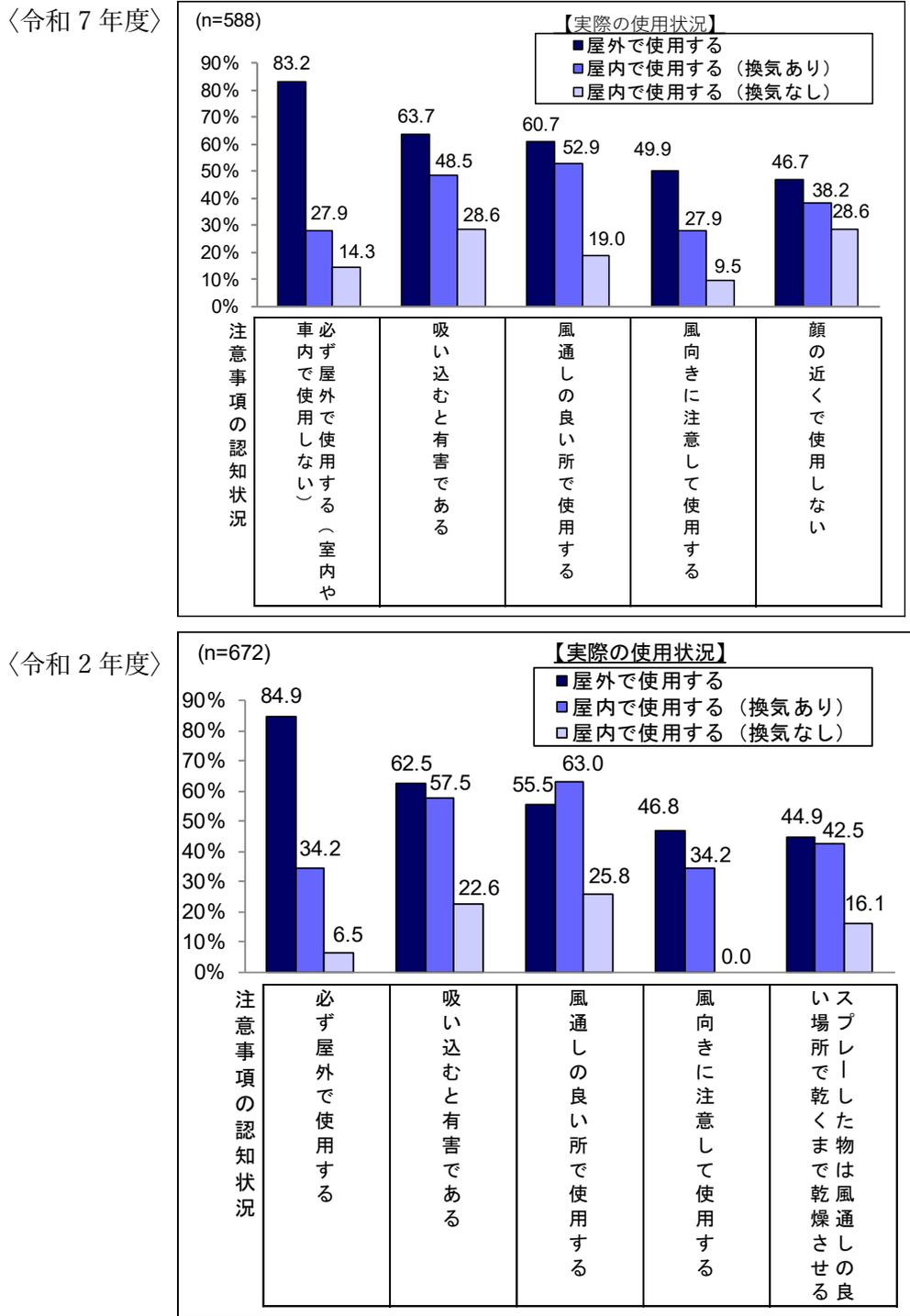


図 3-15 使用時の注意事項の認知状況と実際の防水スプレー使用状況(上位5項目) Q10×Q11

(12) 防水スプレー使用時の防水スプレーと対象物との距離（単一回答）

防水スプレー使用時における防水スプレーと対象物との距離をどのくらい離して使用しているかを尋ねたところ（図 3-16）、「10～20 センチ程度」が 51.8%（524 件）と最も多く、次いで「20～30 センチ未満程度」が 33.2%（336 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、最も多い回答はいずれの年度においても「10～20 センチ程度」であり令和 2 年度 49.8%から令和 7 年度 51.8%と、引き続き約半数がこの距離で使用している。

一方、短い距離である「10 センチ未満」は令和 2 年度 4.7%から令和 7 年度 6.2%と増加しているのに対し、より距離を離れた「20～30 センチ程度」は令和 2 年度 35.7%から令和 7 年度 33.2%、「30～50 センチ程度」は令和 2 年度 8.9%から令和 7 年度 7.2%といずれも減少しており、防水スプレーを比較的近い距離で使用する傾向がみられる。

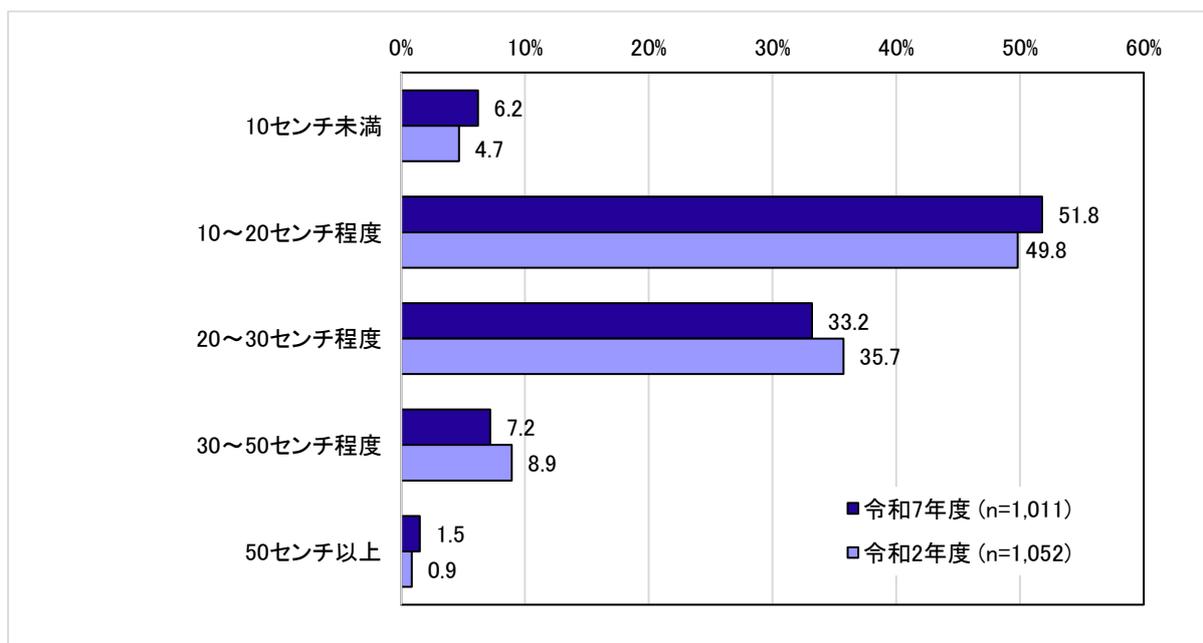


図 3-16 防水スプレー使用時の防水スプレーと対象物との距離（単一回答）Q12

(13) 防水スプレー使用時の注意表示に係る認識・意見

スプレー缶表面に記載された注意表示のわかりやすさについて尋ねたところ（図 3-17）、「とてもわかりやすい」、「ややわかりやすい」と肯定的な回答が、【表示の色】は 55.5%、【表示全体の大きさ】は 53.2%、【文字の大きさ】は 49.2%、【記載されている内容】は 58.3%と、半数程度以上であった。

一方で、「ややわかりにくい」と「わかりにくい」の合計では令和 2 年度と比較すると、【表示の色】で令和 2 年度 13.1%から令和 7 年度 7.2%と約 6 ポイント減、【表示全体の大きさ】で令和 2 年度 25.8%から令和 7 年度 11.7%と約 14 ポイント減、【文字の大きさ】で令和 2 年度 37.5%から令和 7 年度 15.8%と約 22 ポイント減、【記載されている内容】で令和 2 年度 19.2%から令和 7 年度 9.1%と約 10 ポイント減となり、缶表面の注意表示に関するわかりやすさの評価は明らかに改善されてきている。

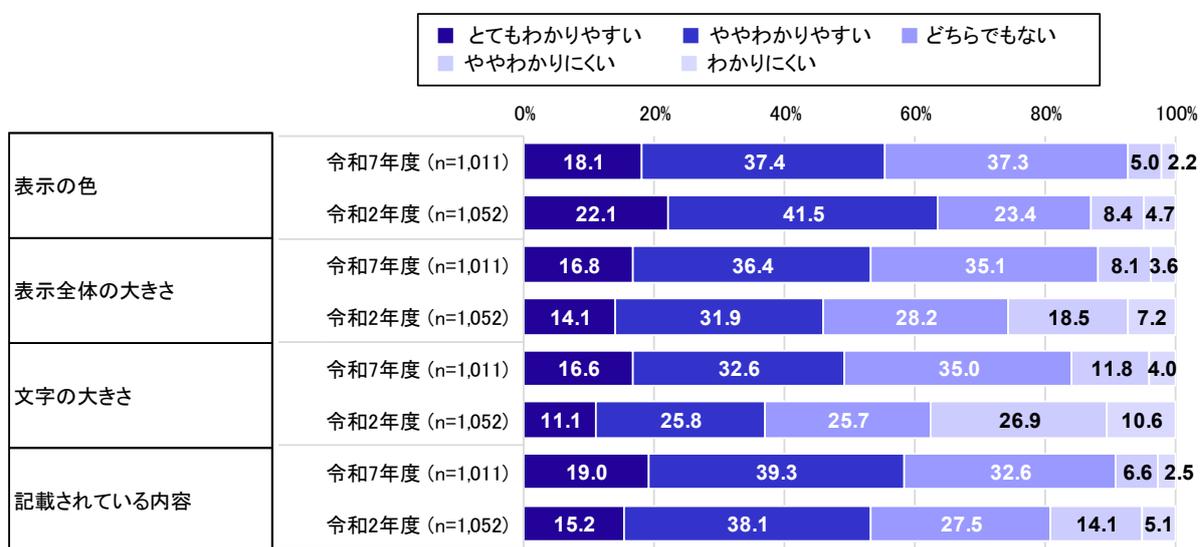
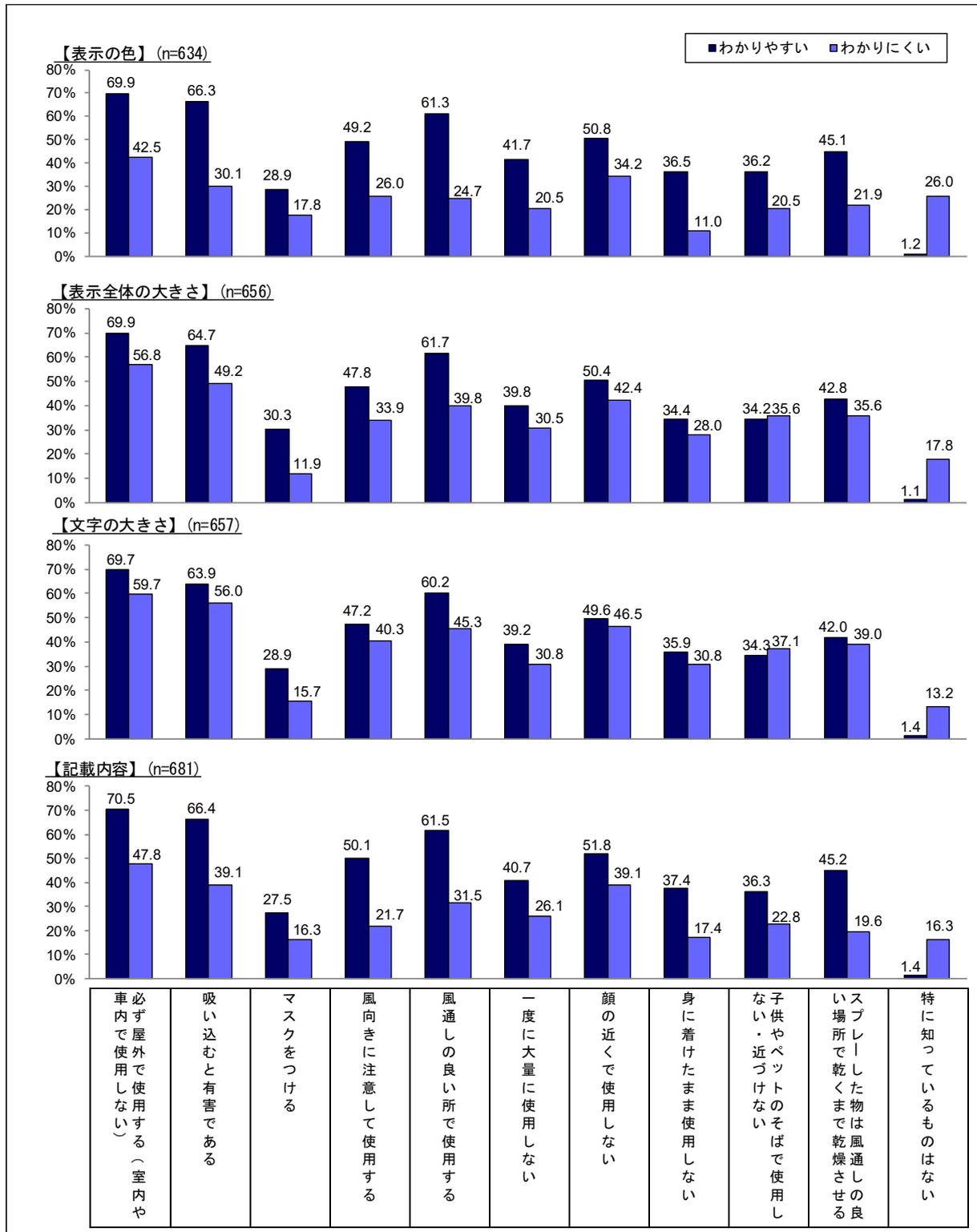


図 3-17 缶表面の注意表示に関する分かりやすさ(各項目単一回答) Q32

スプレー缶表面に記載された注意表示のわかりやすさに関する評価 (Q32) と、防水スプレー使用時の注意事項の認知状況 (Q10) との関連性を分析したところ (図 3-18)、いずれの項目においても「わかりやすい」と回答した層が、「わかりにくい」と回答した層と比較して、それぞれの注意事項に対する認知度は同等または高い傾向にある。

令和 2 年度と比較すると、「必ず屋外で使用する」、「吸い込むと有害である」、「風向きに注意して使用する」、「風通しの良い場所で使用する」、「一度に大量に使用しない」の 5 項目の注意事項について、注意表示を「わかりにくい」とした層で認知状況が大きく低下している。一方で、「マスクをつける」については、注意表示の評価が「わかりやすい」、「わかりにくい」のいずれであっても認知状況が高まっている。

〈令和7年度〉



〈令和 2 年度〉

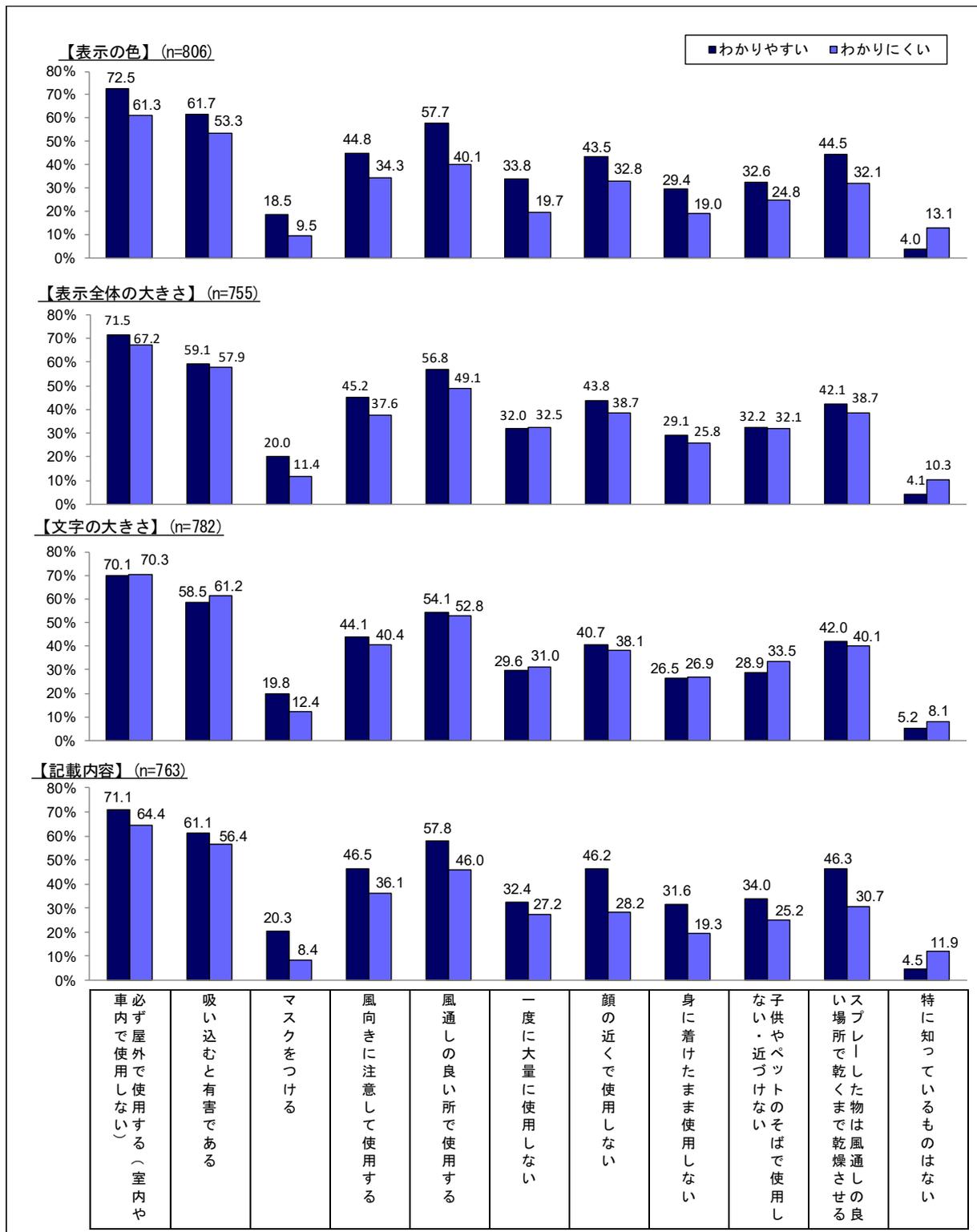


図 3-18 缶表面の注意表示の分かりやすさと使用時の注意事項の認知状況 Q32×Q10

(14) 注意表示・注意喚起方法、商品・販売方法等に関する自由回答

スプレー缶表面の注意表示を含む、安全上の注意に関する注意喚起方法や、商品・販売方法に関して、防水スプレーを安全に使用するための改善事項等について意見を求めた。

得られた回答を「注意喚起方法」「商品表示」「使用方法」「商品そのもの」「販売方法」「店頭」の6つに分類し、それぞれを内容に応じて細分類した。得られた回答内容による分類ごとの件数を集計したものを表1に示す。また、回答のうち主要なものを表2に示す。

「注意喚起方法」では注意書きの視認性をもっと上げるべきとの意見が最も多く「視認性向上」に関する意見は92件あった。次いで文字のサイズを大きくしてほしいとの「文字サイズ」に関する意見が40件あった。

表1 注意表示・注意喚起方法、商品・販売方法等に関する意見の分類数の集計結果 Q33

分類1	分類2	件数
注意喚起方法	視認性向上	92
	危険性の具体化	27
	表現方法改善	23
	メディアの活用	20
	その他	5
商品表示	文字サイズ	40
	注意事項の強調	11
	読みやすい表現・表記	9
	缶表面以外の表示	5
	イラストによる注意	4
	その他	2
使用方法	遵守行動	20
	使用場所	12
	補助的説明	6
	操作方法	4
	その他	4
商品そのもの	安全性向上	25
	品質管理	5
	機能改善	4
	使用制限	2
販売方法	口頭説明	14
	販売ルール	6
	書面配布	5
	その他	3
店頭	店頭表記（ポップなど）	13
	その他	2
その他	—	19

表 2 注意表示・注意喚起方法、商品・販売方法等に関する意見 Q33

分類	意見内容
注意喚起方法	缶の表面、手前側に大きな文字で「使用法に注意」と目につきやすい箇所に表示すべき。説明文は大抵裏側に小さな文字で書いてあるので殆ど読まれないと思う。(男性・30代)
	注意喚起の事項は、用途や使用の手順よりも上の1番目立つ位置に配置すると良いかもしれない。安全が1番大切なため、1番に目につく場所にあると良いと思うため。(男性・40代)
	安全のための注意書きをもっと目立つように表示すべきだと思った。(女性・20代)
	使用方法は大体は缶の裏面に記載されているのでパッケージをよく見ない人は色々気づかないと思うので、缶の表面に大きく注意書きを表示した方が良かったと思う。もしくは缶に大きいシールを貼る等。(女性・40代)
	使用する人は、防水さえできれば良いと思っていると思うので、注意書きをもっと大きな字で目立つように記載すべきだと思う。(女性・60代)
危険性の具体化	吸い込んでしまった人の実例ができれば絵で描いてあれば気を付けようと思う。(男性・20代)
	可燃性である事や、人体へ向けられない事をもっと目に付く喚起で表示しても良いかも知れない。(男性・40代)
	吸い込むと有害、という点は目立つように記載した方が良かったと思う。(女性・40代)
	正しく使わないと人体に影響がある注意事項は目立つように書いてほしい。(女性・50代)
表現方法改善	安全上で必ず守らなければいけないことは、大きめの字で、そして別途ペラ紙などに明記してほしい。(男性・40代)
	注意書き以外の商品の全面や包装のところにシールを貼り、注意事項を目立つように表示。(男性・50代)
	間質性肺炎は簡単になってしまうことを知らない人が多い。マスクをつけて使用する画像をイラストでも表示した方が良かった。(女性・50代)
メディアの活用	TikTok で使い方を流す。(男性・20代)
	初めて知ったので、もっとニュース等で取り上げた方が良かった。(男性・50代)
	缶表面の表示だけでなく、インターネットやテレビ CM など色々な場所で注意喚起してほしいです。(女性・30代)
	YouTube など身近なもので拡散する。(女性・40代)
商品表示	注意書きを小さなフォントで表示しないようにしてほしい。(男性・70代以上)
	年々小さい字が読みづらくなっているので大事どころだけは特に大きくしてほしい。(女性・40代)

分類		意見内容
商品表示	注意事項の強調	下地の色と文字の色の組み合わせが見えづらい、文字が小さすぎる。(男性・60代)
		缶の色と危険表記をすところの色を区別する。(女性・20代)
		黄色、赤色などの目立つ色で大きく注意書きを記載してほしい。大事なことを小さく書かれると中高年以上は老眼で見えにくい。(女性・50代)
使用方法	遵守行動	とにかく安全性を意識した使用をこころがける。(男性・60代)
		必ずマスクをして、軍手をはめて使用している。(女性・70代以上)
	使用場所	特に改善する必要はないと思うが、取り扱いの場所を子供がいないところにはすべきかなと思う。(女性・30代)

2 防水スプレー使用による事故に係る実態

防水スプレーを使用中の危害およびヒヤリハット経験について質問した。

(1) 防水スプレーの使用による吸入事故発生の認知状況（複数回答）

防水スプレーを吸い込むことで、呼吸器障害等の事故が起きていることを知っているか尋ねたところ（図3-19）、「知っている」（「覚えていない」「事故が起きていることを知らない」以外を選択）が52.3%、「事故が起きていることを知らない」が37.8%となっている。

令和2年度と比較すると、「知っている」は令和2年度43.0%から令和7年度52.3%と約9ポイント増加している。「事故が起きていることを知らない」は令和2年度46.4%から令和7年度37.8%と約9ポイント減少しており、防水スプレー使用に伴う事故に対する認知は高まっている傾向がみられる。

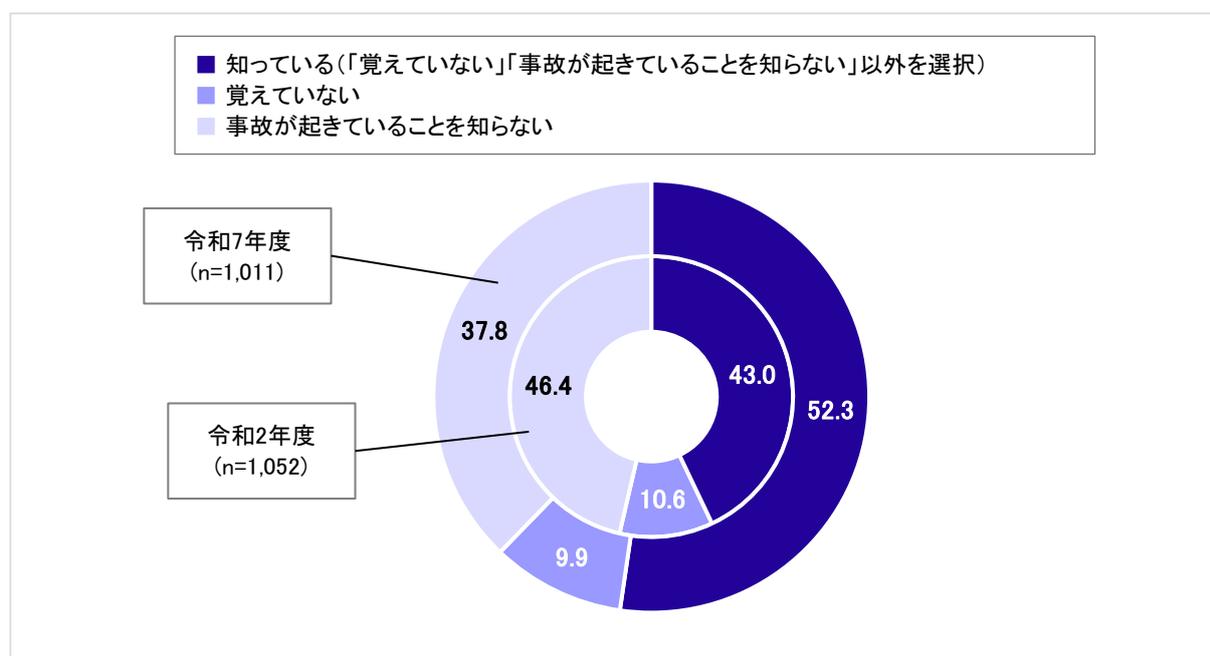


図3-19 防水スプレーの使用による吸入事故発生の認知状況(単一回答)Q13-1

事故が起きていることをどこで知ったかについて尋ねたところ（図3-20）、「スプレー缶表面の注意表示」が25.4%（257件）と最も多く、次いで「テレビ・ラジオのニュース・番組」が17.3%（175件）、「自らの体験」が10.9%（110件）となっている。

令和2年度と比較すると、「スプレー缶表面の注意表示」は、令和2年度21.3%から令和7年度25.4%、「自らの体験」は、令和2年度6.0%から令和7年度10.9%、「インターネットのニュース」は、令和2年度5.3%から令和7年度8.8%といずれも増加しており、身近な情報源を通じて事故を知った割合が高まっている。

一方、「テレビ・ラジオのニュース・番組」「新聞、雑誌」「家族・親戚・友人・知人」などは大きな変化はみられず、従来型メディアや人的ネットワークによる情報入手は概ね横ばいで推移している。

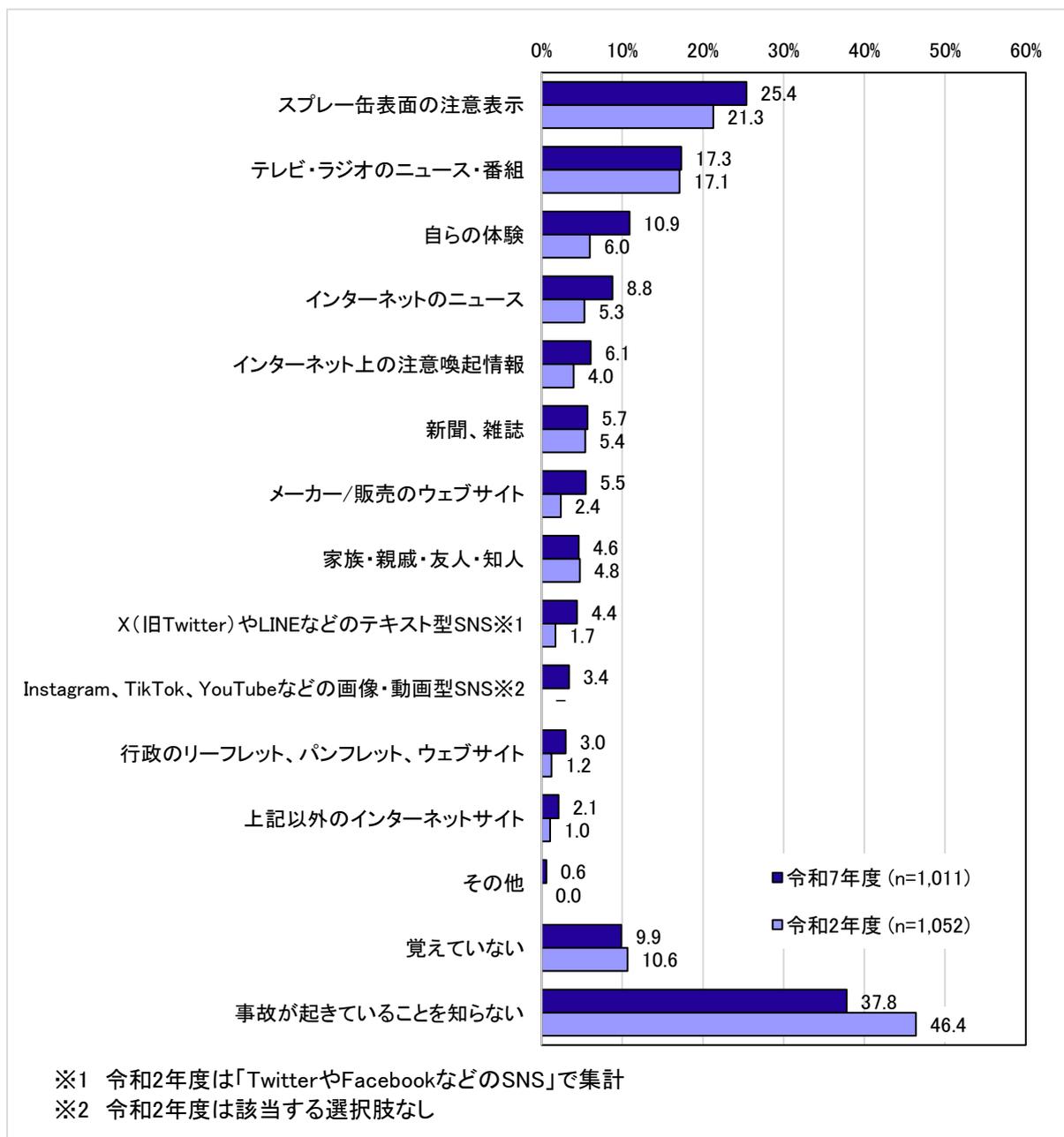


図 3-20 防水スプレー使用時の注意事項認知(複数回答)Q13-2

(2) 防水スプレー使用による「危害」「ヒヤリハット」経験の実態（単一回答）

防水スプレー使用経験者のうち、本人や周辺の人などが吸い込んだ、吸い込みそうになった経験（以下、「危害」「ヒヤリハット」経験とする）について尋ねたところ（図3-21）、「はい」（経験あり）が15.4%（156件）、「いいえ」（経験なし）が84.6%（855件）となっている。

令和2年度と比較すると、「はい」と回答した割合は、令和2年度12.7%から令和7年度15.4%と約3ポイント増加しており、防水スプレー使用時の吸い込みリスクを身近に感じた人がやや増えている。一方で、「いいえ」は令和2年度（87.3%）よりわずかに減少したものの、依然として8割超を占めており、多くの人は吸い込みに関するトラブルを経験していないことが分かる。

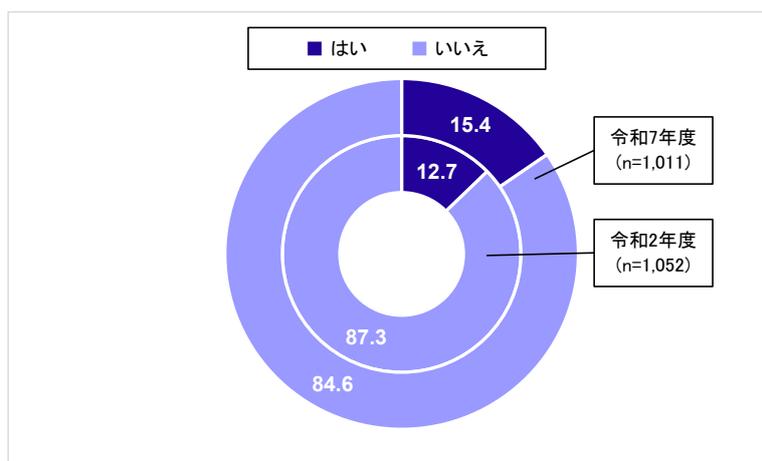


図 3-21 防水スプレー使用による「危害」「ヒヤリハット」経験（単一回答）Q14

「危害」「ヒヤリハット」経験の割合について性別に見ると（図3-22）、男女差はほとんどみられない。令和2年度と比較すると、女性の経験者が令和2年度11.8%から令和7年度15.1%と約3ポイント増加している。

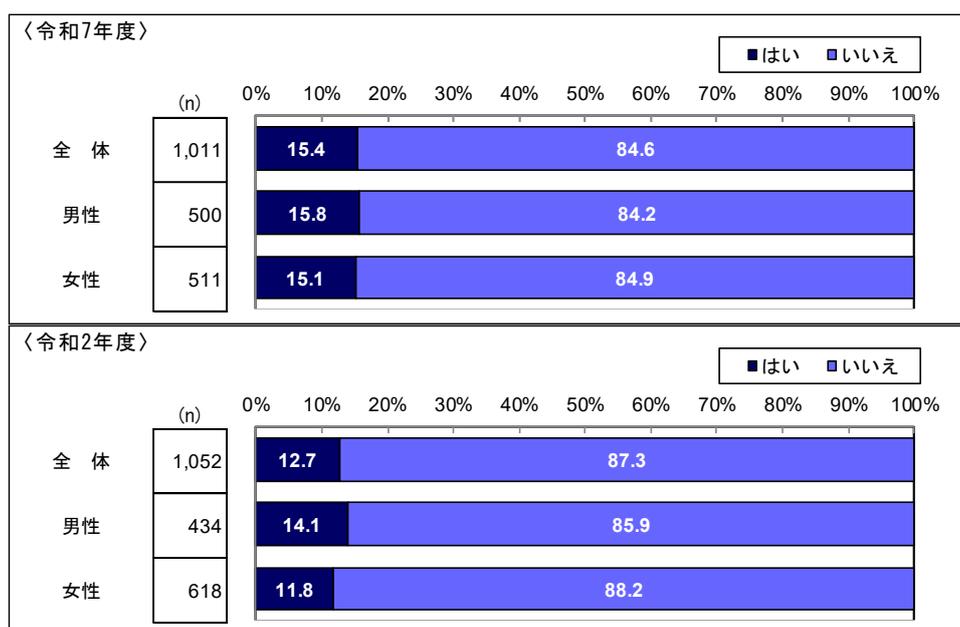


図 3-22 性別の防水スプレー使用による「危害」「ヒヤリハット」経験（単一回答）Q14

また、年代別に見ると（図3-23）、「20代」「30代」の「危害」「ヒヤリハット」経験の割合が2割を超え高くなっている。

令和2年度と比較すると、より年代による「危害」「ヒヤリハット」経験率の差が明確になり、若年層で高く、高年齢層では低くなっている。

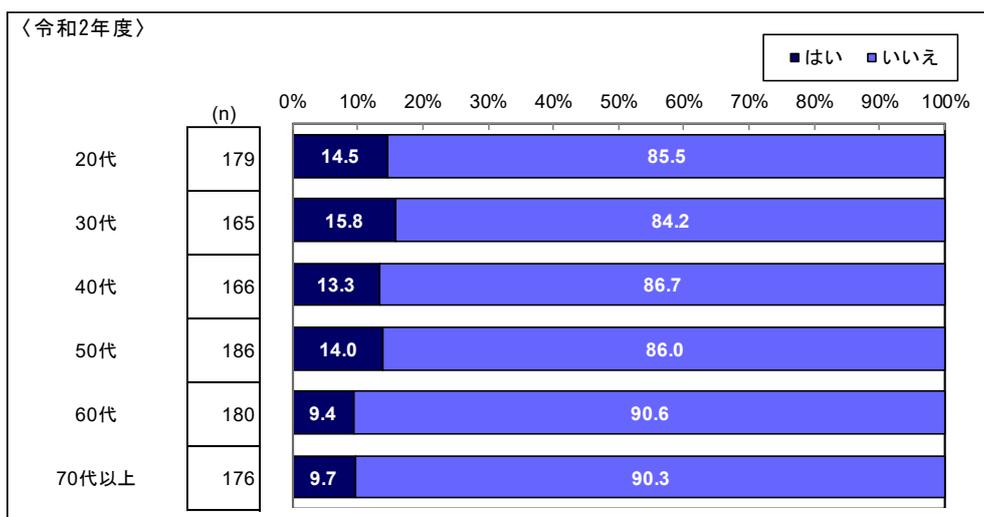
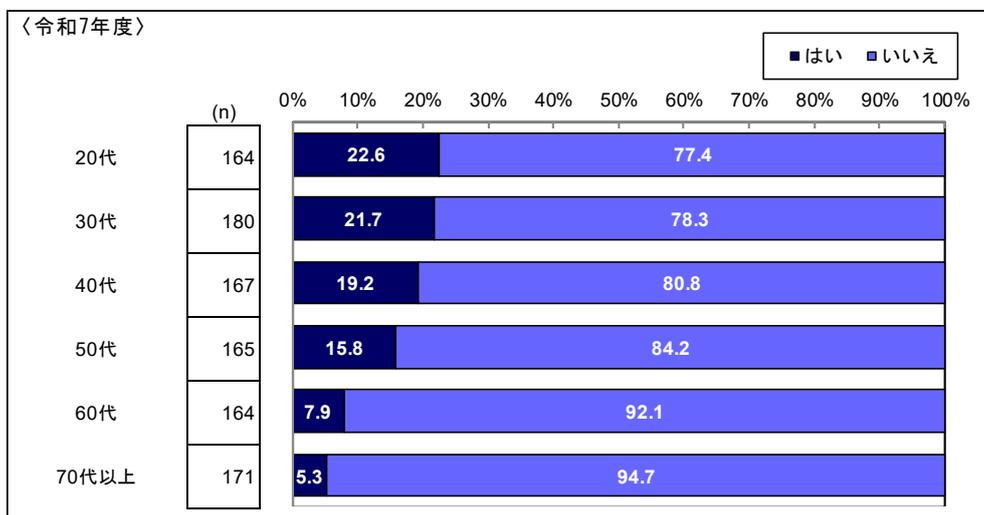


図3-23 年代別の防水スプレー使用による「危害」「ヒヤリハット」経験(単一回答)Q14

(3) 「危害」「ヒヤリハット」経験の時期（単一回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験者に対し、経験した時期を尋ねたところ（図 3-24）、「1年～2年未満」が30.8%（48件）と最も多く、次いで「1年以内」が21.2%（33件）となっている。

令和2年度と比較すると、「1年～2年以内」は令和2年度21.6%から令和7年度30.8%と9ポイント増、「2年～3年以内」も令和2年度13.4%から令和7年度17.3%と増加している。直近1～3年内の経験者が多くなっている。

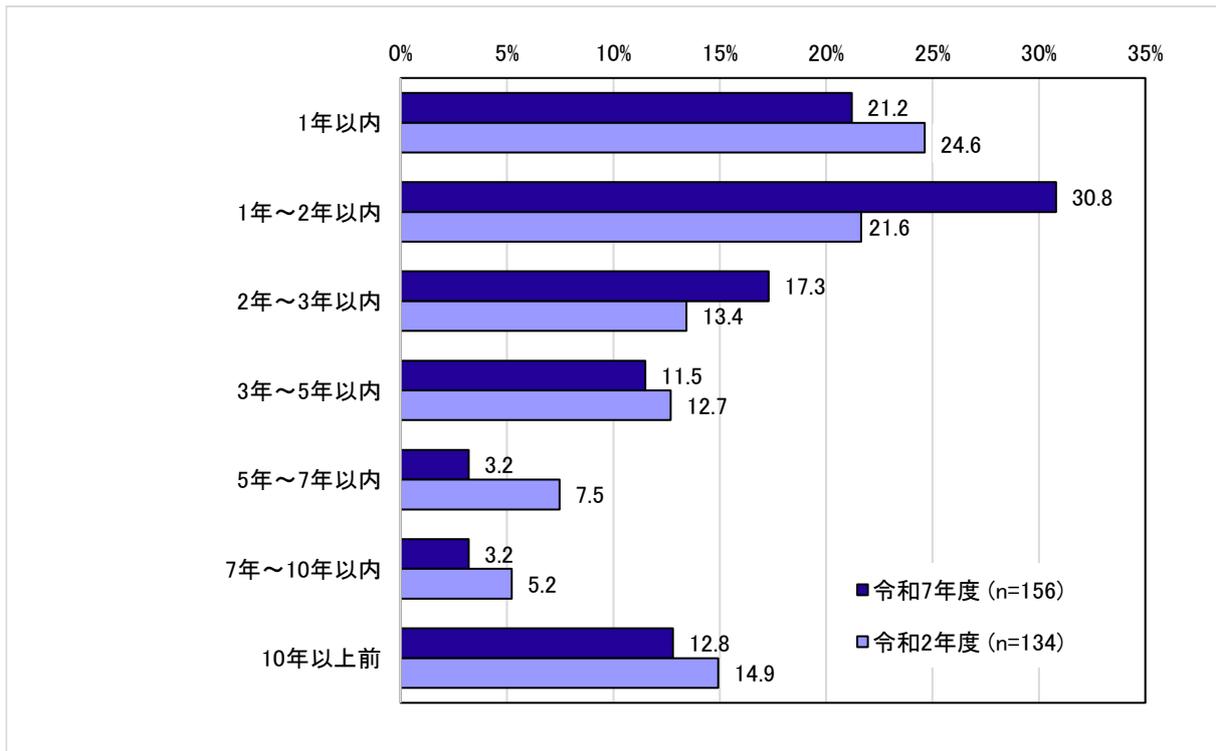


図 3-24 「危害」「ヒヤリハット」経験の時期（単一回答）Q15

(4) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の使用場所（単一回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験者に対し、経験した場所について尋ねたところ（図 3-25）、「屋外（風あり）」が 34.6%（54 件）と最も多く、次いで「玄関（室内）」が 31.4%（49 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、吸い込んだ・吸い込みそうになった経験をした場所として最も多い「屋外（風あり）」は令和 2 年度 22.4%から令和 7 年度 34.6%と約 12 ポイント増加しており、屋外であっても風向きなどの条件によってリスクが生じている可能性が高い。また、「玄関（室内）」も令和 2 年度 35.1%から令和 7 年度 31.4%と減少したが、引き続き 3 割を超えている。

「屋外（風なし）」（令和 2 年度 14.2%・令和 7 年度 11.5%）、「屋内（玄関・浴室・トイレを除く）」（令和 2 年度 8.2%・令和 7 年度 7.1%）、「ベランダ・バルコニー」（令和 2 年度 8.2%・令和 7 年度 5.8%）は令和 7 年度の方が低くなっており、特定の場所では「危害」「ヒヤリハット」経験が相対的に減少している。

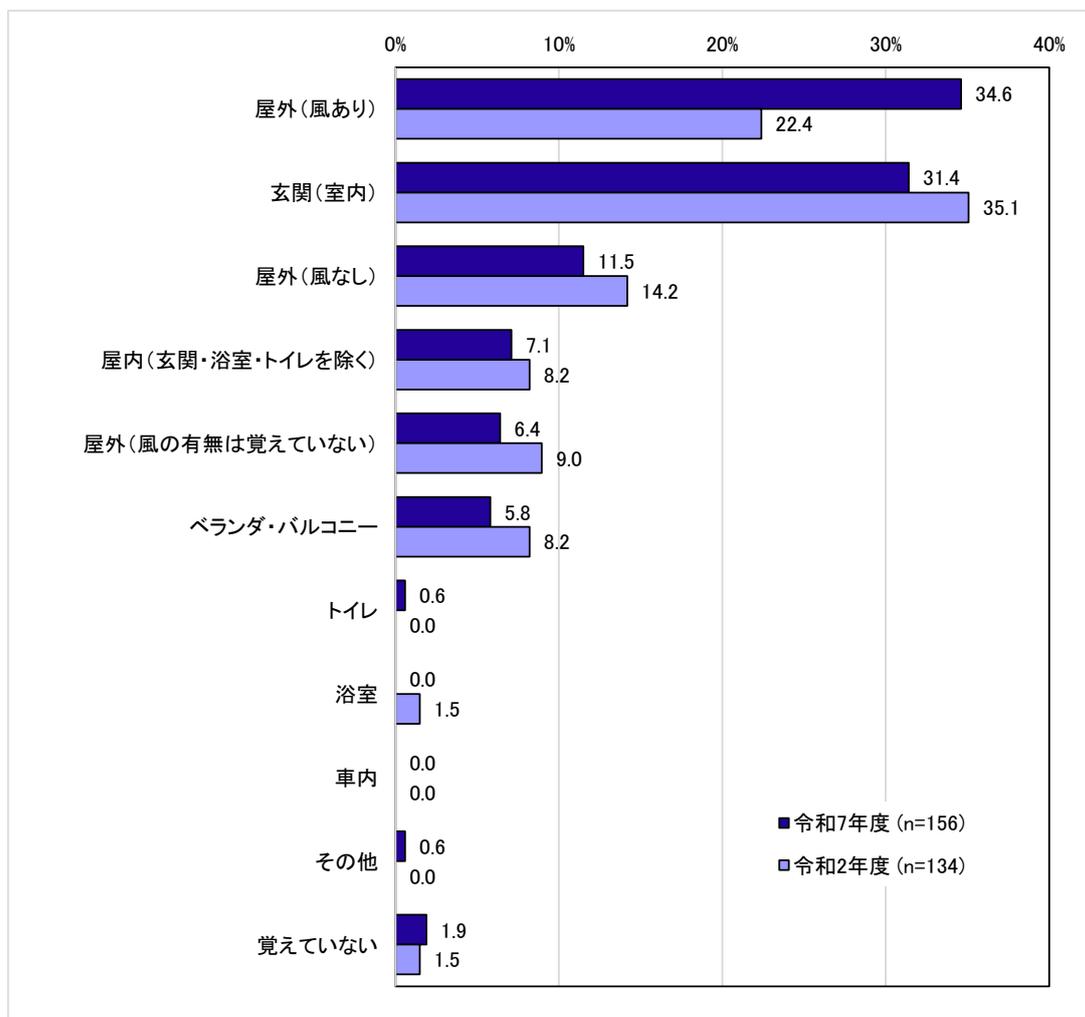


図 3-25 「危害」「ヒヤリハット」経験時期(複数回答)Q16

(5) 「危害」「ヒヤリハット」経験時に使用した防水スプレーの種類（各項目単一回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験時に使用していた防水スプレーの種類について尋ねたところ（図3-26）、「靴用（布・革製兼用）」が66.0%（103件）と最も多く、次いで「靴用（革製のみ）」が62.1%（97件）となっている。

令和2年度と比較すると、使用対象として最も多い「靴用（布・革製兼用）」は、令和2年度49.3%から令和7年度66.0%と約17ポイント増加、「靴用（革製のみ）」も令和2年度51.5%から令和7年度62.1%と約11ポイント伸びており、防水スプレーの利用が靴全般でより広がっている傾向がみられる。

「傘用」は令和2年度37.3%から令和7年度51.3%と増加しており、防水・撥水効果を持たせるための使用が増えている可能性が推定される。

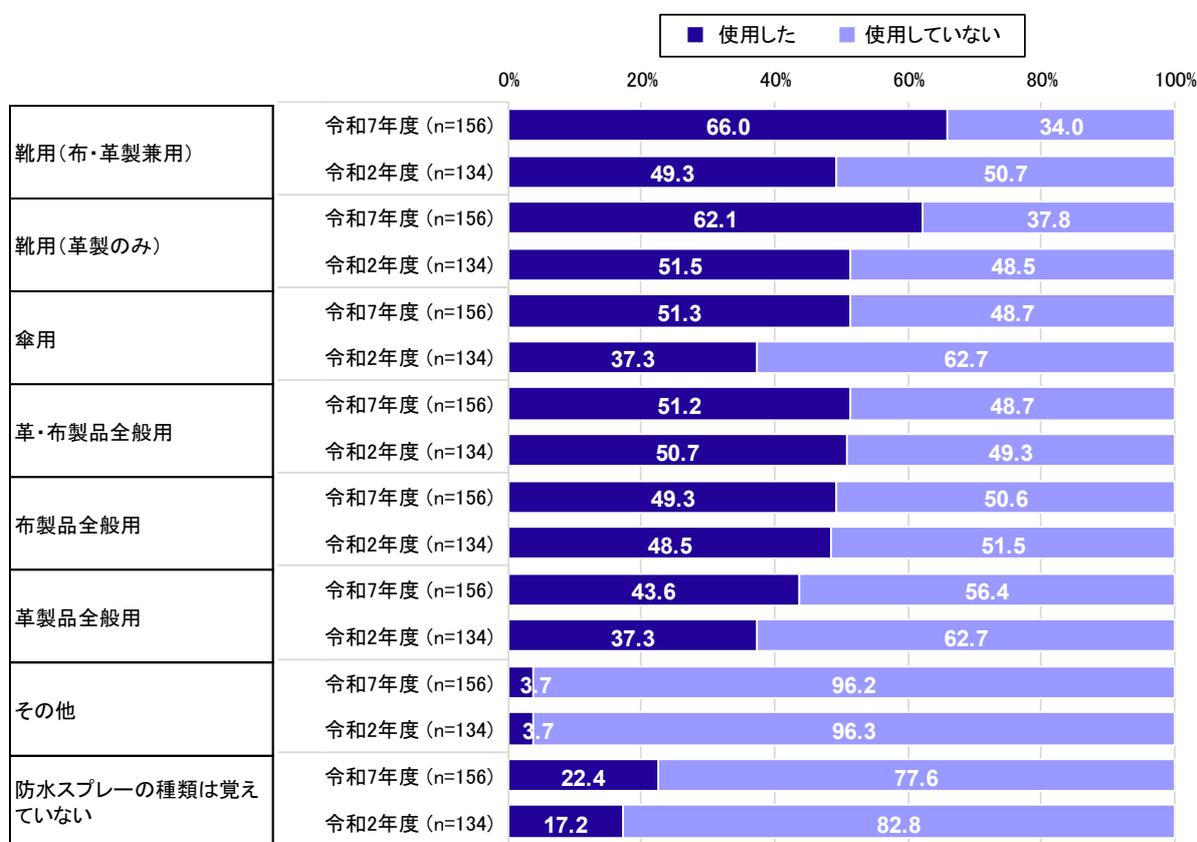


図 3-26「危害」「ヒヤリハット」経験時に使用した防水スプレーの種類（各項目単一回答）Q17

(6) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の対象物（各項目単一回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験時に防水スプレーを使用した対象物について尋ねたところ（図3-27）、「靴（布製）」が74.4%（116件）と最も多く、次いで「靴（革製）」が64.7%（101件）となっている。

令和2年度と比較すると、防水スプレーを使用した対象物として最も多い「靴（布製）」は令和2年度54.5%から令和7年度74.4%と大きく増加しており、日常的な雨対策用品としての利用がより広がっている可能性が高い。また、「傘」も令和2年度50.0%から令和7年度63.5%と増加しており、引き続き高い割合を占めている。

一方で、「テントなど衣類以外のアウトドア製品」は令和2年度6.0%から令和7年度1.3%と減少しており、アウトドア用途での使用は相対的に低下している。「その他（ソファ、クッション等）」は令和2年度17.9%から令和7年度37.8%と増加しており、家庭用品などへの使用が増えている。

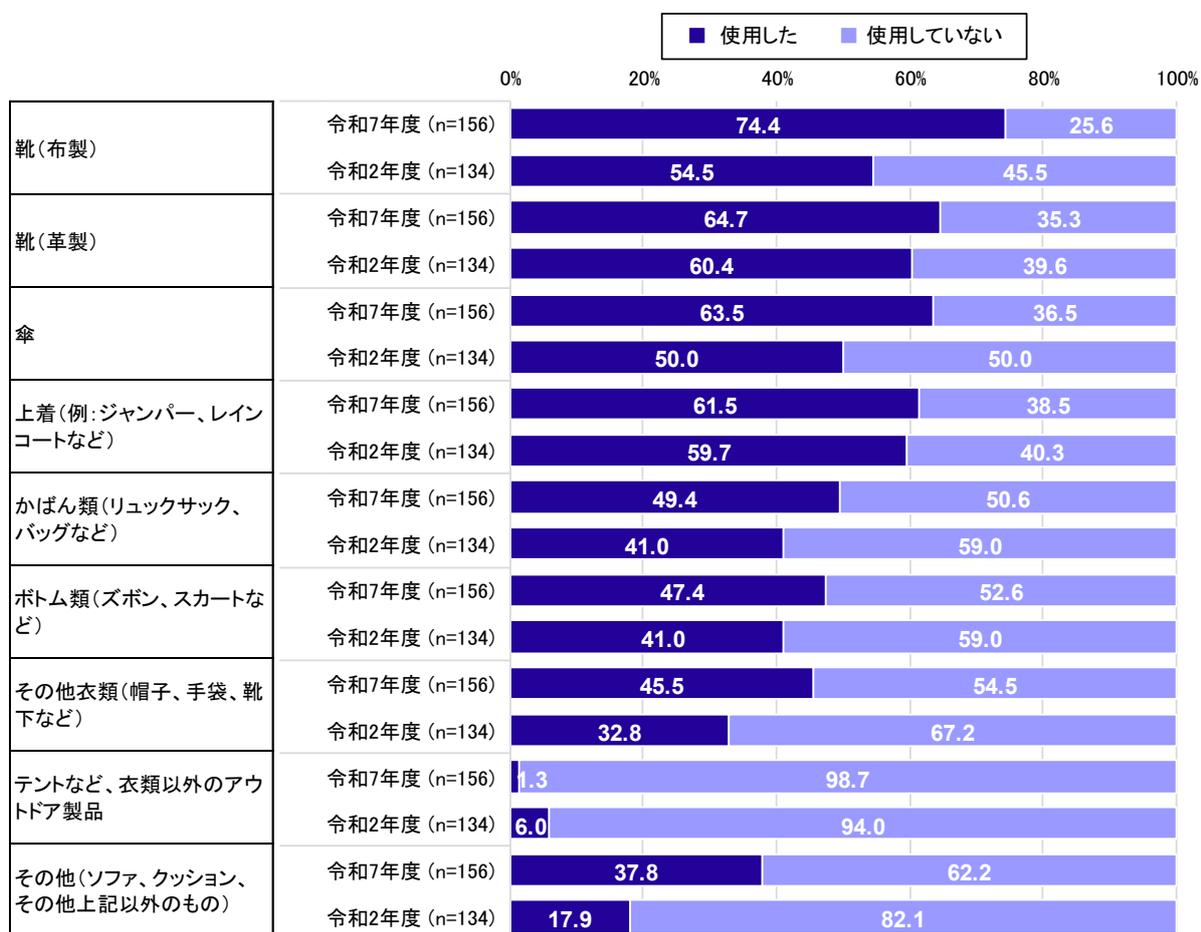


図 3-27 「危害」「ヒヤリハット」経験時の対象物（各項目単一回答）Q18

(7) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の使用状況（複数回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験時にどのような状態で使用していたかについて尋ねたところ（図 3-28）、「霧を吸い込まないように気を付けていた」が 49.4%（77 件）と最も多く、次いで「風通しの良い場所で使用していた」が 41.0%（64 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「霧を吸い込まないように気を付けていた」は、令和 2 年度 50.0% から大きな変化はなく、引き続き半数程度を占めている。また、「風通しの良い場所で使用していた」は令和 2 年度 32.8% から令和 7 年度 41.0% と約 8 ポイント増加しており、換気を意識した行動が強まっている可能性が高い。

「マスクをつけていた」は令和 2 年度 13.4% から令和 7 年度 23.1% と約 10 ポイント増加しており、安全対策としてのマスク着用が広がっている。一方、「換気扇をつけていた」は令和 2 年度 11.2% から令和 7 年度 9.6% と低下している。

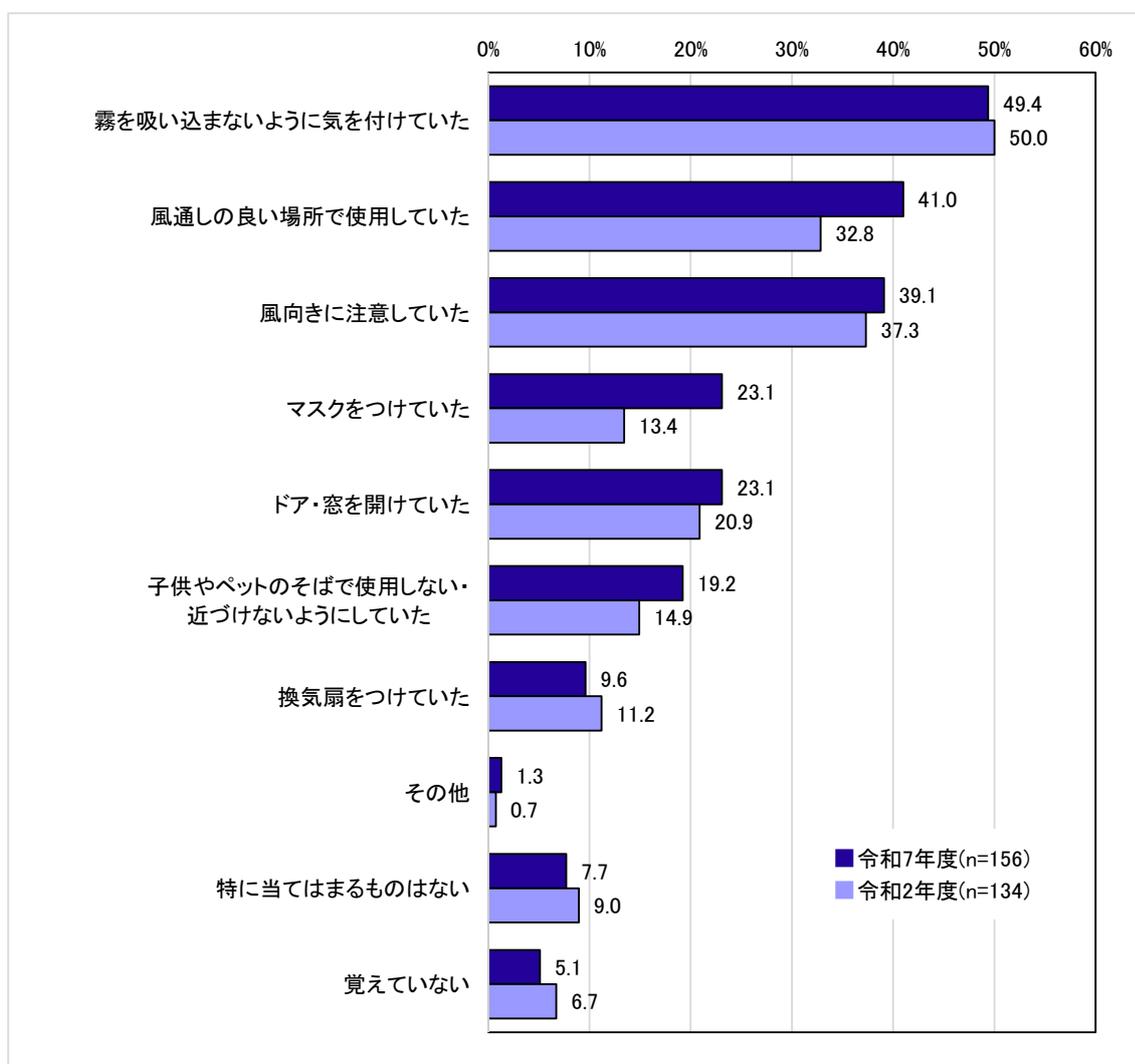


図 3-28 「危害」「ヒヤリハット」経験時の使用状況（複数回答）Q19

(8) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の防水スプレーと対象物との距離（単一回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験時に対象物との間をどのくらい離して使用したかについて尋ねたところ（図 3-29）、「10～20 センチ程度」が 59.6%（93 件）と最も多く、次いで「20～30 センチ未満程度」が 23.7%（37 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「10～20 センチ程度」は、令和 2 年度 47.0%から令和 7 年度 59.6%と約 13 ポイント増加しており、事故時において比較的近距离で使用したケースが増えている。また、「20～30 センチ程度」は令和 2 年度 32.8%から令和 7 年度 23.7%と約 9 ポイント減少しており、中距離での使用は相対的に低下している。

一方、「10 センチ未満」や「50 センチ以上」はいずれも小幅な変化にとどまっており、少数ではあるものの大きな傾向変化はみられない。

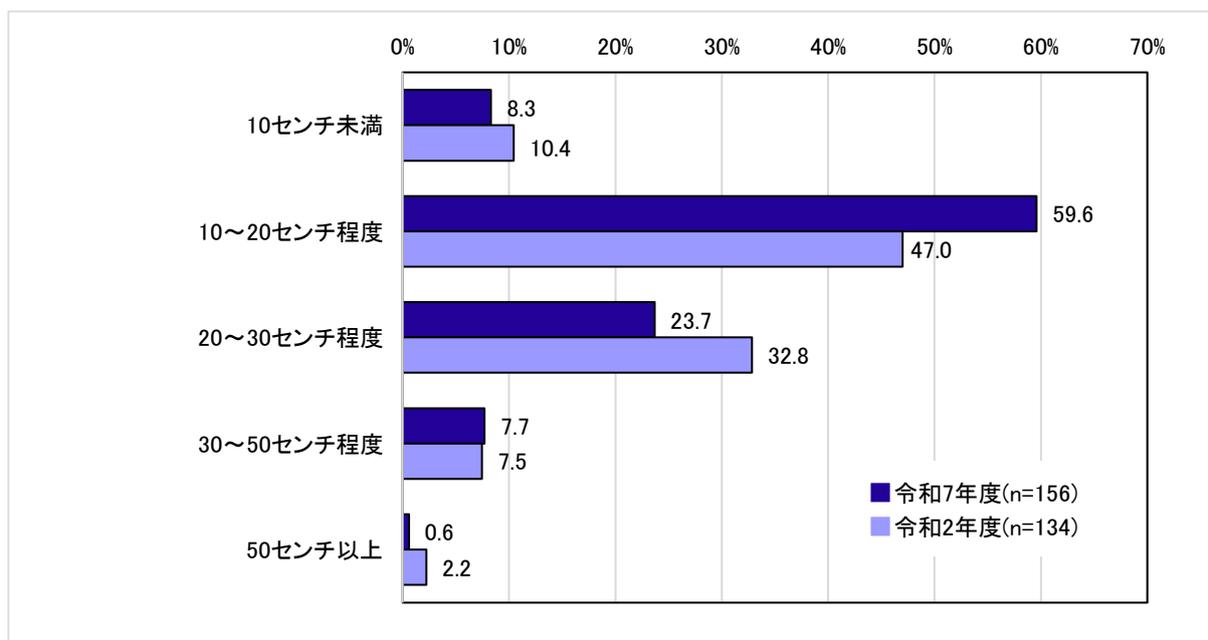


図 3-29「危害」「ヒヤリハット」経験時の防水スプレーと対象物との距離（単一回答）Q20

(9) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の直接要因の認識（複数回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験において直接的な原因は何であると思うか尋ねたところ（図 3-30）、「室内で使用した」が34.0%（53件）と最も多く、次いで「換気が不十分だった」と「風下にいた（エアコン等の人工的な風も含む）」が30.8%（48件）となっている。

令和2年度と比較すると、直接的な原因として最も多い「室内で使用した」は、令和2年度と同等で、「危害」「ヒヤリハット」経験の主要因となっている。また、「換気が不十分だった」は令和2年度32.1%から令和7年度30.8%とわずかに減少しているものの、依然として3割を超え、大きな要因といえる。

「風下にいた」は令和2年度24.6%から令和7年度30.8%と約6ポイント増加、「一度に大量に使用した」は令和2年度14.9%から令和7年度19.9%と5ポイント増加しており、利用時の注意が十分でないケースの増加がみられる。

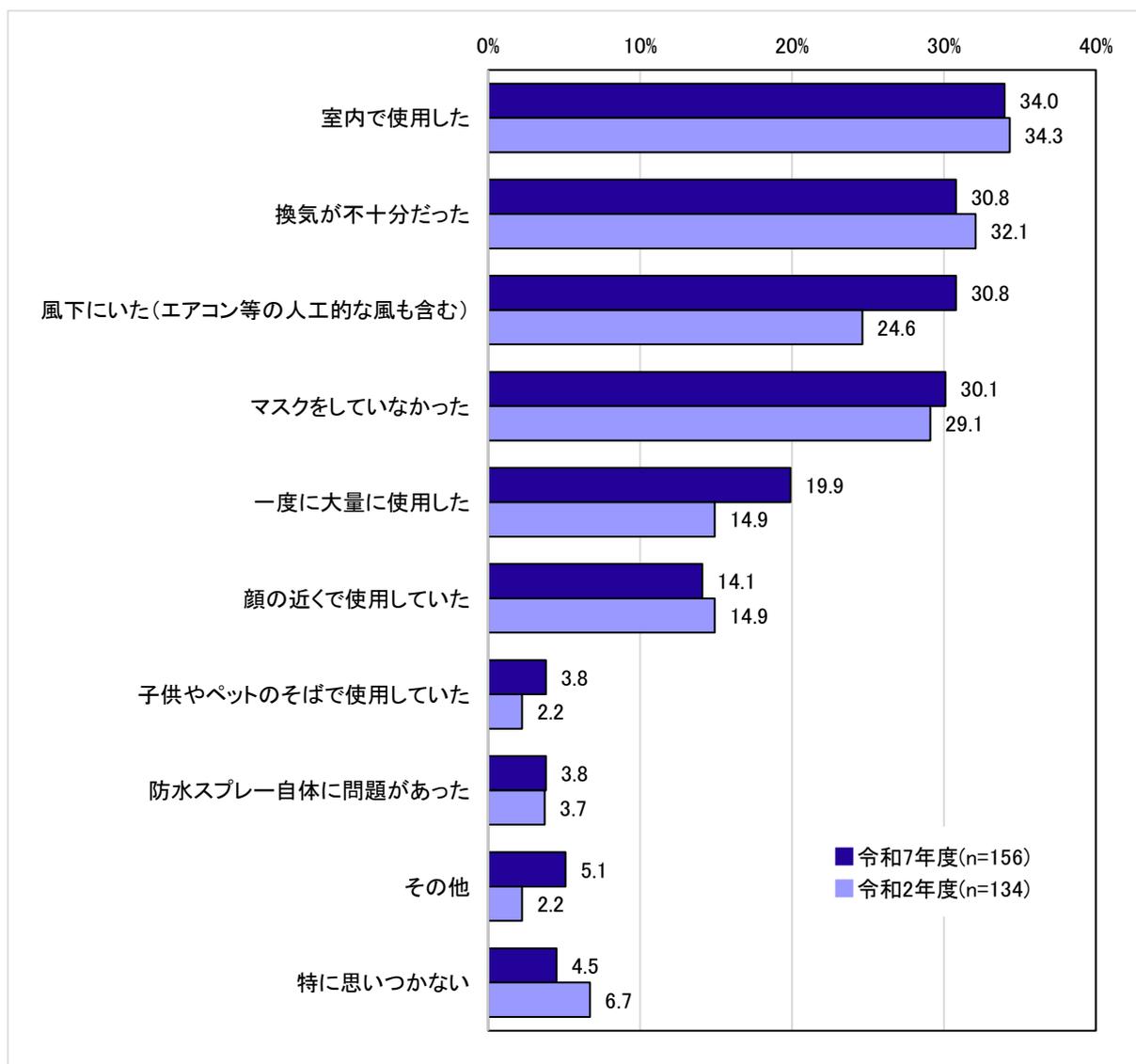


図 3-30 「危害」「ヒヤリハット」経験時の直接要因の認識（複数回答）Q21

(10) 「危害」「ヒヤリハット」経験時の防水スプレー使用者（複数回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験時の防水スプレー使用者について尋ねたところ（図 3-31）、「回答者自身」が 88.5%（138 件）と最も多く、次いで「同居者（家族）」が 17.3%（27 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、吸い込んだ・吸い込みそうになった経験の多くが本人の使用時に発生している状況は変わらない。また、「同居者（家族）」は令和 2 年度 16.4%から令和 7 年度 17.3%と微増しており、家族による使用が背景となるケースも一定程度みられる。

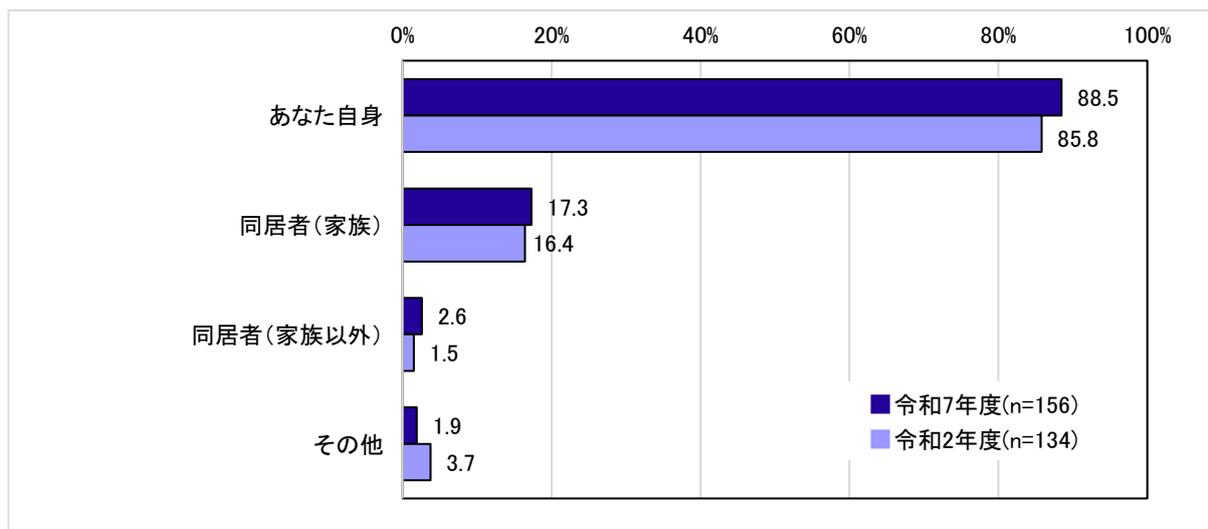


図 3-31 「危害」「ヒヤリハット」経験時の防水スプレー使用者（複数回答）Q22

(11) 「危害」「ヒヤリハット」経験時に周囲にいた者（複数回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験時に使用者の周囲にいた者について尋ねたところ（図 3-32）、「誰もいない」が 63.5%（99 件）と最も多く、次いで「大人」が 24.4%（38 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「大人」は令和 2 年度 28.4%から令和 7 年度 24.4%と減少しており、成人が近くにいた使用場面はやや減っている。一方で、「子供」は令和 2 年度 2.2%から令和 7 年度 4.5%、「ペット」は令和 2 年度 1.5%から令和 7 年度 5.1%へ増加しており、より配慮が必要な同伴者が近くにいたケースが増えている可能性が示唆される。

また、「誰もいない」は令和 2 年度 66.4%から令和 7 年度 63.5%とやや減少したものの、6 割以上の事例が周囲に人やペットがいない状態で発生している。

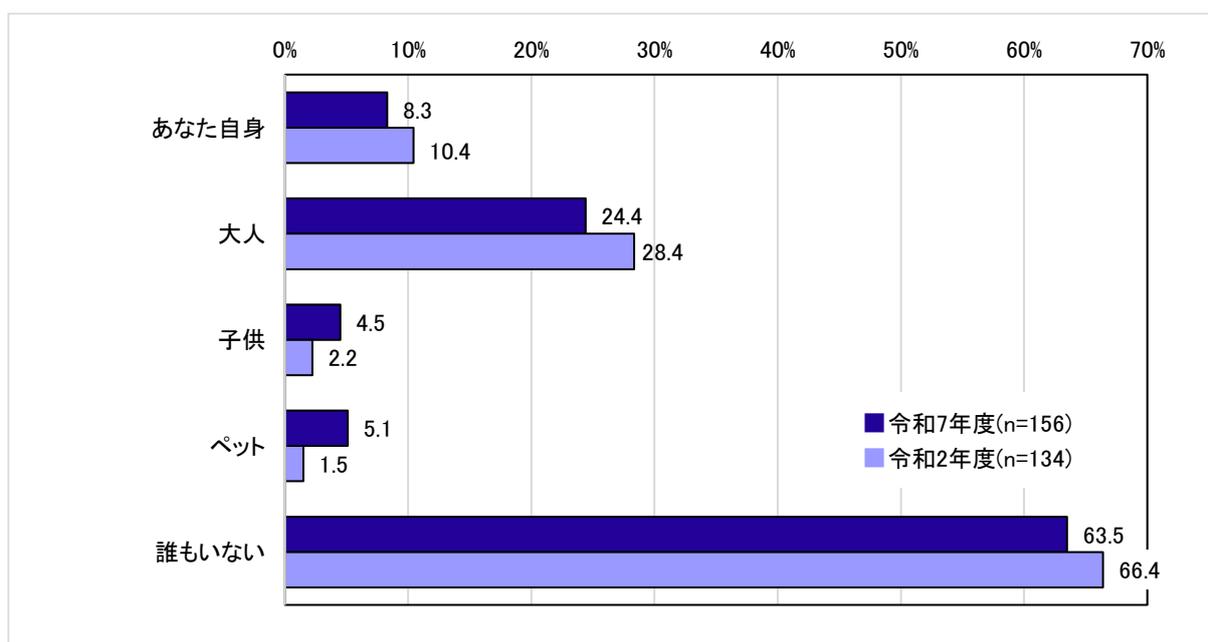


図 3-32 「危害」「ヒヤリハット」経験時に周囲にいた者（複数回答）Q23

(12) 「危害」「ヒヤリハット」経験時に体調が悪くなった者（複数回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験時に体調が悪くなった者がいたかどうかについて尋ねたところ（図 3-33）、「体調が悪くなった人はいない」が 57.1%（89 件）と最も多く、次いで「回答者自身」が 41.0%（64 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「回答者自身」は令和 2 年度も 41.0%と変化はなく、吸い込んだ・吸い込みそうになった経験による影響が主に本人に生じている状況は変わらない。また、「大人」「子供」「ペット」はいずれも令和 7 年度の方がわずかに増加しているものの、割合としては小さい。

「体調が悪くなった人はいない」は令和 2 年度 56.7%から令和 7 年度 57.1%とほぼ横ばいで、半数以上のケースで健康被害は発生していない。

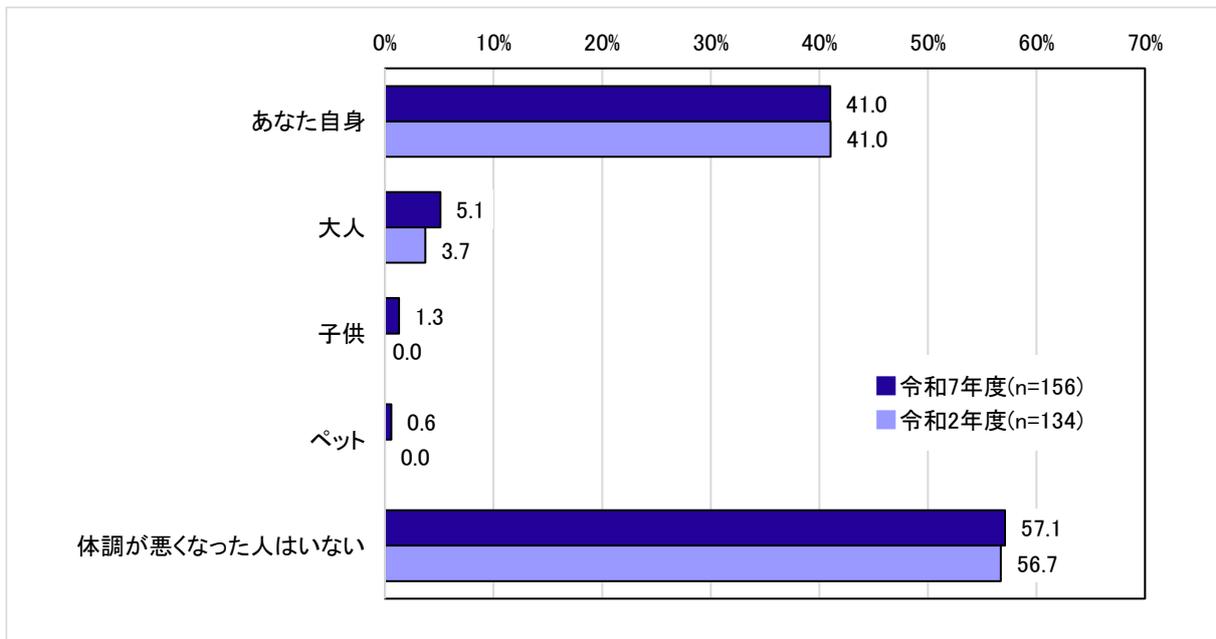


図 3-33 「危害」「ヒヤリハット」経験時に体調が悪くなった者（複数回答）Q24

(13) 「危害」「ヒヤリハット」経験の詳細

防水スプレー利用時の「危害」「ヒヤリハット」経験の状況の詳細について、得られた回答内容に応じて「発生場所」「発生状況」「症状」「使用対象物」の分類を付し、さらにそれぞれの内容に応じて細分類を行った。

得られた回答のうち、主なケースを自由記述形式で尋ねた。その代表的な回答を抜粋したものを表3に示す。また、回答の内容によって分類し、集計したものを表4に示す。

発生場所・状況では、風・風向きの変化や狭い・密閉された空間が重なることで、「吸い込む」「吸い込みそうになる」事例が多く発生していることがうかがえる。

症状は「咳」「息苦しい」「気持ちが悪い」といった呼吸器・体調不良の初期症状が中心で、重篤化は少ないものの、使用直後に違和感を覚えるケースが確認できる。

使用対象物では靴や雨具、衣類といった身近な日用品が中心で、日常的・習慣的な使用場面の中で、使用距離や噴射量、周囲環境への注意不足が「危害」「ヒヤリハット」につながっている実態が具体的な自由回答からも裏付けられる。

表3 「危害」「ヒヤリハット」経験の詳細 Q29

分類		回答内容
発生場所	屋外	登山仲間と登山準備のため、登山道まで車で行き、車から降りたところで準備をしていた。友人が登山用のアウターや靴に防水スプレーを使用したところ、風下にいた自分に少しかかった。(男性・30代)
		出勤前。自宅のドア付近。あまり注意せずにふきかけたので匂いを感じこれは身体に悪そうと思った。少量のためそのままとしたが、何か不快な感じがした。(男性・50代)
		朝、仕事に行く前に外で靴用の防水スプレーを使用したところ、風向きが悪く誤ってスプレーの臭いを吸い込んでしまい、身体に異変を感じたので仕事を休み、病院に行って診察してもらった。症状は頭痛、目眩、呼吸困難。(女性・20代)
		玄関ドアを開けてすぐのところで、数プッシュ使用した。風があったため大丈夫かと思っていたが、立つ位置を間違えて、ほんの少しだけ吸ってしまう形になってしまった。その後、病院に行くまでではないが、喉に少々違和感があったのと、鼻の中に防水スプレーの臭いが残っている感じがあった。(女性・30代)
	外で新品の雨用の靴に防水スプレーをかけていた。風上だから大丈夫だと思っていたら風向きが変わり鼻から吸い込んでしまう。有機溶剤の匂いが苦しくてしばらく休憩してから作業を続けた。(女性・60代)	
玄関	玄関で靴に防水スプレーをするときに、スプレーが跳ね返ってくるような形になり顔にかかってしまった。気分が悪い時間が続いたので病院に向かった。(男性・20代)	
	玄関内で、ドアは閉めた状態。一人でスニーカーにスプレーしていた。雨予報が出ていたので、いつもより念入りにスプレーしてしまった。むせて、少	

		し気持ち悪い感じにはなったが、1時間ほどで回復したので、病院には行かなかった。(男性・40代)
		昼間に玄関で少しだけドアを開けて使用したがドアから風が入ってきたので自分にスプレーが来てしまった。匂いがして少し咳き込んだが体調には影響がない。(女性・20代)
	屋内	夜室内で普通の防水スプレーを使った。換気していたが空気の流れが悪く吸い込んで苦しかった。(男性・30代)
		雨が降っている時に使用していたので、室内でのスプレー使用が多く、天気が悪いので換気もあまりしていなかった。少し咳こんだり、気分が悪くなったりしたけれど、時間が経ったら症状がおさまったので、病院には行かなかった。(女性・40代)
発生状況	風・風向き	ゴルフ用の雨傘にスプレーをしようとベランダに出て使用。風向きに注意していたが急に風向きが変わって自分のほうに飛んできた。めいっぱい量を出していたと思う。(男性・70代以上)
		日中、スーパーからの買い物帰りに、屋外の道路で防水加工作業をしていた人がカッパのような上着にスプレーしていたところを風下にいたので吸い込んでしまった。咳き込んでしまったが病院にはかからなかった。(女性・20代)
		小学生の時、親が実家の玄関で雨具に防水スプレーをかけていたときに私が見ているだけだった。その時に風がきて、少し顔にかかってしまった。その後、特に問題なかったのもそのまま続行した。(女性・30代)
	狭い空間・密閉空間	玄関先で出かける前に扉が閉まった状態で噴射し、吸い込みそうになった。(男性・50代)
		締め切った玄関で使用して少し吸い込んだが、特に症状はなかった。(男性・40代)
症状	咳	玄関でスプレーしたら吸い込んで咳がとまらなくなった。(男性・30代)
		玄関前で靴にスプレーしている最中、顔を真上に近づけてしまった。無風。すぐ避けたので少しむせたくらい。(女性・50代)
	息苦しい	朝室内で靴や服に使ったとき、換気不足で吸い込んでしまい苦しんだ。(男性・30代)
		自分が玄関でスニーカーに防水スプレーをしていた時、急いでいたせいもあって換気せずに使用したら、胸が蒸せて息苦しくなった。それ以降注意するようになった。(女性・70代以上)
使用対象物	靴	玄関先の屋外で、父が靴に防水スプレーをかける所を横で見ている。当時、自身は子供で、父も「寄るなよ」と一声掛けただけだったので危険性が分かっていなかった。(女性・30代)
		玄関で靴にスプレーし、吸い込みそうになった。手に持って使おうとしたので顔に近くなり吸い込みそうになった。(女性・20代)

表 4 危害「ヒヤリハット」経験の詳細回答の分類結果 Q29

発生場所	件数
屋外	38
玄関	34
屋内	11
ベランダ	8

対象物	件数
靴	24
雨具	16
衣類	6
スキーウェア	4
バック	2

発生要因	件数
風・風向き	42
狭い空間・密閉空間	21
換気不足	12
大量使用	8
近距離での使用	4
噴射の勢い	4
他者による使用	2
その他	2

症状	件数
咳	11
息苦しい	9
気持ちが悪い	6
体調不良	4
頭痛	1
喉の違和感	1
喉の痛み	1

(14) 危害経験時に体調が悪くなった者の症状（複数回答）

危害経験時にみられた症状は「咳」が56.7%（38件）と最も多く、次いで「のどの痛み・違和感」が29.9%（20件）となっている（図3-34）。

令和2年度と比較すると、「咳」は令和2年度50.0%から令和7年度56.7%と約7ポイント増加しており、咳き込みが生じるケースがより多く報告されている。また、「のどの痛み・違和感」も令和2年度20.7%から令和7年度29.9%と約9ポイント上昇しており、呼吸器系の初期症状が増えていることがうかがえる。

一方で、「気分が悪くなる・吐き気」は令和2年度41.4%から令和7年度25.4%と16ポイント減、「呼吸困難・息苦しくなる」は令和7年度32.8%から令和2年度26.9%と約6ポイント減少しており、比較的重い症状の報告は少なくなっている。「発熱」は令和7年度1.7%から令和2年度7.5%、「頭痛」「悪寒」は令和7年度0.0%から令和2年度にそれぞれ7.5%、6.0%と増加しているものの全体として割合は小さく、健康被害は限定的である。

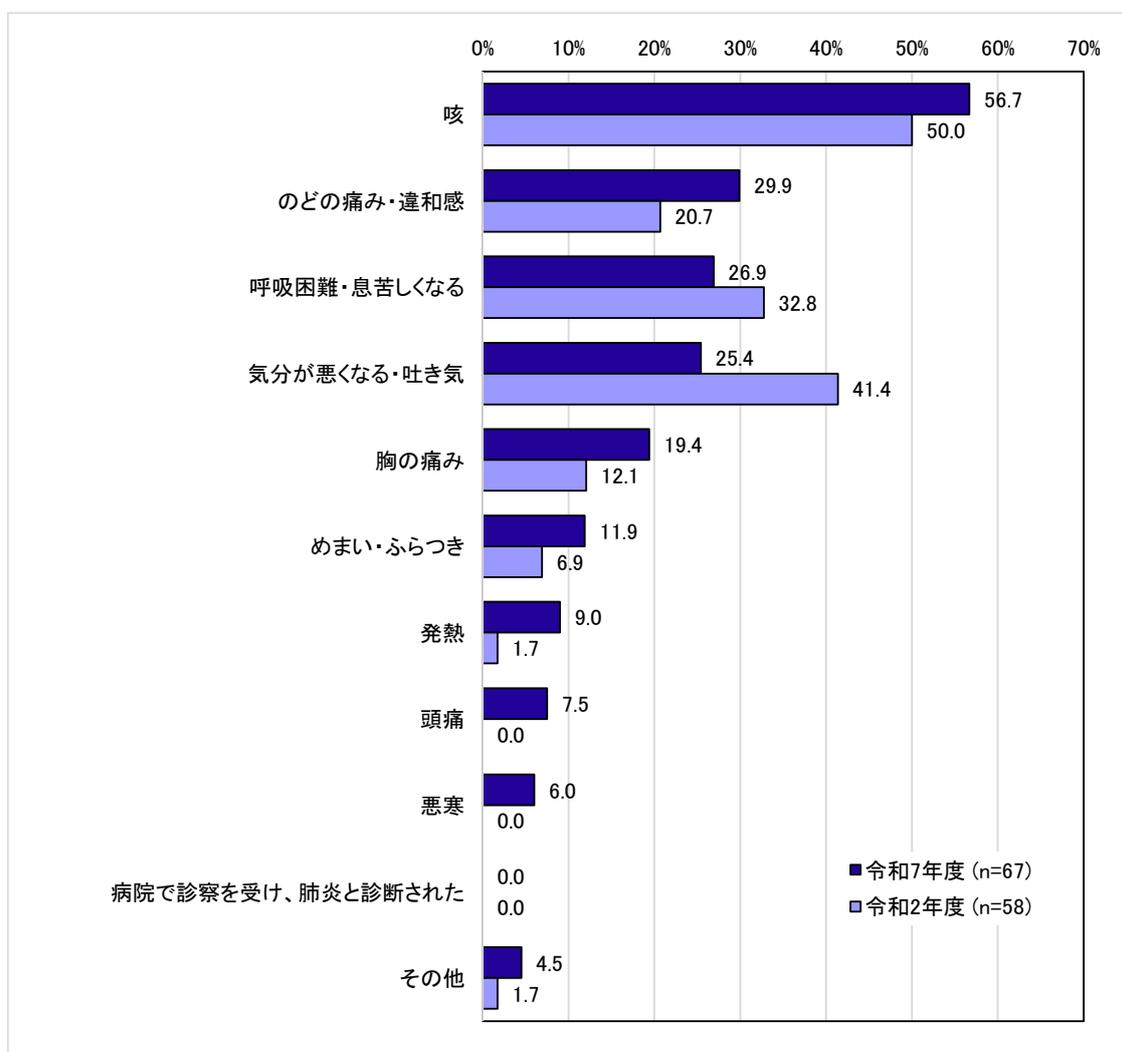


図 3-34 危害経験時に体調が悪くなった者の症状（複数回答）Q25

(15) 危害経験時の症状軽快までの期間（単一回答）

危害経験時の症状軽快までの期間について尋ねたところ（図 3-35）、「当日中」が 71.6%（48 件）と最も多く、次いで「1 週間未満」が 14.9%（10 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「当日中」が令和 2 年度 74.1%から令和 7 年度 71.6%と微減したが、両年度とも 7 割超を占めており、多くのケースで比較的短時間のうちに回復している状況は変わらない。

一方で、「1～2 週間」は令和 2 年度 1.7%から令和 7 年度 7.5%と約 6 ポイント増加しており、ごく一部では改善までに日数を要したケースがみられる。

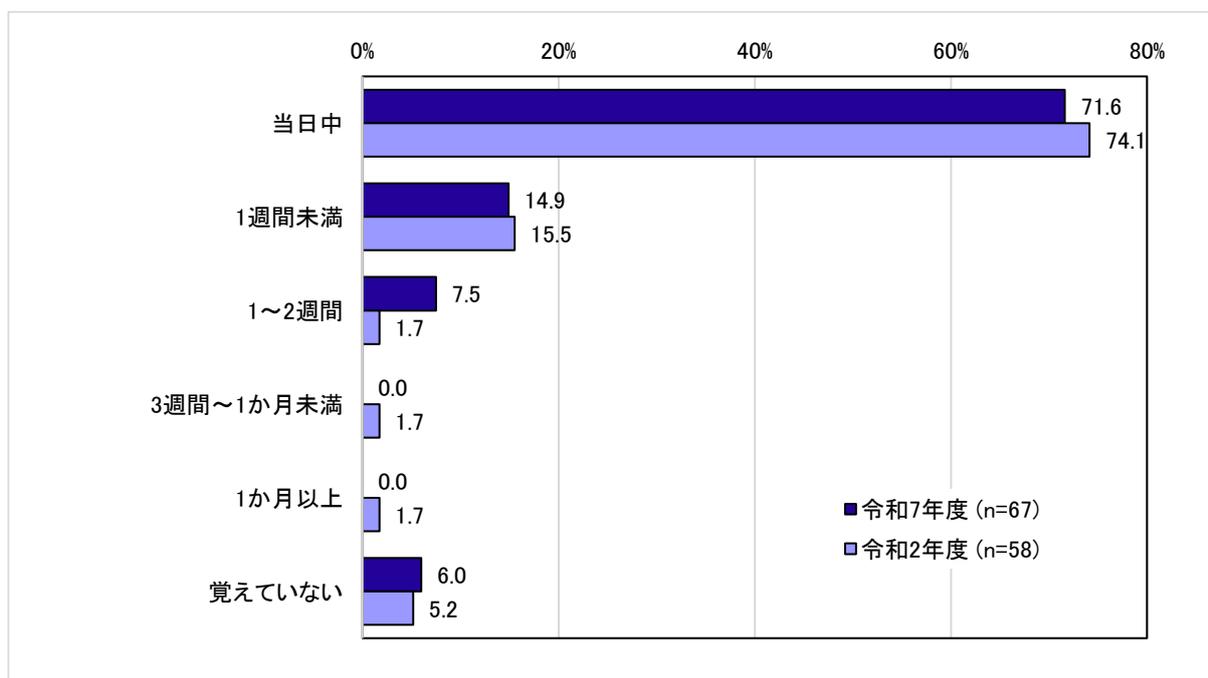


図 3-35 危害経験時の症状軽快までの期間（単一回答）Q26

(16) 危害経験時の通院等の状況（単一回答）

危害経験時の通院等の状況について尋ねたところ（図 3-36）、「病院には行かなかった」が 80.6%（54 件）と最も多く、次いで「病院に一度行った」が 9.0%（6 件）、「病院に何度か通院した（入院していない）」が 7.5%（5 件）と続いている。

令和 2 年度と比較すると、「病院には行かなかった」は令和 2 年度 82.8%から令和 7 年度 80.6%と微減しているが、高い割合で推移しており、体調不良があっても医療機関を受診しないケースが大半を占める状況は変わらない。また、「入院した」は令和 7 年度では 0%で、重症化した事例は確認されていない。

一方で、「病院に何度か通院した（入院していない）」は令和 2 年度 5.2%から令和 7 年度 7.5%、「病院に一度行った」は 6.9%から 9.0%といずれも微増している。

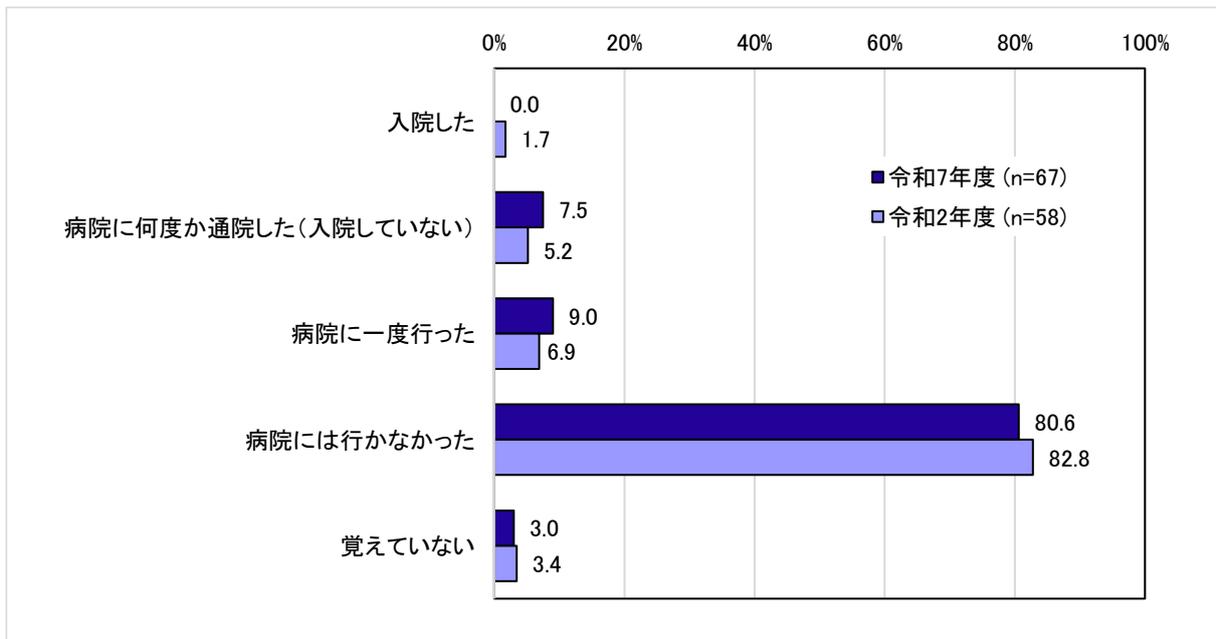


図 3-36 危害経験時の通院等の状況(単一回答)Q27

(17) 危害経験時の持病・既往症歴（複数回答）

危害経験の際に有していた持病等について尋ねたところ（図 3-37）、「特にない・わからない」が 56.7%（38 件）と最も多く、次いで「喫煙習慣あり」が 29.9%（20 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、防水スプレーを吸い込んだ、または吸い込みそうになって症状が出た際に「喫煙習慣がある」と回答した割合は令和 2 年度 17.2%から令和 7 年度 29.9%へ、「喘息がある」は令和 2 年度 3.4%から令和 7 年度 13.4%へと、それぞれ大きく増加している。

一方、「以前に喫煙習慣があった（現在は喫煙していない）」は令和 2 年度 20.7%から令和 7 年度 9.0%と減少している。これらのことから、令和 7 年度では、症状が出た者のうち、喫煙習慣や喘息といった呼吸器系の既往・生活習慣を有する者の割合が相対的に高まっていることがうかがえる。

また、「特にない・わからない」は令和 2 年度 55.2%から令和 7 年度 56.7%とほぼ同水準で推移しており、半数以上は生活習慣病や持病（既往症も含む）等がなくても、症状が出る状況に大きな変化がみられなかった。

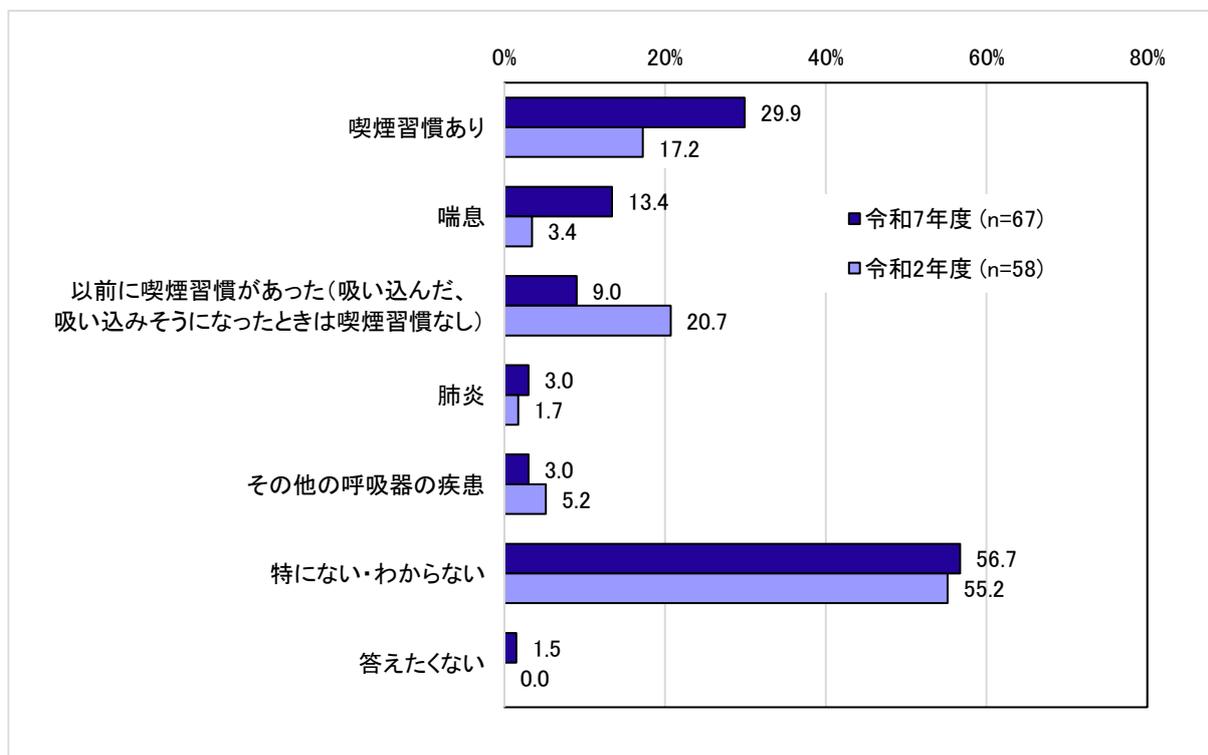


図 3-37 危害経験時の持病・既往症歴（複数回答）Q28

(18) 「危害」「ヒヤリハット」経験後の製品に関する相談の有無・相談先（複数回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験の後、製品について相談・報告を行ったか、およびその相談先について尋ねたところ（図 3-38）、「報告しなかった」が 77.6%（121 件）と最も多く、次いで「メーカー」が 14.1%（22 件）、「販売店・販売サイト」が 10.9%（17 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、製品について「報告しなかった」は令和 2 年度 84.3%から令和 7 年度 77.6%と約 7 ポイント減少しており、吸い込んだ・吸い込みそうになった際に相談や報告を行う人がやや増えていることがうかがえる。

相談・報告先として「メーカー」が令和 2 年度 9.7%から令和 7 年度 14.1%、「販売店・販売サイト」が令和 2 年度 3.7%から令和 7 年度 10.9%、「日本中毒情報センター（中毒 110 番）」が令和 2 年度 3.0%から令和 7 年度 5.1%や「消防の救急相談センター」が令和 2 年度 2.2%から令和 7 年度 3.8%などはいずれも増加しており、相談窓口の認知や利用が進んでいる。

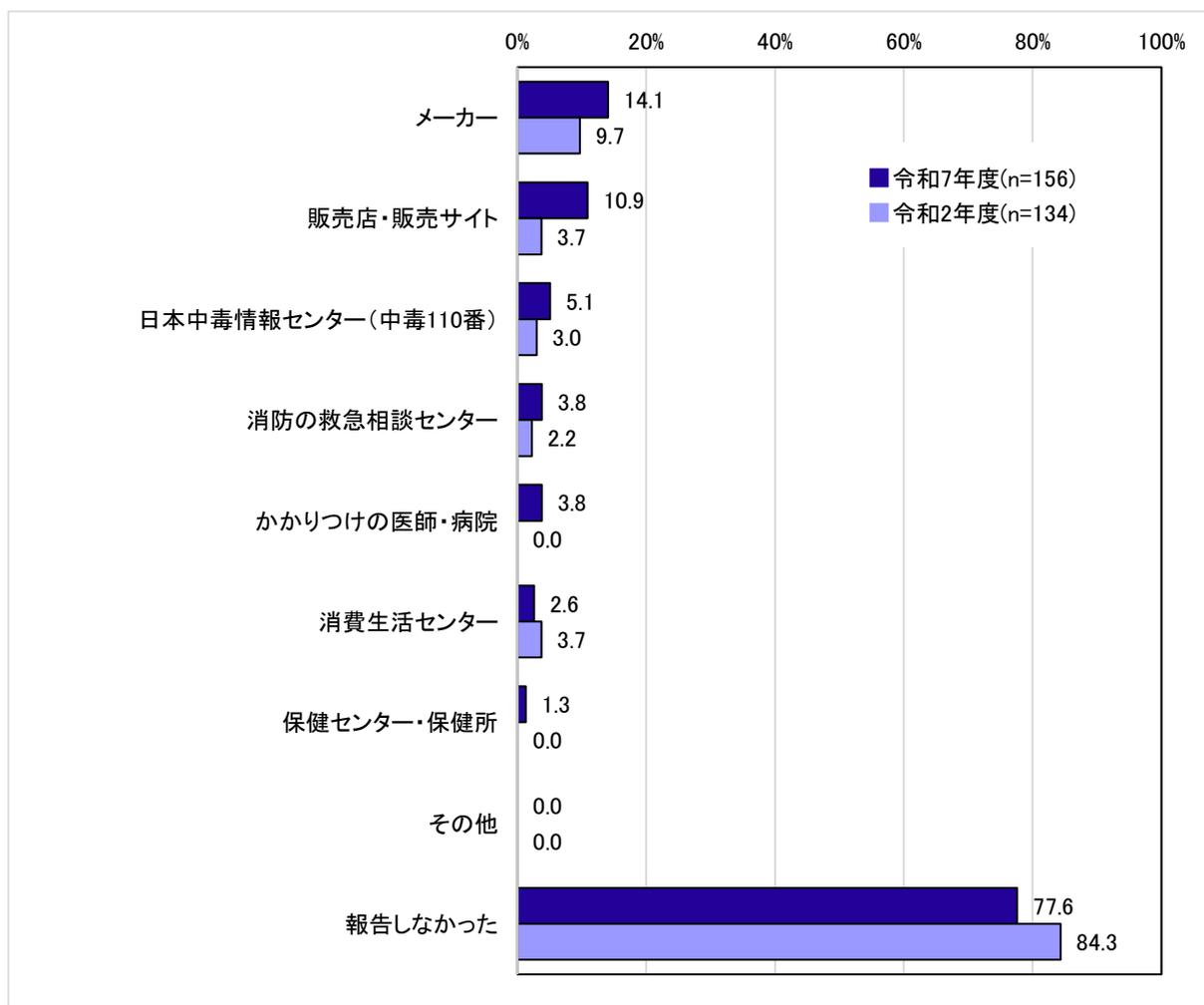


図 3-38 「危害」「ヒヤリハット」経験後の製品に関する相談の有無・相談先（複数回答）Q30

(19) 相談・報告しなかった理由（複数回答）

「危害」「ヒヤリハット」経験の後、製品について相談・報告をしなかった者にその理由について尋ねたところ（図 3-39）、「相談・報告するほどのものではないと思ったから」が 62.8%（76 件）と最も多く、次いで「特に理由はない」が 26.4%（32 件）となっている。

令和 2 年度と比較すると、「相談・報告するほどのものではないと思ったから」は、令和 2 年度 67.3%から令和 7 年度 62.8%とやや低下しているものの、依然 6 割を超えており、軽度と判断して対応しなかったケースが多い状況は変わっていない。また、「特に理由はない」は令和 2 年度 18.6%から令和 7 年度 26.4%と約 8 ポイント増加しており、理由が明確でない未相談層が一定数存在することが確認される。

一方で、「相談・報告する（したほうがいい）ことを思いつかなかったから」は令和 2 年度 11.5%から令和 7 年度 5.8%へ減少しており、相談先の理解や認識が進んでいる可能性がある。

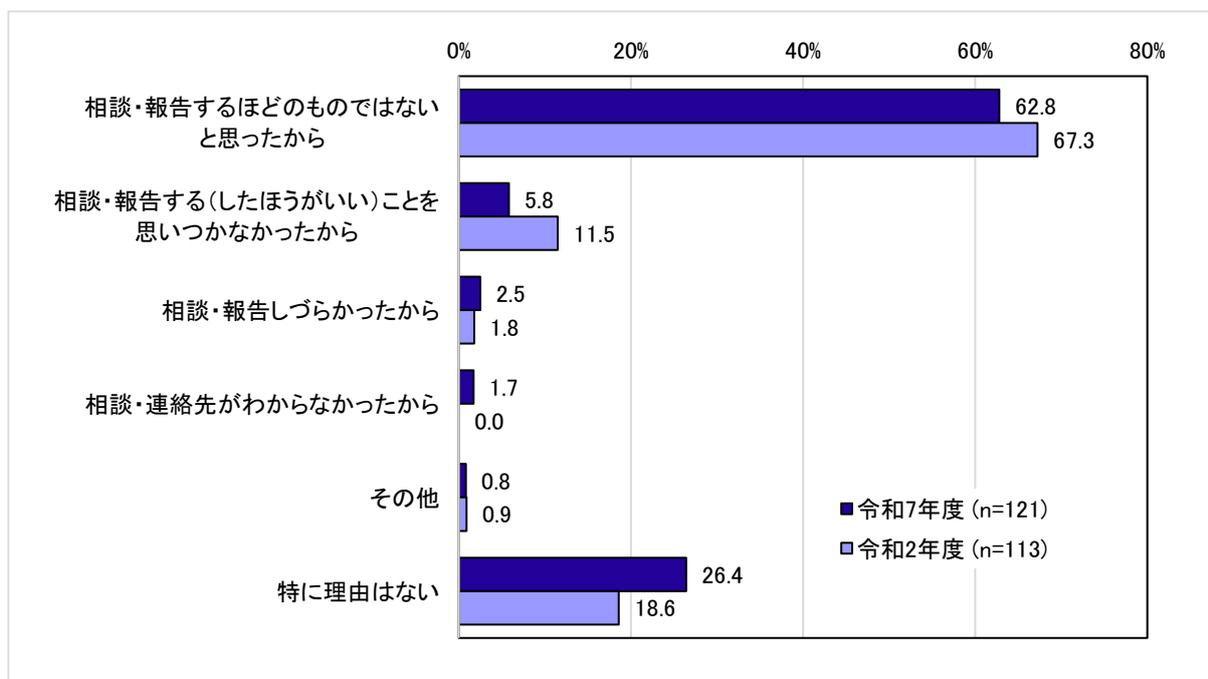


図 3-39 相談・報告しなかった理由(複数回答)Q31

(20) 防水スプレーの安全性に係る全般意見

防水スプレーに関する不安や疑問、事業者や行政への要望を自由回答として尋ねた。得られた結果に対し、内容によって付与した分類数を表5に示す。また、回答のうち代表的なものを、分類ごとに表6に示す。

製品そのものに対する要望が67件と最も多く、使用時の身体への影響を意識した意見が多数を占めている。周知・情報提供の不足に対する不安も目立ち、メディアや行政による注意喚起、有害性の分かりやすい説明を求める声が多く、現状では危険性が十分に伝わっていないと感じている利用者が多い。表示改善への要望として、「文字を大きく」「目立つデザイン」「有害性を具体的に明示」といった意見があり、注意表示の視認性・直感性が課題となる。

表5 防水スプレーの安全性に係る全般意見の分類数集計結果 Q34

分類	細分類	件数
製品（67件）	安全な製品の開発	27
	においの改善	12
	価格・容量改善	11
	操作性・利便性の向上	8
	使用期限	2
	その他	7
周知（43件）	メディアを通じた周知	21
	危険性周知	20
	その他	2
表示改善（22件）	目立つ・わかりやすい表示	7
	有害性の表示	7
	安全な使用方法の表示	5
	より詳細な情報提供	3
販売方法（12件）	販売時の周知	8
	その他	4
スプレーの効果		30
危険性の不安		22
使用方法		14
廃棄について		11

表 6 防水スプレーの安全性に係る全般意見 Q34

分類		意見内容
製品	安全な製品の開発	防水スプレーの安全性を高める、安全な代替え製品開発の取り組みを進めてほしい。(男性・40代)
		出来るだけ無害の商品開発をお願いしたい。(男性・70代以上)
		とても良い商品で、雨の多い日本でとても助かるので、体に害が少なく防水できるスプレーが普及して欲しい。(女性・40代)
		ガスじゃない安全なもので作れないか。(女性・50代)
		防水スプレーは汚れ防止にとってもよかったので、安全に使えるような商品にしてほしい。(女性・70代以上)
	匂いの改善	スプレーする際、匂いがキツイので、もっと匂いを和らげる工夫が大切。(男性・30代)
		防水スプレーについて感じることは、香り付きの防水スプレーがあると使用が楽しくなると感じていました。(女性・60代)
		使ったとき確かにかなり刺激臭があったような気がする。(女性・70代以上)
	周知	メディアを通じた周知
呼吸器に障害を与えるようなスプレーであれば、知っていたら買わなかったかもしれない。喘息があるので、十分注意する必要がある。近所の人が使ってもそのそばを通るのも怖い。人が通るときに使うのも危険だ。そういうことを政府のCMなどでもやってほしい。(女性・60代)		
使う時は説明を読み守っていたが危ないという認識がなかった。買った時に助言があると注意すると思う。新聞や広報での周知も必要と思う。(女性・70代以上)		
危険性周知		最近キャンプブームなので、防水効果が軽いものから強力なものまでさまざまな人が使うと思うが、注意点は共通だと思うので、行政・事業者が一致して注意喚起してほしい。(男性・60代)
		有害性についてはっきりと分かっていなかったので情報周知を徹底してほしいです。(女性・20代)
		人体に影響を及ぼすのであれば、安全性の高い防水スプレーの開発をお願いしたいが、現状無理であれば、消費者に周知させていかないと事故が防げないと思います。(女性・40代)
表示改善	目立つ・わかりやすい表示	デザインが地味だから分かりやすい様に派手にしてほしい。(男性・50代)
		絶対に守らないといけないことは商品名よりも大きく書き、目立つように派手にしてほしいです。(女性・20代)
		注意の文字は特に大きくしてほしい。(女性・50代)
	有害性の表示	タバコのように注意喚起のパッケージにして欲しい。(男性・20代)
		どのような危険性があるのか、なんで危険なのか、どんな物質が危険なのか表記して欲しい。(女性・20代)
スプレーの効果	値段と効果の関係性がわかりにくい。(男性・30代)	
	効果について、認証機関が5段階評価する制度が良いですね。(男性・60代)	

	<p>使用方法の説明を見ると1回の使用量が結構多めです。どのくらいスプレーすれば防水効果があるのかよくわからない。(女性・60代)</p> <p>どの程度効果が保つのか、どの程度になったら撥水スプレーをした方がいいのか知りたい。(女性・60代)</p>
危険性の不安	<p>吸い込んでしまった時に対処方法が分からないのが不安に感じた。 (男性・30代)</p>
	<p>安易に使用することが多いので、危険度をもう少しリアルに示してほしい感じはする。(男性・70代以上)</p>
	<p>吸い込むと有害なものなので使うのが怖い。1本の容量が多いものが多いのでなかなか使い切らない上に処分する際に外で噴射するわけにもいかず困る。(女性・40代)</p>
使用方法	<p>マンションなどでの安全な使用法がなかなか難しい。(女性・40代)</p>
	<p>幼児などの目につかない所に保管して使用する。(女性・70代以上)</p>
販売方法	<p>販売員自身もおそらくその危険性を把握してないと思いますので、メーカーが中心となって教育を徹底してもらいたいです。(男性・60代)</p>
	<p>店頭ポップとかでも注意喚起した方が良い。(女性・30代)</p>
	<p>日やけ止めスプレーやつや出しスプレーなどとはちょっと違うと言うことを、店頭できちんと説明して欲しい。(女性・60代)</p>

第4 調査結果（数表）

1 属性に関する設問（プレ調査）

SC1 あなたの性別・年代を教えてください。

		回答数	%
全体		1,809	100.0
1	男性・10代以下	0	0.0
2	男性・20代	153	8.5
3	男性・30代	191	10.6
4	男性・40代	162	9.0
5	男性・50代	147	8.1
6	男性・60代	131	7.2
7	男性・70代以上	123	6.8
8	女性・10代以下	0	0.0
9	女性・20代	190	10.5
10	女性・30代	174	9.6
11	女性・40代	144	8.0
12	女性・50代	133	7.4
13	女性・60代	126	7.0
14	女性・70代以上	135	7.5

SC2 あなたのお住まいの都道府県、通勤・通学している都道府県を教えてください。

		居住		通勤・通学	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,809	100.0	1,809	100.0
1	東京都	1,809	100.0	1,175	65.0
2	埼玉県	0	0.0	36	2.0
3	千葉県	0	0.0	11	0.6
4	神奈川県	0	0.0	35	1.9
5	上記以外の道府県	0	0.0	4	0.2
6	通勤・通学していない	—	—	548	30.3

SC3 あなたは防水スプレーを使用したことはありますか。

		回答数	%
全体		1,809	100.0
1	使用したことがある	1,011	55.9
2	使用したことはないが、自分の周囲で使用されたことがある	137	7.6
3	いいえ（他の選択肢に当てはまらない）	661	36.5

本アンケートにおける防水スプレーとは、皮革や布製品に使用する、防水・撥水効果を持つ家庭用のエアゾールスプレー（ガスが入っている金属の缶のスプレー）※図①のことを指します。

以下のものは本アンケートの設問の対象外です。

<対象外>

- ・金属・プラスチック・ガラス用の製品
- ・防水・撥水効果がない製品
- ・業務用
- ・ハンドポンプスプレー（霧吹きタイプのプラスチック容器入りのスプレー） ※図②
- ・塗る・付け置きタイプの防水剤 ※図③



▼SC3で「1. 使用したことがある」と回答した方にお聞きします

SC4 あなたが防水スプレーを使用したきっかけについてお選びください。（複数回答可）

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	家族や友人・知人に勧められた	213	21.1
2	販売店などで店員に勧められた	215	21.3
3	インターネットやSNSで使用を推奨する記事や書き込みを見た	125	12.4
4	雨や雪などで衣類や靴が濡れるのが嫌だったから	486	48.1
5	ゲリラ豪雨の増加など、最近の気象が変化してきているから	113	11.2
6	防水効果以外にも、汚れ防止や色あせ防止などの他の効果を得たから	157	15.5
7	衣類や靴などの撥水効果がなくなってきたから	294	29.1
8	その他（具体的に ）	13	1.3
9	覚えていない・特に理由はない	82	8.1

▼SC3で「1. 使用したことがある」と回答した方にお聞きします

SC5 あなたは防水スプレーを何に対して使用したことがありますか。(複数回答可)

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	靴(革製)	609	60.2
2	靴(布製)	573	56.7
3	傘	402	39.8
4	アウトドア用・ウィンタースポーツ用の衣類	268	26.5
5	アウトドア用・ウィンタースポーツ用の衣類以外の布・革製品	168	16.6
6	レインコート	278	27.5
7	上記以外の革製のバッグ・衣類・ソファなど(具体的に)	27	2.7
8	上記以外の布製のバッグ・衣類・ソファなど(具体的に)	33	3.3
9	その他(具体的に)	11	1.1
10	覚えていない	12	1.2

▼SC3で「2. 使用したことはないが、自分の周囲で使用されたことがある」または「3. いいえ」と回答した方にお聞きします

SC6 あなたが防水スプレーを使用しない理由は何ですか。(複数回答可)

		回答数	%
全体		798	100.0
1	防水スプレーを使用する必要性を感じないから	388	48.6
2	防水等の効果が期待できないから	106	13.3
3	効果やメーカー等で気に入った防水スプレーがないから	45	5.6
4	高額だから	118	14.8
5	廃棄が面倒だから	104	13.0
6	使用時の臭いが好きではないから	55	6.9
7	このような製品があることを知らなかったから	79	9.9
8	吸い込むと事故が起こるおそれのある製品だから	124	15.5
9	その他(具体的に)	15	1.9

2 本調査アンケート

本調査は、プレ調査 SC3 において、「1. 防水スプレーを使用したことがある」と回答された方が対象です。

<防水スプレーの使用実態>

【防水スプレーの購入について、お伺いします。】

Q1 あなたは自分で使用するために、およそ 2 年以内に防水スプレーを購入したことがありますか。購入したことがある場合は、直近で購入した時期もあわせて教えてください。

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	1年以内に購入した	292	28.9
2	1年～2年以内に購入した	192	19.0
3	それより前に購入した	473	46.8
4	購入したことはない ▶Q7 へ	54	5.3

本アンケートにおける防水スプレーとは、皮革や布製品に使用する、防水・撥水効果を持つ家庭用のエアゾールスプレー（ガスが入っている金属の缶のスプレー）※図①のことを指します。

以下のものは本アンケートの設問の対象外です。

<対象外>

- ・金属・プラスチック・ガラス用の製品
- ・防水・撥水効果がない製品
- ・業務用
- ・ハンドポンプスプレー（霧吹きタイプのプラスチック容器入りのスプレー） ※図②
- ・塗る・付け置きタイプの防水剤 ※図③



▼Q1で「1.1年以内に購入した」～「3.それより前に購入した」のいずれかを選択した方にお聞きします

Q2 あなたが防水スプレーを購入したきっかけは何ですか。(複数回答可)

		回答数	%
全体		957	100.0
1	持っていた防水スプレーを使い切ったため	434	45.4
2	所有している、または新たに購入した対象物に使用するため	252	26.3
3	店で防水スプレーの効果などの説明書きを見た	133	13.9
4	店で販売員に勧められたため	143	14.9
5	家族・友人・知人などに勧められたため	89	9.3
6	インターネットを通じて効果や有効性を感じたため	94	9.8
7	その他	26	2.7
8	覚えていない ◀排他	104	10.9

Q3 あなたが購入した防水スプレーの種類について教えてください。(複数回答可)

		回答数	%
全体		957	100.0
1	靴用(革製のみ)	259	27.1
2	靴用(布・革製用)	331	34.6
3	傘用	173	18.1
4	革製品全般用	123	12.9
5	布製品全般用	222	23.2
6	革・布製品全般用	238	24.9
7	その他	22	2.3
8	覚えていない ◀排他	134	14.0

Q4 あなたが防水スプレーを購入した場所はどこですか。(複数回答可)

		回答数	%
全体		957	100.0
1	靴店	250	26.1
2	アウトドアショップ・スポーツ用品店	140	14.6
3	薬局・ドラッグストア	151	15.8
4	ディスカウントストア・スーパーマーケット	162	16.9
5	家電量販店	34	3.6
6	ホームセンター	229	23.9
7	デパート	28	2.9
8	100円ショップ	55	5.7
9	インターネットによる通信販売	138	14.4
10	その他	20	2.1
11	覚えていない ◀排他	82	8.6

Q5 あなたが防水スプレーを購入した際、「室内では使用しない」などの使用時の安全に関する

る注意事項について、缶に記載された注意表示以外に、店員から説明を受けたり、店内の掲示物やインターネットの購入画面等で注意書きを見たりしたことはありますか。(複数回答可)

		回答数	%
全体		957	100.0
1	説明を受けた	157	16.4
2	注意書きを見た	544	56.8
3	説明を受けていない・注意書きを目にしていない◀排他	179	18.7
4	覚えていない ◀排他	145	15.2

Q6 あなたが防水スプレーを購入する際の基準や理由は何ですか。(複数回答可)

		回答数	%
全体		957	100.0
1	メーカー・ブランド・生産国	226	23.6
2	効果・性能	633	66.1
3	容量	310	32.4
4	価格	541	56.5
5	デザイン	59	6.2
6	店頭の販売員のおすすめ商品	115	12.0
7	友人・知人・家族のおすすめ商品	52	5.4
8	インターネット上の口コミや評判	86	9.0
9	その他(具体的に)	1	0.1
10	特になし ◀排他	110	11.5

Q7 あなたが防水スプレーを購入または使用した目的は何ですか。(複数回答可)

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	防水・撥水効果を持たせるため	913	90.3
2	汚れを防止するため	410	40.6
3	保湿、つや出しなど、生地の手入れのため	120	11.9
4	上記以外の効果を持たせるため	37	3.7
5	その他(具体的に)	1	0.1

【防水スプレーの使用について、お伺いします。】

Q8 防水スプレーを使う前に、缶に記載された注意表示を確認していますか。最もあてはまるものを1つ教えてください。

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	全部読んでいる	177	17.5
2	だいたい読んでいる	437	43.2
3	目につくもののみ読んでいる	239	23.6
4	ほとんど読んでいない	101	10.0
5	まったく読んでいない	57	5.6



▼Q8で「1.全部読んでいる」～「3.目につくもののみ読んでいる」のいずれかを選択した方にお聞きします

Q9 防水スプレーの缶に記載された注意表示について、あてはまるものを教えてください。

		全体	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない	覚えていない	
1	缶に記載された注意表示はすぐに見つけることができた	回答数	853	349	376	52	76
		%	100.0	40.9	44.1	6.1	8.9
2	注意表示の内容は読みやすいものだった	回答数	853	281	392	100	80
		%	100.0	32.9	46.0	11.7	9.4
3	注意表示の内容はよく理解できた	回答数	853	339	392	55	67
		%	100.0	39.7	46.0	6.4	7.9
4	注意表示の内容は信頼性があった	回答数	853	322	410	44	77
		%	100.0	37.7	48.1	5.2	9.0
5	注意表示を見て、安全に使用すると意識した	回答数	853	386	370	33	64
		%	100.0	45.3	43.4	3.9	7.5

Q10 防水スプレーの使用時の注意事項について、あなたが知っているものをお選びください。
(複数回答可)

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	必ず屋外で使用する（室内や車内で使用しない）	650	64.3
2	吸い込むと有害である	569	56.3
3	マスクをつける	229	22.7
4	風向きに注意して使用する	411	40.7
5	風通しの良い所で使用する	529	52.3
6	一度に大量に使用しない	330	32.6
7	顔の近くで使用しない	441	43.6
8	身に着けたまま使用しない	301	29.8
9	子供やペットのそばで使用しない・近づけない	293	29.0
10	スプレーした物は風通しの良い場所で乾くまで乾燥させる	375	37.1
11	特に知っているものはない ◀排他	74	7.3

Q11 あなたの防水スプレーの使用方法として当てはまるものを教えてください。
※「子供やペットのそばで使用しない・近づけない」について、子供やペットがいない場合は、いる場合を想定してご回答ください。

		全体	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない	
1	屋外で使用する	回答数	1,011	722	184	105
		%	100.0	71.4	18.2	10.4
2	屋内で使用する（換気あり）	回答数	1,011	286	291	434
		%	100.0	28.3	28.8	42.9
3	屋内で使用する（換気なし）	回答数	1,011	152	153	706
		%	100.0	15.0	15.1	69.8
4	風向きに注意する	回答数	1,011	562	313	136
		%	100.0	55.6	31.0	13.5
5	風通しの良い場所で使用する	回答数	1,011	666	253	92
		%	100.0	65.9	25.0	9.1
6	霧を吸い込まないように気をつけている	回答数	1,011	733	204	74
		%	100.0	72.5	20.2	7.3
7	マスクをつける	回答数	1,011	308	281	422
		%	100.0	30.5	27.8	41.7

8	一度に大量に使用せず、使用量の目安を守る	回答数	1,011	569	326	116
		%	100.0	56.3	32.2	11.5
9	スプレー対象のものを身につけたまま使用しない	回答数	1,011	642	236	133
		%	100.0	63.5	23.3	13.2
10	子供やペットのそばで使用しない・近づけない	回答数	1,011	734	176	101
		%	100.0	72.6	17.4	10.0

Q12 あなたは、防水スプレーを使用する時に、防水スプレーとスプレーする対象物との間をどのくらい離して使っていますか。最も近いと思うものを教えてください。

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	10センチ未満	63	6.2
2	10～20センチ未満程度	524	51.8
3	20～30センチ未満程度	336	33.2
4	30～50センチ未満程度	73	7.2
5	50センチ以上	15	1.5

Q13 あなたは、防水スプレーを換気の悪い場所で使用し、吸い込むことで、呼吸器障害等の事故が起きていることを知っていますか。

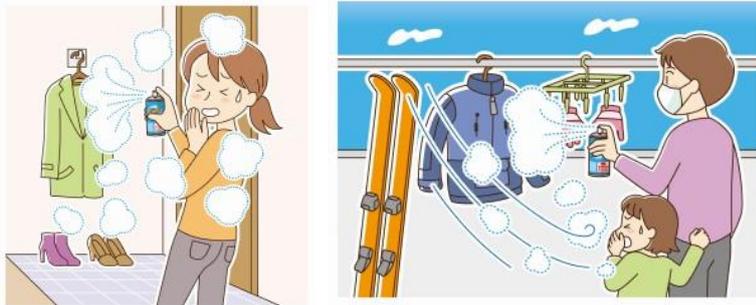
知っている場合はどこでお知りになったかお答えください。(複数回答可)

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	自らの体験	110	10.9
2	テレビ・ラジオのニュース・番組	175	17.3
3	新聞、雑誌	58	5.7
4	スプレー缶表面の注意表示	257	25.4
5	インターネットのニュース	89	8.8
6	インターネット上の注意喚起情報	62	6.1
7	メーカー/販売のウェブサイト	56	5.5
8	X (旧 Twitter) や LINE などのテキスト型 SNS	44	4.4
9	Instagram、TikTok、YouTube などの画像・動画型 SNS	34	3.4
10	行政のリーフレット、パンフレット、ウェブサイト	30	3.0
11	上記以外のインターネットサイト	21	2.1
12	家族・親戚・友人・知人	47	4.6
13	その他 (具体的に)	6	0.6
14	覚えていない ◀排他	100	9.9
15	事故が起きていることを知らない ◀排他	382	37.8

【今後の防水スプレーの安全対策のため、あなたの経験についてお伺いします。防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。】

Q14 防水スプレーを使用した、または自分の近くで使用された際に、あなたや周辺の人などが吸い込んだ、吸い込みそうになった経験はありますか。

		回答数	%
全体		1,011	100.0
1	はい	156	15.4
2	いいえ ▶Q32 へ	855	84.6



▼Q14で「1. はい」と回答した方にお聞きします

Q15 あなたや周辺の人などが防水スプレーを、いつ頃、吸い込んだ、吸い込みそうになった経験をされましたか。

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	1年未満	33	21.2
2	1年～2年未満	48	30.8
3	2年～3年未満	27	17.3
4	3年～5年未満	18	11.5
5	5年～7年未満	5	3.2
6	7年～10年未満	5	3.2
7	10年以上前	20	12.8

Q16 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになった経験をした場所はどこですか。

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	屋外（風あり）	54	34.6
2	屋外（風なし）	18	11.5
3	屋外（風の有無は覚えていない）	10	6.4
4	玄関（室内）	49	31.4
5	浴室	0	0.0
6	トイレ	1	0.6
7	屋内（4～6を除く）	11	7.1
8	ベランダ・バルコニー	9	5.8
9	車内	0	0.0
10	その他（具体的に ）	1	0.6
11	覚えていない	3	1.9

（注）「屋外」とは、以下のような場所を含む密閉されていない空間です。

（例）マンションの外廊下・外階段、玄関先（ドアの外側）など

「屋内」とは、以下のような場所を含む密閉された空間です。

（例）リビング・キッチン、建物の中に組み込まれた（ビルトイン）ガレージ、マンションの内階段や内廊下などの屋内共用部、ホテルの室内など

Q17 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに使用していた防水スプレーの種類とおおよその使用した量を教えてください。

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		全体	0.5本未満	0.5~1本未満	1本~2本未満	2本以上	使用量は覚えていない	この種類のスプレーは使っていない	
1	靴用（革製のみ）	回答数	156	32	23	12	6	24	59
		%	100.0	20.5	14.7	7.7	3.8	15.4	37.8
2	靴用（布・革製兼用）	回答数	156	37	24	13	4	25	53
		%	100.0	23.7	15.4	8.3	2.6	16.0	34.0
3	傘用	回答数	156	29	15	9	4	23	76
		%	100.0	18.6	9.6	5.8	2.6	14.7	48.7
4	革製品全般用	回答数	156	18	9	11	8	22	88
		%	100.0	11.5	5.8	7.1	5.1	14.1	56.4
5	布製品全般用	回答数	156	24	13	10	7	23	79
		%	100.0	15.4	8.3	6.4	4.5	14.7	50.6
6	革・布製品全般用	回答数	156	27	10	15	5	23	76
		%	100.0	17.3	6.4	9.6	3.2	14.7	48.7
7	その他（具体的に）	回答数	156	1	2	1	1	1	150
		%	100.0	0.6	1.3	0.6	0.6	0.6	96.2
8	防水スプレーの種類は覚えていない	回答数	156	7	7	3	1	17	121
		%	100.0	4.5	4.5	1.9	0.6	10.9	77.6

Q18 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときの、防水スプレーを使用した対象物とその数を教えてください。

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		全体	0 (この物には使用していない)	1つ	2つ	3つ	4つ以上	数量は覚えていないが使用した	
1	靴（革製）	回答数	156	55	57	19	5	7	13
		%	100.0	35.3	36.5	12.2	3.2	4.5	8.3
2	靴（布製）	回答数	156	40	49	24	9	9	25
		%	100.0	25.6	31.4	15.4	5.8	5.8	16.0
3	傘	回答数	156	57	48	16	5	7	23
		%	100.0	36.5	30.8	10.3	3.2	4.5	14.7
4	上着（例：ジャンパー、レインコートなど）	回答数	156	60	46	18	3	4	25
		%	100.0	38.5	29.5	11.5	1.9	2.6	16.0
5	ボトム類（ズボン、スカートなど）	回答数	156	82	25	14	8	6	21
		%	100.0	52.6	16.0	9.0	5.1	3.8	13.5
6	その他衣類（帽子、手袋、靴下など）	回答数	156	85	25	12	8	4	22
		%	100.0	54.5	16.0	7.7	5.1	2.6	14.1
7	かばん類（リュックサック、バッグなど）	回答数	156	79	28	17	5	4	23
		%	100.0	50.6	17.9	10.9	3.2	2.6	14.7
8	テントなど、衣類以外のアウトドア製品（具体的に）	回答数	156	154	-	-	-	-	2
		%	100.0	98.7	-	-	-	-	1.3
9	その他（ソファ、クッション、その他上記以外のもの）	回答数	156	97	9	9	3	4	34
		%	100.0	62.2	5.8	5.8	1.9	2.6	21.8

- Q19 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに、どのような状態で使用していましたか。(複数回答可)
 ※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	風向きに注意していた	61	39.1
2	霧を吸い込まないように気を付けていた	77	49.4
3	マスクをつけていた	36	23.1
4	風通しの良い場所で使用していた	64	41.0
5	子供やペットのそばで使用しない・近づけないようにしていた	30	19.2
6	ドア・窓を開けていた	36	23.1
7	換気扇をつけていた	15	9.6
8	その他(具体的に)	2	1.3
9	特に当てはまるものはない ◀排他	12	7.7
10	覚えていない ◀排他	8	5.1



- Q20 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに、防水スプレーと対象物との間をどのくらい離していましたか。最も近いと思われるものを教えてください。
 ※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	10センチ未満	13	8.3
2	10～20センチ未満程度	93	59.6
3	20～30センチ未満程度	37	23.7
4	30～50センチ未満程度	12	7.7
5	50センチ以上	1	0.6

Q21 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになった経験をした直接的な原因は何であると思いますか。(複数回答可)

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	換気が不十分だった	48	30.8
2	室内で使用した	53	34.0
3	一度に大量に使用した	31	19.9
4	風下にいた(エアコン等の人工的な風も含む)	48	30.8
5	マスクをしていなかった	47	30.1
6	顔の近くで使用していた	22	14.1
7	子供やペットのそばで使用していた	6	3.8
8	防水スプレー自体に問題があった	6	3.8
9	その他(具体的に)	8	5.1
10	特に思いつかない ◀排他	7	4.5

Q22 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに、防水スプレーを使用していた人は誰でしたか。(複数回答可)

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	あなた自身	138	88.5
2	同居者(家族)	27	17.3
3	同居者(家族以外)	4	2.6
4	その他(具体的に)	3	1.9

Q23 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに、防水スプレーを使用していた人の周囲に誰かいましたか。(複数回答可)

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	あなた自身	13	8.3
2	大人(人) ※1「あなた自身」を除く	38	24.4
3	子供(人)	7	4.5
4	ペット	8	5.1
5	誰もいない ◀排他	99	63.5

Q24 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに、体

調が悪くなったのはどなたですか。(複数回答可)

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	あなた自身	64	41.0
2	大人(人) ※1「あなた自身」を除く	8	5.1
3	子供(人)	2	1.3
4	ペット	1	0.6
5	体調が悪くなった人はいない ◀排他 Q29へ	89	57.1

▼Q24で「1.あなた自身」～「4.ペット」のいずれかを選択した方にお聞きます

Q25 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに、ご自身にどのような症状がありましたか。(複数回答可)

なお、【ご自身に症状がなかった場合】は、症状が最も重かった人についてお答えください。

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		67	100.0
1	呼吸困難・息苦しくなる	18	26.9
2	咳	38	56.7
3	胸の痛み	13	19.4
4	のどの痛み・違和感	20	29.9
5	発熱	6	9.0
6	気分が悪くなる・吐き気	17	25.4
7	めまい・ふらつき	8	11.9
8	悪寒	4	6.0
9	頭痛	5	7.5
10	病院で診察を受け、肺炎と診断された	0	0.0
11	その他	3	4.5

▼Q24で「1.あなた自身」～「4.ペット」のいずれかを選択した方にお聞きします

Q26 あなたの症状が良くなるまでの期間はどの位でしたか。

なお、【ご自身に症状がなかった場合】は、症状が最も重かった人についてお答えください。

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		67	100.0
1	当日中	48	71.6
2	1週間未満	10	14.9
3	1～2週間	5	7.5
4	3週間～1か月未満	0	0.0
5	1か月以上	0	0.0
6	覚えていない	4	6.0

▼Q24で「1.あなた自身」～「4.ペット」のいずれかを選択した方にお聞きします Q27 あなたは症状が出た時に病院に行きましたか。

なお、【ご自身に症状がなかった場合】は、症状が最も重かった人についてお答えください。

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		67	100.0
1	入院した	0	0.0
2	病院に何度か通院した（入院していない）	5	7.5
3	病院に一度行った	6	9.0
4	病院には行かなかった	54	80.6
5	覚えていない	2	3.0

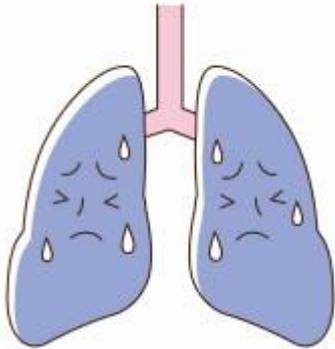
▼Q24で「1.あなた自身」～「4.ペット」のいずれかを選択した方にお聞きします

【防水スプレーによる呼吸器障害の発症に影響する可能性があるため、お伺いします。】

Q28 防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになって症状が出た時に、あなたは以下の生活習慣病や持病（既往症も含む）等をお持ちでしたか。なお、【ご自身に症状がなかった場合】は、症状が最も重かった人についてお答えください。（複数回答可）

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		67	100.0
1	喫煙習慣あり	20	29.9
2	以前に喫煙習慣があった (吸い込んだ、吸い込みそうになったときは喫煙習慣なし)	6	9.0
3	喘息	9	13.4
4	肺炎	2	3.0
5	その他の呼吸器の疾患	2	3.0
6	特にない・わからない ◀排他	38	56.7
7	答えたくない ◀排他	1	1.5



Q29 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときの状況をできるだけ詳しくご記入ください。（いつ、どこで、誰がどんな防水スプレーを何に對してどの位使ったか。その際の換気状態、その時の症状等や、病院にかかったかどうかなど）

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

Q30 あなたや周辺の人などが防水スプレーを吸い込んだ、吸い込みそうになったときに、製品についてどこかに相談・報告しましたか。(複数回答可)

※防水スプレー使用時に吸い込んだ、吸い込みそうになった経験を何回かされた方は、最も重かった症状、あるいは印象的だった経験についてお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	販売店・販売サイト	17	10.9
2	メーカー	22	14.1
3	日本中毒情報センター(中毒110番)	8	5.1
4	消防の救急相談センター	6	3.8
5	消費生活センター	4	2.6
6	保健センター・保健所	2	1.3
7	かかりつけの医師・病院	6	3.8
8	その他(具体的に)	0	0.0
9	報告しなかった ◀排他	121	77.6

▼Q30で「9.報告しなかった」と回答した方にお聞きします

Q31 相談・報告しなかった理由についてお答えください。

		回答数	%
全体		121	100.0
1	相談・報告するほどのものではないと思ったから	76	62.8
2	相談・報告しづらかったから	3	2.5
3	相談・報告する(したほうがいい)ことを思いつかなかったから	7	5.8
4	相談・連絡先がわからなかったから	2	1.7
5	その他	1	0.8
6	特に理由はない	32	26.4

【防水スプレーに関する意見について、お伺いします。】

Q32 缶表面の表示について、最もあてはまるものをお選びください。

		全体	とても わかり やすい	やや わかり やすい	どちらで もない	やや わかり にくい	わかり にくい
表示の色	回答数	1,011	183	378	377	51	22
	%	100.0	18.1	37.4	37.3	5.0	2.2
表示全体の大きさ	回答数	1,011	170	368	355	82	36
	%	100.0	16.8	36.4	35.1	8.1	3.6
文字の大きさ	回答数	1,011	168	330	354	119	40
	%	100.0	16.6	32.6	35.0	11.8	4.0
記載されている内容	回答数	1,011	192	397	330	67	25
	%	100.0	19.0	39.3	32.6	6.6	2.5

Q33 防水スプレーを安全に使用するために、以下の事項について改善すべき点があれば、自由にご記入ください。【回答任意】

- ・ 缶表面の表示など、安全上の注意に関する注意喚起方法について
- ・ 商品や販売方法について

Q34 防水スプレーについて、感じることや考えていること（不安や疑問）、事業者（メーカーや販売店等）や行政への要望がありましたら、自由にご記入ください。【回答任意】

第5 前回調査から変更された聴取項目

前回調査（令和2年度実施）から変更された設問文、選択肢は以下の通りである。

問	変更	No	令和7年度	令和2年度
SC5	選択肢	3 (選択肢削除)	－	靴（革・布混合）
Q9	設問	－	防水スプレーの缶に記載された注意表示について、あてはまるものを教えてください。 (新規設問)	－
Q12	選択肢	2	10～20センチ未満程度	10～20センチ程度
		3	20～30センチ未満程度	20～30センチ程度
		4	30～50センチ未満程度	30～50センチ程度
Q13	選択肢	8	X(旧Twitter)やLINEなどのテキスト型SNS	TwitterやFacebookなどのSNS
		9	Instagram、TikTok、YouTubeなどの画像・動画型SNS	－
Q15	選択肢	1	1年未満	1年以内
		2	1年～2年未満	1年～2年以内
		3	2年～3年未満	2年～3年以内
		4	3年～5年未満	3年～5年以内
		5	5年～7年未満	5年～7年以内
		6	7年～10年未満	7年～10年以内
Q18	選択肢	3 (選択肢削除)	－	靴（革・布混合）
Q20	選択肢	2	10～20センチ未満程度	10～20センチ程度
		3	20～30センチ未満程度	20～30センチ程度
		4	30～50センチ未満程度	30～50センチ程度
Q26	選択肢	3	3週間～1か月未満	3週間～1か月